



令和元年12月  
恵那市

# 恵那市リニアまちづくり 基盤整備計画

リニアまちづくり構想の実現のための基盤整備



恵那市公式キャラクター「エーナ」



# 目次

---

はじめに	1
<b>第1章 計画の概要</b>	
1 計画の位置づけ	2
2 整備方針と取組内容	3
3 計画期間	11
<b>第2章 前期計画</b>	
1 広域アクセスに関する要望	13
2 市街地環状道路の整備	14
3 市街地縦断道路の整備	21
4 スマートインターチェンジ及びアクセス道路整備	22
5 瑞浪恵那道路整備に伴う周辺道路整備と武並駅周辺の基盤整備	23
6 恵那西工業団地及びアクセス道路の整備	26
7 リニア軌道により分断される道路・水路等の機能回復	27
8 リニアの工事用道路の計画的利用	38
9 良好な住環境の保持	38
計画路線対象図（前期）	39
<b>第3章 後期計画</b>	
1 市街地縦断道路の整備	40
2 リニア及び瑞浪恵那道路沿線地域のまちづくり	41
計画路線対象図（前期・後期）	44
<b>第4章 将来計画</b>	
1 市街地環状道路の整備	45
2 市街地縦断道路の整備	47
3 恵那駅北地区の基盤整備	48
計画路線対象図（前期・後期・将来）	49
地区別計画路線対象図	50
<b>第5章 計画の推進にあたって</b>	
1 計画推進のための取組方法	53
策定委員会委員名簿	54
策定委員会設置要綱	55
<b>資料編</b>	
資料1 現状分析	資-1
資料2 渋滞・混雑箇所	資-24

---

## はじめに

リニア中央新幹線（以下、「リニア」という。）は、2027年（令和9年）に東京から名古屋まで開業が予定されており、中津川市西部に（仮称）リニア岐阜県駅（以下、「リニア岐阜県駅」という。）が設置されることとなっています。また、2037年（令和19年）※には大阪までの全線開業が予定されており、首都圏や関西圏を始めとする全国各地とのアクセス環境が飛躍的に向上します。これにより、大都市圏との所要時間短縮による市民の利便性の向上とともに、地域間交流の活性化によって、地域の観光や産業等への幅広い波及効果が期待されます。

こうした中、恵那市においては、地域の発展に向けた千載一遇の機会を活かし、市民・事業者・行政が一体となって、リニア開業を見据えたまちづくりを進めていく必要があります。特に中山間地を多く抱える恵那市においては、人口減少や少子高齢化に対応した地域づくりを進めていくことは喫緊の課題でもあり、リニア開業を契機とした、新たな地域の将来像を描いていく必要があります。

以上のような背景・趣旨を踏まえ、恵那市ではリニア開業を見据えたまちづくり・地域づくりの方向性と、市民・事業者・行政による取組みの指針として、平成26年に、リニアまちづくり構想を策定しました。第2次恵那市総合計画にリニアまちづくり構想を反映させることで「観光振興・まちづくり」、「産業振興・地域振興」の分野の取組みを進めています。現在、東海旅客鉄道株式会社（以下「JR東海」という。）によるリニア中央新幹線軌道計画が定まってきており、基盤整備の分野に関して具体的に事業を実施する段階にきています。

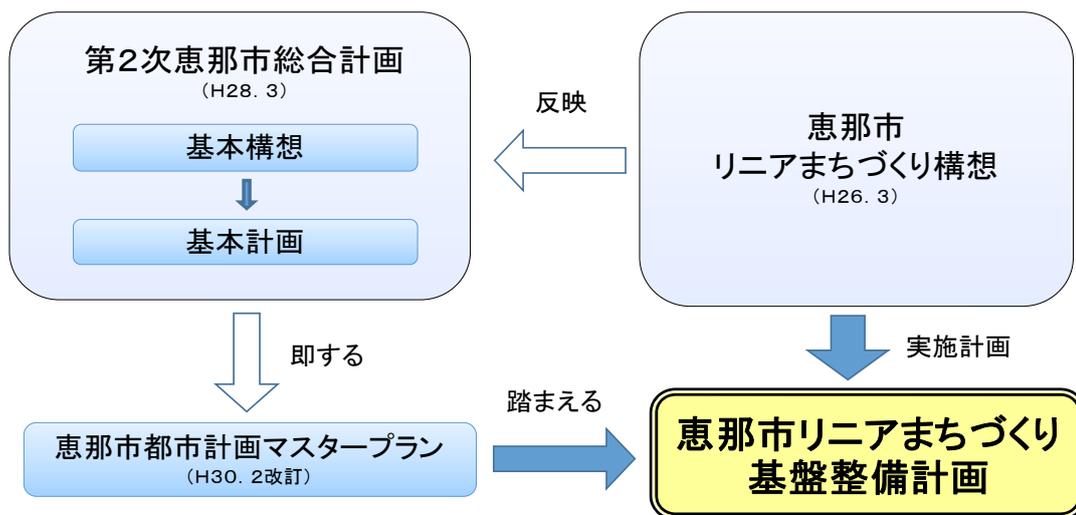
本計画は、リニアまちづくり構想の「目指すべき将来像」である「リニアでわくわく ちょうど えーなー 暮らしのびのび（住みたくなるまち）、遊びウキウキ（来たくなるまち）、仕事すいすい（使えるまち）、未来のふるさとづくり。」の実現に向け、基盤整備計画として策定するものです。リニアインパクトによる企業誘致や住宅地整備などに繋がる戦略的的道路整備や、リニアにより分断される地域の影響の緩和、良好な住環境の保持、市街地の課題・地域の課題の解決に向けた基盤整備を推進していきます。

※ JR東海は、東京－大阪間の開業を当初は2045年としていましたが、政府の3兆円の財政投融資により最大8年間前倒しできるとしたため、東京－大阪間の開業を2037年で想定しています。

## 第1章 計画の概要

### 1 計画の位置づけ

本計画は、第2次恵那市総合計画などに即して策定された恵那市都市計画マスタープランで示している将来都市像を踏まえながら、リニアまちづくり構想に掲げる基盤整備施策の具体的な計画について定めるものです。リニアの建設を契機として、リニアの効果を最大限発揮するとともに、交通混雑箇所などの課題の解消を目指した基盤整備を行います。



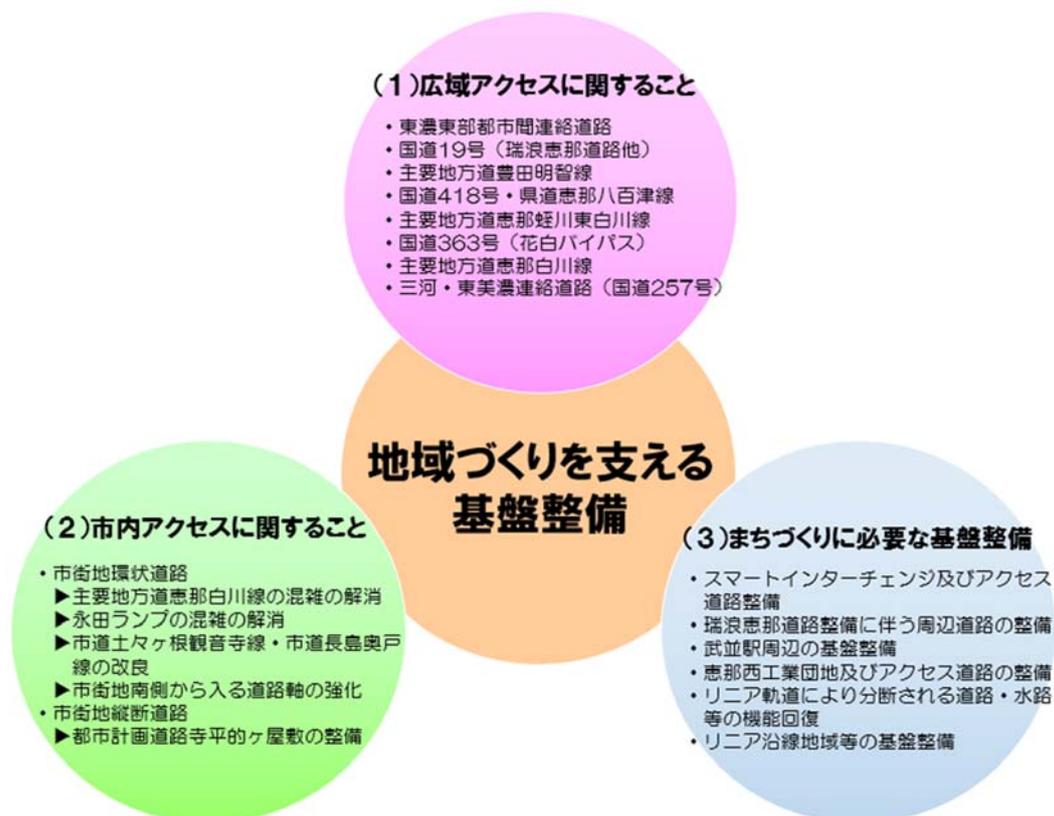
## 2 整備方針と取組内容

2027年の東京－名古屋間のリニア開業は、日本の中心である首都圏との距離が大幅に縮まることで、岐阜県にとって大きなインパクトをもたらすことが想定されます。なかでも、恵那市はリニア岐阜県駅が設置される中津川市と隣接していることから、そのインパクトを大きく享受できるポテンシャルを持ち合わせています。

リニアまちづくり構想では、「地域づくりを支える基盤整備の取組み」として、基盤整備方針を「広域アクセスに関すること」「市内アクセスに関すること」「まちづくりに必要な基盤整備」の3つの施策に体系づけ、地域づくりを支える基盤整備の取組みを示しています。

本計画では、この3つの施策を達成するための具体的な事業を、前期計画・後期計画・将来計画と3つの期間において効果的に実施できるよう、整備効果の高い事業から順番に体系付けました。前期計画では、広域アクセスに関する要望、市街地環状道路の整備、市街地縦断道路の整備、スマートインターチェンジ及びアクセス道路整備、瑞浪恵那道路整備に伴う周辺道路整備と武並駅周辺の基盤整備、恵那西工業団地及びアクセス道路の整備、リニア軌道による分断される道路・水路の機能回復、リニアの工事用道路の計画的利用、良好な住環境の保持、後期計画では、市街地縦断道路の整備、リニア及び瑞浪恵那道路沿線地域のまちづくり、将来計画では、市街地環状道路の整備、市街地縦断道路の整備、恵那駅北地区の基盤整備を進めます。

リニアインパクトを着実にとらえ、市の活性化へと結びつけ、観光や産業の振興によるまちづくりを支えるための基盤整備の具体的な取組みを以下に示します。



### (1) 広域アクセスに関すること

リニアの中間駅であるリニア岐阜県駅との交通アクセスについては、在来線の中央本線に加え、車が主な交通手段であるこの地域においては、道路が重要な役割を果たします。広域的な交通基盤においては、東西方向に加え南北方向の交通基盤を整え、この地域に人やモノが集まる交通の結節点となるよう整備することが望ましいと考えます。

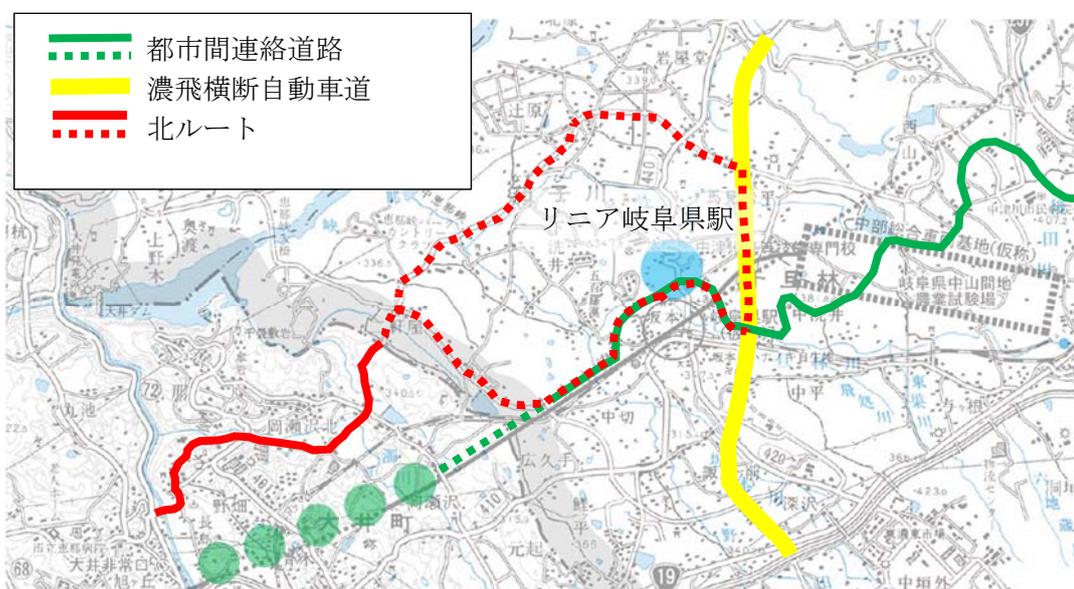
広域アクセスの整備により、周辺地域（市）との連携（結びつき）を強化し、ひと（観光）、もの（産業）、かね（商業）を外部から呼び込みます。特に産業の集積している愛知県（豊田市）との結びつきを強化するために、南北の幹線ルート強化及び多重化を図ります。東西においては、国道19号瑞浪恵那道路の整備により、物流の大動脈をさらに強化し、産業振興・観光振興に波及させていきます。

そこで、以下に掲げる広域的な道路について、整備促進に向け取り組みます。

#### ○東濃東部都市間連絡道路

中津川市街地から中津川市に設置されるリニア岐阜県駅を經由し、恵那市へ至る東濃東部都市間連絡道路の構想の実現に向け、岐阜県及び中津川市と協議を進め、深度化を図ります。この都市間連絡道路が整備されることにより、恵那市からリニア岐阜県駅への移動時間が短縮されることが見込まれます。また、県道網再編により将来の県道苗木恵那線となる可能性もあり、未整備区間の多い現在の県道苗木恵那線の交通量を減らすことも予想されます。

開業後、当面の間は東濃東部都市間連絡道路の代替道路として、濃飛横断自動車道、中津川市道、恵那市道土々ヶ根観音寺線・長島奥戸線（以下「北ルート」という）を想定し、恵那市内の市道の改良及び沿道の修景を推進し、沿線地域の賑わいを創出します。



#### ○国道19号（瑞浪恵那道路他）

国道19号は、中央自動車道とともに東濃地方を東西に結ぶ最も基幹的な道路となっています。

現在、渋滞、事故等の交通課題の解消や、リニア中央新幹線の開業時の地域貢献に寄与するため、国道19号瑞浪恵那道路の整備が進んでいます。瑞浪恵那道路が早期に整備され、恵那市内の国道19号が全線4車線となるよう国に求めています。

また、国道 19 号と県道 66 号線の交差点となる永田ランプの混雑解消のため、信号の設置や右折帯の設置についても関係機関に働きかけを行います。

#### ○主要地方道豊田明智線

産業の一大集積地である豊田市との結びつきを強化する南の玄関口と言える道路であり、本路線の整備は当市にとってとても重要です。リニア開業後は、豊田市近辺から車を利用し、駅からリニアに乗車する際には、リニア岐阜県駅が利用されることが想定されます。これらの理由より、主要地方道豊田明智線の整備促進に努めます。

#### ○国道 418 号・一般県道恵那八百津線

現在、八百津方面との連携強化につながる国道 418 号の整備が国土交通省により進められています。この整備により、八百津方面から恵那市街地やリニア岐阜県駅への移動が格段にスピードアップします。しかし、県道恵那八百津線には狭隘な箇所がまだ複数あるため、引き続き国や県に対し、調整を図ります。

#### ○主要地方道恵那蛭川東白川線

主要地方道恵那蛭川東白川線は、下呂・高山方面とアクセスする北の玄関口といえる道路であり、地域間の物流や交流を支える重要な道路としての役割を担っています。2015 年には東雲大橋が完成し利便性が向上しましたが、未整備区間もあるため、今後も整備促進について働きかけます。

また、この路線は市街地環状道路及び北ルートとして設定している市道長島奥戸線や都市計画道路寺平的ヶ屋敷線と接続しており、整備効果の高い道路となっています。旭ヶ丘交差点から長島西交差点までの区間については、特に早期の整備について調整を図ります。

#### ○国道 363 号（花白バイパス）

国道 363 号は明智町、山岡町、岩村町を通る、恵那市を東西に抜ける幹線道路であり、緊急輸送道路に指定されている重要な路線です。この路線のうち、山岡町馬場山田地内の幅員狭小区間及び線形不良区間について改良が進められています。地域住民や観光客が安全で円滑な通行ができるよう、早期の整備を求めています。

#### ○主要地方道恵那白川線

主要地方道恵那白川線は、白川町から恵那市中野方町、笠置町を経由して市街地に至る幹線道路であり、沿線地域の生活・産業・経済を支える重要な道路です。市街地の中心を東西に結ぶ基幹的な道路でもあり、歩道の設置や道路改良を求めています。特に市街地にある佐渡橋は重量規制がかかっているため、橋の付け替えや補強について働きかけます。

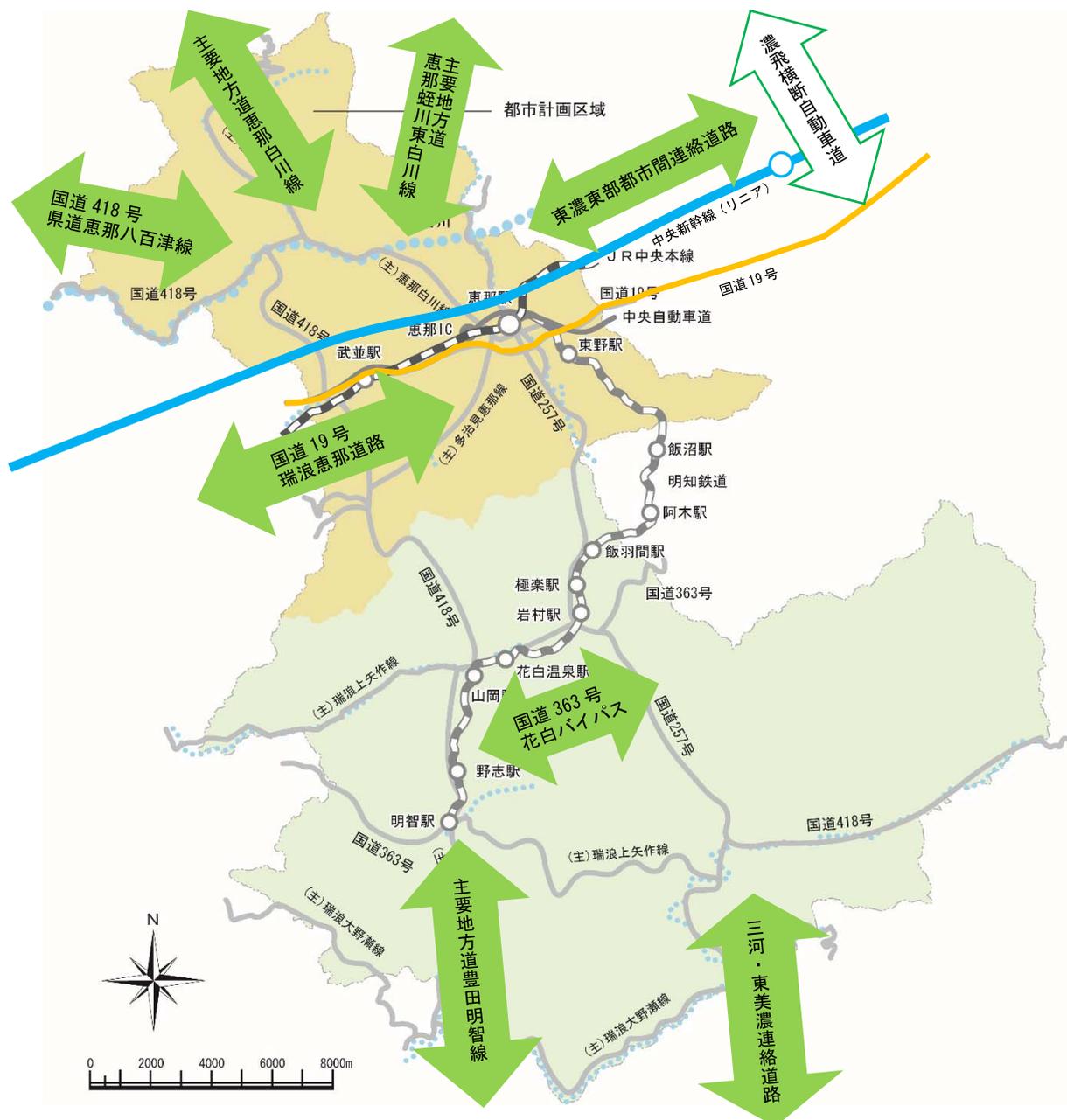
#### ○三河・東美濃連絡道路（国道 257 号）

平成 28 年 2 月に新東名高速道路が開通され、南北軸となる三河・東美濃連絡道路を整備する意義、必要性はとて大きなものとなりました。奥三河地域と東美濃を結ぶ三河・東美濃連絡道路が整備されると、奥三河とのアクセスのみならず、静岡・東京方面とのアクセスも飛躍的に向上することとなります。

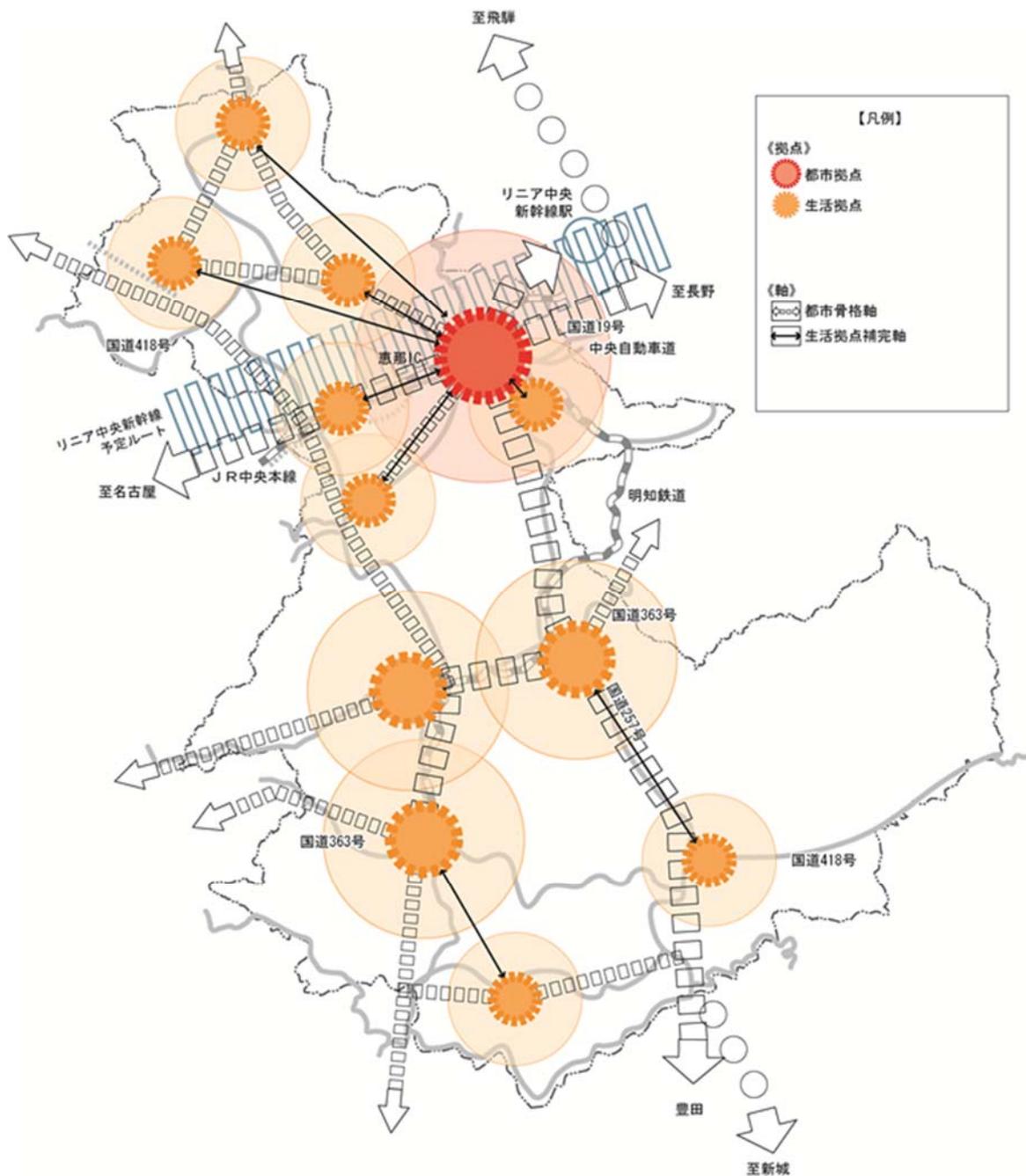
また、リニア岐阜県駅より岩村町、明智町などの観光地に向かうバスがスムーズに通行するためにも、国道 257 号を軸とする三河・東美濃連絡道の整備は不可欠です。今後も三河・東美濃連絡道路の整備促進について働きかけを行います。

これら広域的な交通アクセスについては、中津川市をはじめ近隣の市町や国、岐阜県と十分な協議を行い、連携しながら整備を進めます。

また、これらの広域的な交通アクセスを踏まえ、「市内アクセスに関すること」「まちづくりに必要な基盤整備」に取り組んでいきます。



恵那市広域アクセス網図



将来都市構造図（出展：恵那市都市計画マスタープラン）

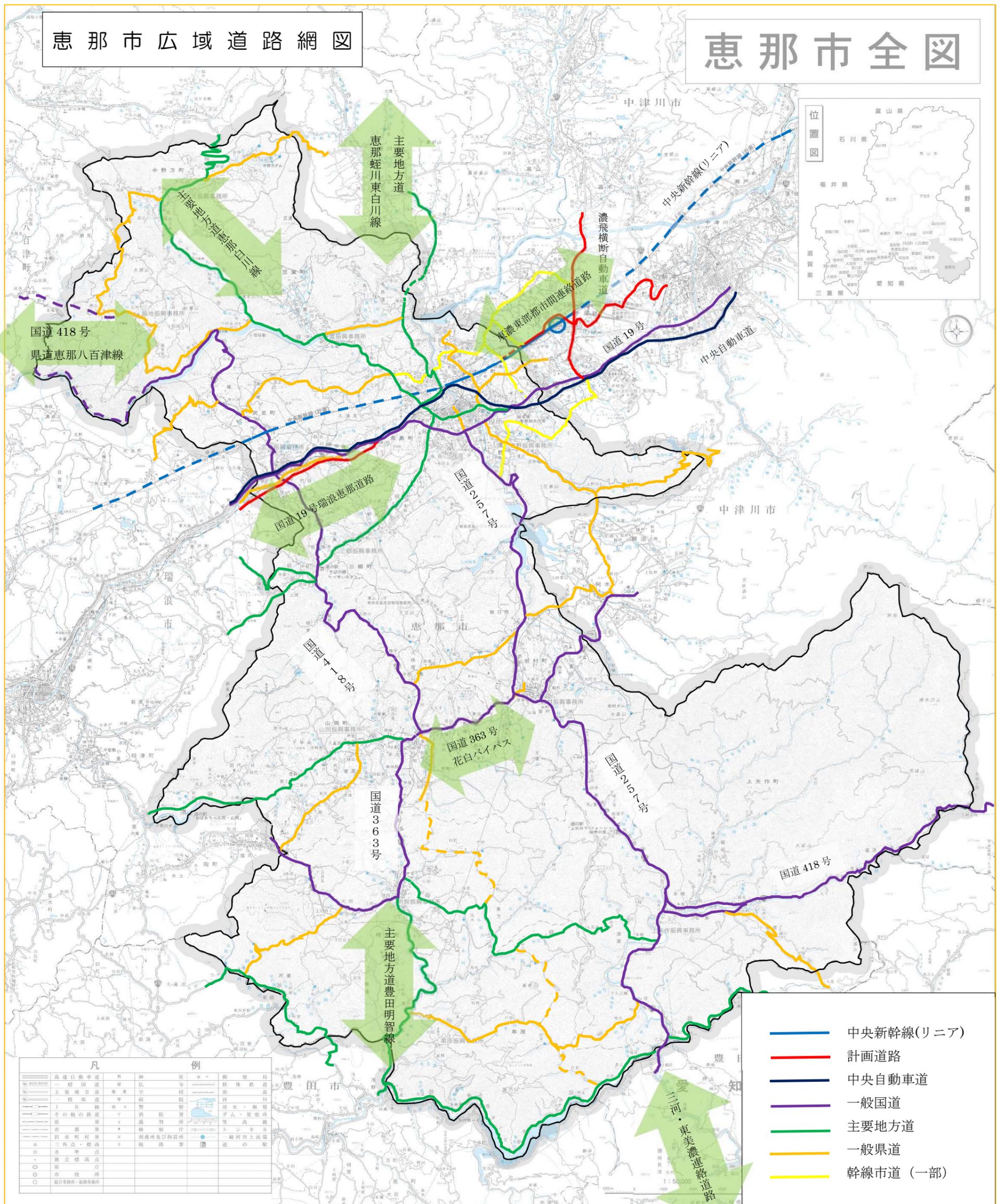
対象となる事業

- ・ 広域アクセスの整備促進を図る

P13

# 恵那市広域道路網図

# 恵那市全図



- 中央新幹線(リニア)
- 計画道路
- 中央自動車道
- 一般国道
- 主要地方道
- 一般県道
- 幹線市道 (一部)

凡		例	
高速自動車道	特 社	特 社	特 社
一般国道	特 社	特 社	特 社
主要地方道	特 社	特 社	特 社
一般県道	特 社	特 社	特 社
その他の県道	特 社	特 社	特 社
市道	特 社	特 社	特 社
市町村界	特 社	特 社	特 社
三角点・標高	特 社	特 社	特 社
水準点	特 社	特 社	特 社
橋立標高	特 社	特 社	特 社
電 柱	特 社	特 社	特 社
電 線	特 社	特 社	特 社
組合事務所・出張事務所	特 社	特 社	特 社

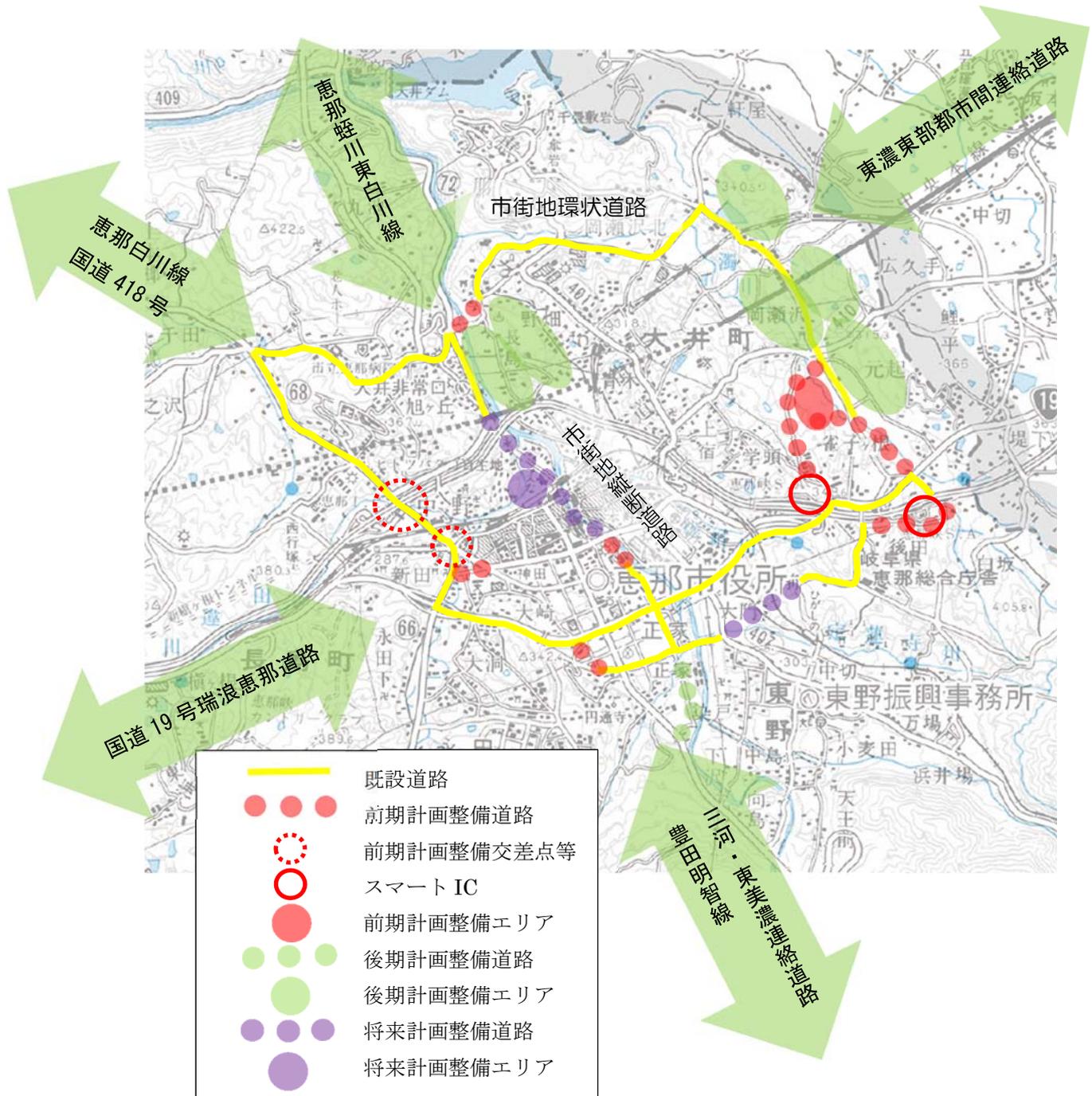


## (2) 市内アクセスに関すること

### 1) 市街地環状道路及び市街地縦断道路の整備

周辺部から市街地へ流入する交通を分散化させ、市街地の慢性的な渋滞の解消を図り、交通の速達性の向上を図るため、環状道路の整備を進めます。環状道路の整備にあたっては、既存道路を有効に利用しながら、必要な区間について順次整備を行います。環状道路の南側は、国道19号に交通が集中しないよう、国道19号の南側に環状道路を設け、道路軸の強化を図ります。

また、都市計画道路寺平的ヶ屋敷線を市街地縦断道路と位置づけ、整備を進めます。



対象となる事業	
・市街地環状道路の整備	P14,45
・市街地縦断道路の整備	P21,40,47

### (3) まちづくりに必要な基盤整備

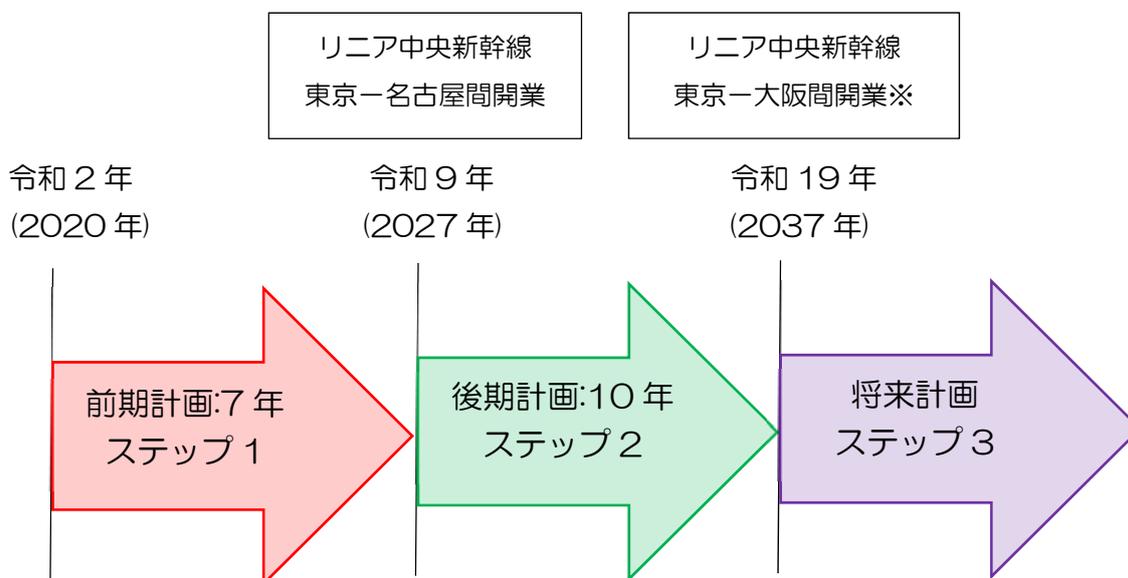
まちづくりに必要な基盤整備を進めるため、以下の4つの項目について整備を進めます。

- ①リニア建設工事に合わせ、工事用道路やリニア軌道の側道などの建設に加え、リニアに伴う地域の分断等を最小限に抑えるための基盤整備を行います。そのためには、リニアや広域幹線の整備に伴って発生するストック効果を有効に活用し、土地利用の増進、商工業の発展、地域振興への効果が見込まれるアクセス道路や周辺整備を進める必要があります。
- ②恵那インターチェンジ利用者を分散させ、恵那インターチェンジ周辺の混雑を解消するため、恵那峡サービスエリアにスマートインターチェンジの設置を目指します。
- ③リニア軌道沿線地域及び瑞浪恵那道路沿線地域の基盤整備計画の策定を行い、計画的な基盤整備を進めます。
- ④今後整備を行う道路については、歩行者や自転車等利用者が安全で快適に通行できる環境の整備に取り組みます。また、既存道路においても、歩行者、自転車等の安全対策を進めていきます。

対象となる事業	
・スマートインターチェンジ及びアクセス道路整備	P22
・瑞浪恵那道路整備に伴う周辺道路整備と武並駅周辺の基盤整備	P23
・恵那西工業団地及びアクセス道路の整備	P26
・リニア軌道により分断される道路・水路等の機能確保	P27
・リニアの工事用道路の計画的利用	P38
・リニア及び瑞浪恵那道路沿線地域のまちづくり	P41
・恵那駅北地区の基盤整備	P48

### 3 計画期間

本計画の期間は、前期計画（リニア 東京－名古屋間開業まで7年間）・後期計画（リニア 東京－大阪間開業※まで10年間）・将来計画（リニア 東京－大阪間開業※以降）に分け、整備計画に実施時期を設定し、事業を分類します。



※ JR東海は、東京－大阪間の開業を当初は2045年としていましたが、政府の3兆円の財政投融资により最大8年間前倒しできるとしたため、東京－大阪間の開業を2037年で想定しています。

実施事業の一覧	基本施策	実施事業	実施時期		
			前期計画	後期計画	将来計画
広域アクセスに関すること	広域アクセスの整備促進を図る	市街地環状道路の整備	↕	↕	↕
		市街地縦断道路の整備	↕	↕	↕
		スマートインターチェンジ及びアクセス道路整備	↕		
市内アクセスに関すること	まちづくりに必要な基盤整備	瑞浪恵那道路整備に伴う周辺道路整備と武並駅周辺の基盤整備	↕	↕	
		恵那西工業団地及びアクセス道路の整備	↕	↕	
		リニア軌道により分断される道路・水路等の機能確保	↕		
		リニアの工事用道路の計画的利用	↕		
		リニア及び瑞浪恵那道路沿線地域のまちづくり		↕	↕
		恵那駅北地区の基盤整備			↕

## 第2章 前期計画（ステップ1）

### 1 広域アクセスの整備促進を図る

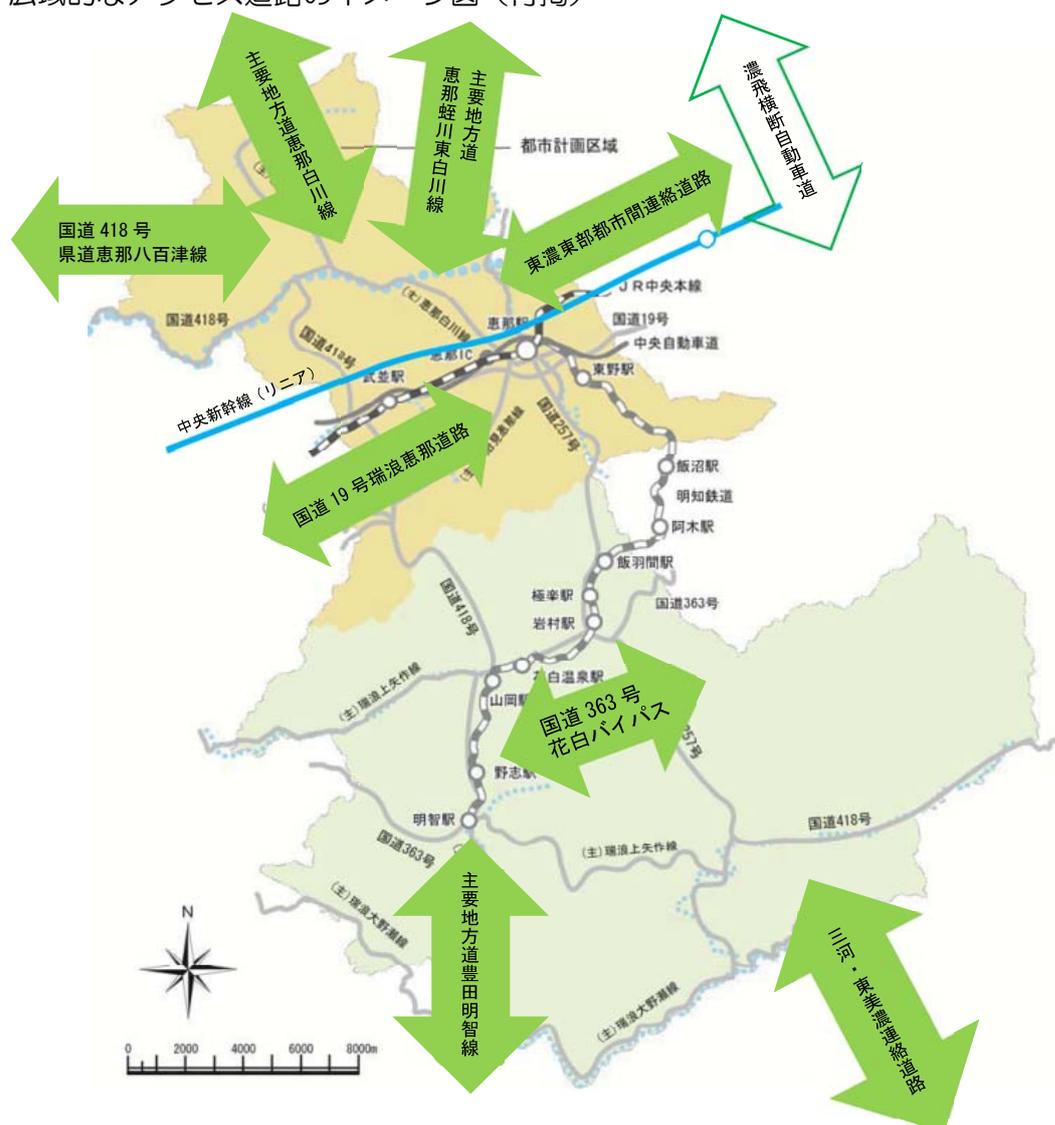
恵那市が人やモノが集まる交通の結節点となり、開業後リニアインパクトを最大限享受するためには、広域アクセスを出来るだけ早期に整備する必要があります。また、広域アクセス道路の整備により、リニア効果も重なり、市外の人々が恵那市を訪れる機会を増やすことにも繋がります。

そこで、下記に挙げる広域アクセス道路の整備について進められるよう、国や県などの関係機関と調整を図っていきます。

また、調整については当該道路が整備されるまで続くこととなり、後期計画、将来計画まで続くことも考えられます。

- 東濃東部都市間連絡道路
- 国道19号（瑞浪恵那道路他）
- 主要地方道豊田明智線
- 国道418号・県道恵那八百津線
- 主要地方道恵那蛭川東白川線
- 国道363号（花白バイパス）
- 主要地方道恵那白川線
- 三河・東美濃連絡道路（国道257号）

広域的なアクセス道路のイメージ図（再掲）



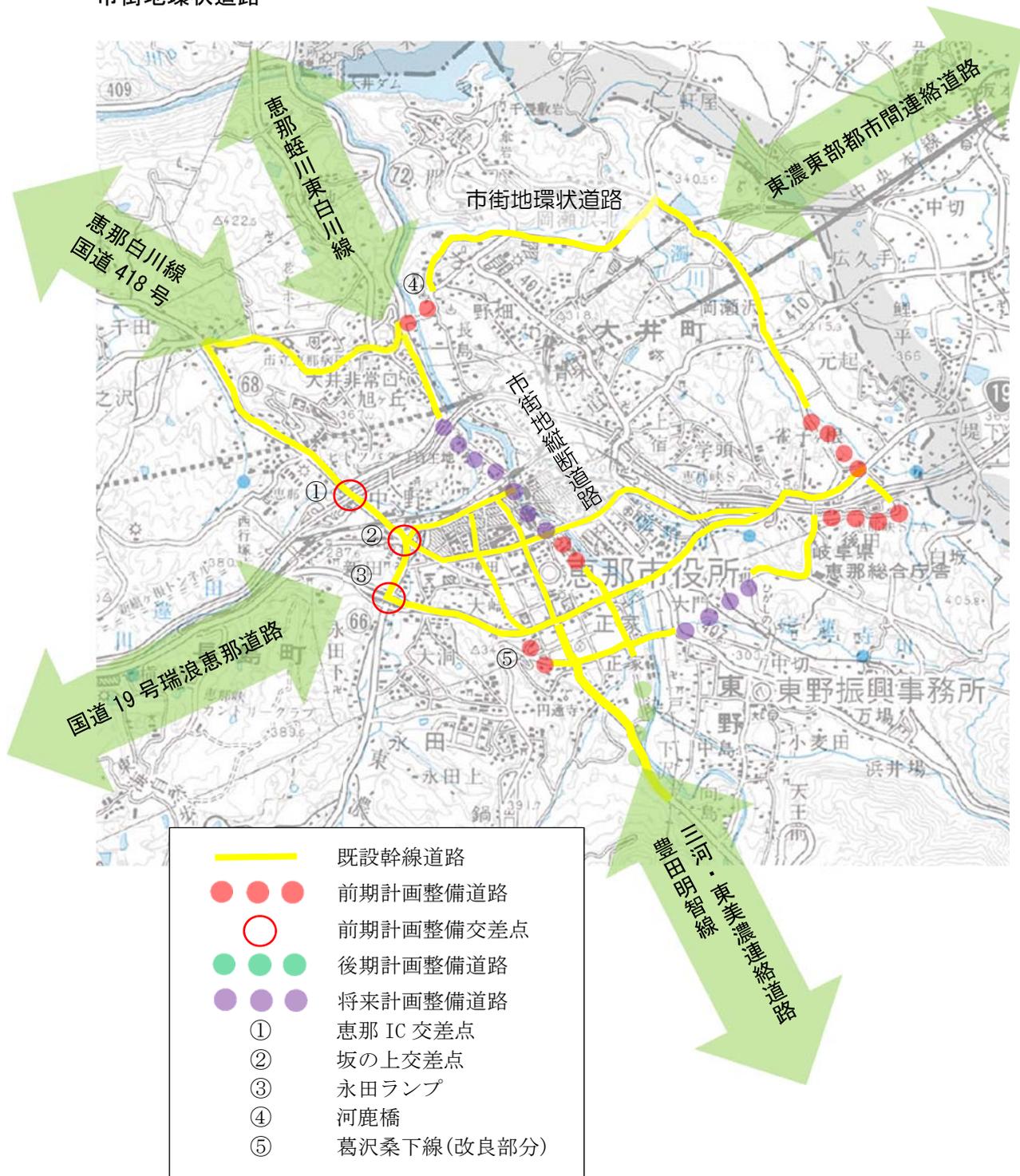
## 2 市街地環状道路の整備

### (1) 市街地環状道路の前期計画における整備方針

市街地環状道路の整備にあたっては、既存道路を有効に活用しながら、必要な区間について順次整備を行います。

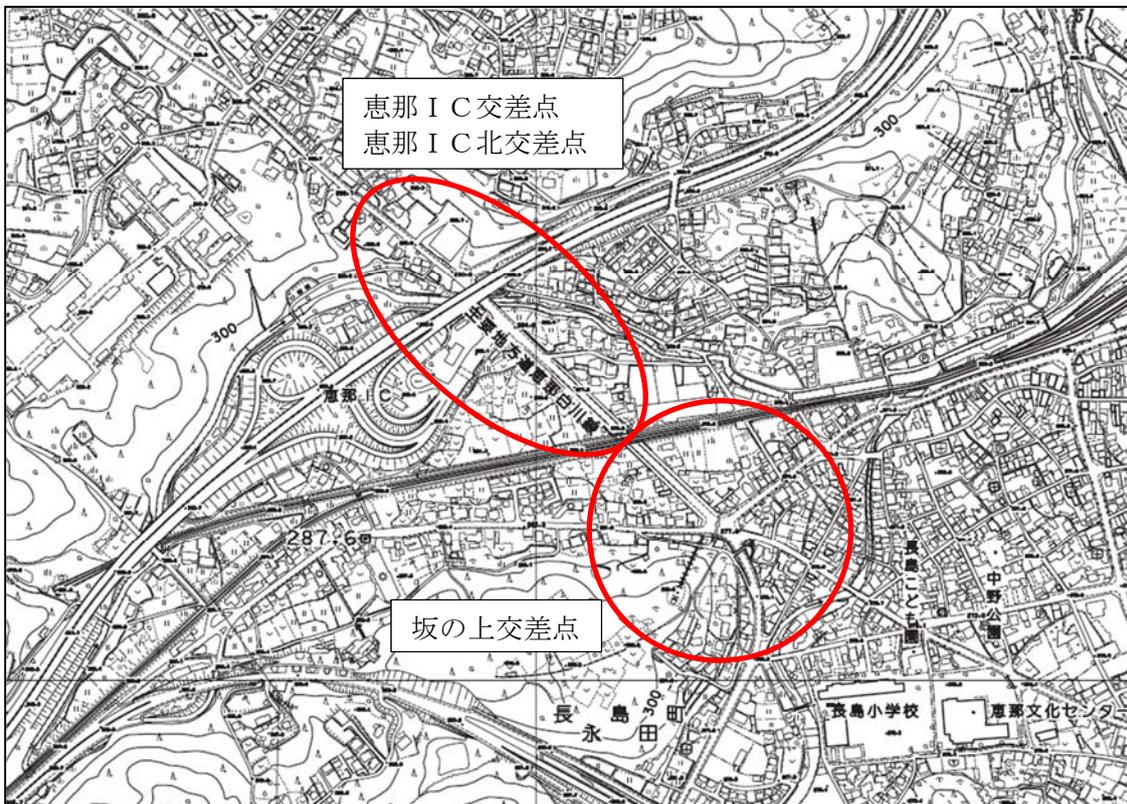
前期計画においては、①②主要地方道恵那白川線の混雑の解消、③永田ランプの混雑の解消、④市道土々ヶ根観音寺線・市道長島奥戸線の改良、⑤市街地南側から入る道路軸の強化に取り組みます。

### 市街地環状道路



(2) 県道恵那白川線の混雑の解消

計画では、県道恵那白川線を市街地環状線として設定することとしています。しかし、県道恵那白川線は、恵那インターチェンジ交差点、恵那インターチェンジ北交差点、坂の上交差点と、恵那市の中でも特に混雑する交差点が複数箇所あります。これらの交差点の混雑を解消するための基盤整備を進めます。



坂の上交差点



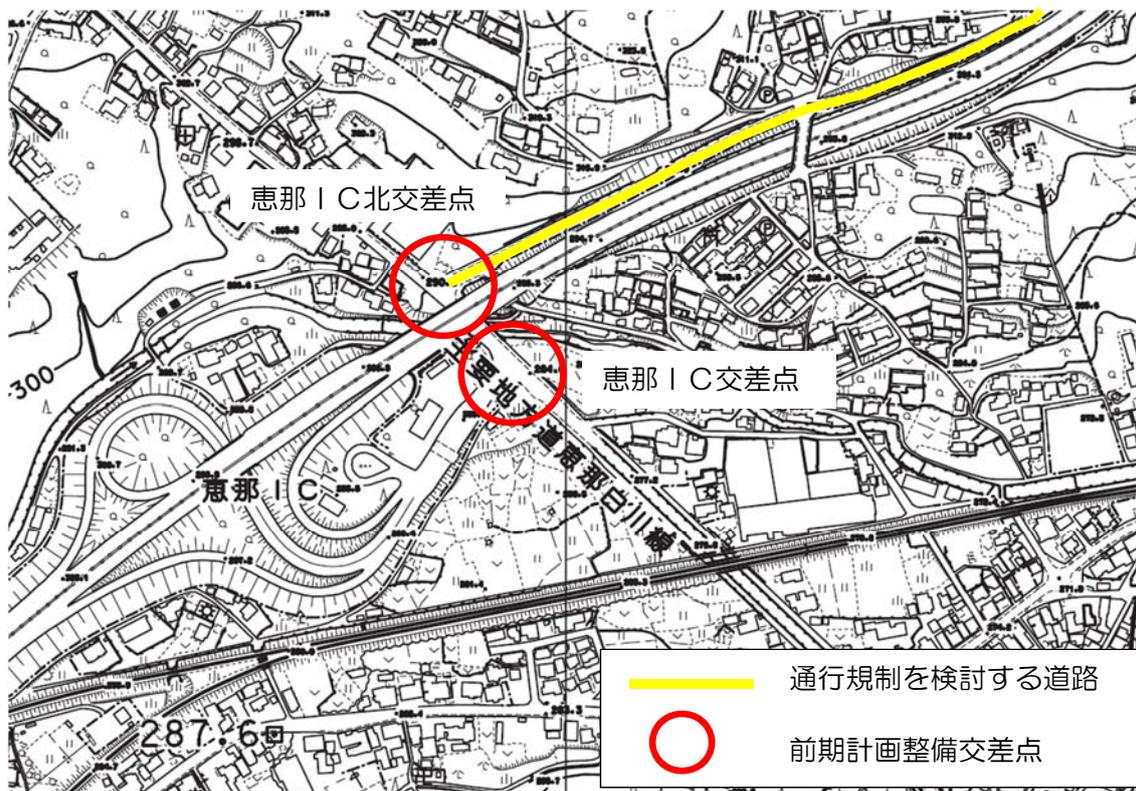
恵那インターチェンジ交差点



坂の上交差点鳥瞰図

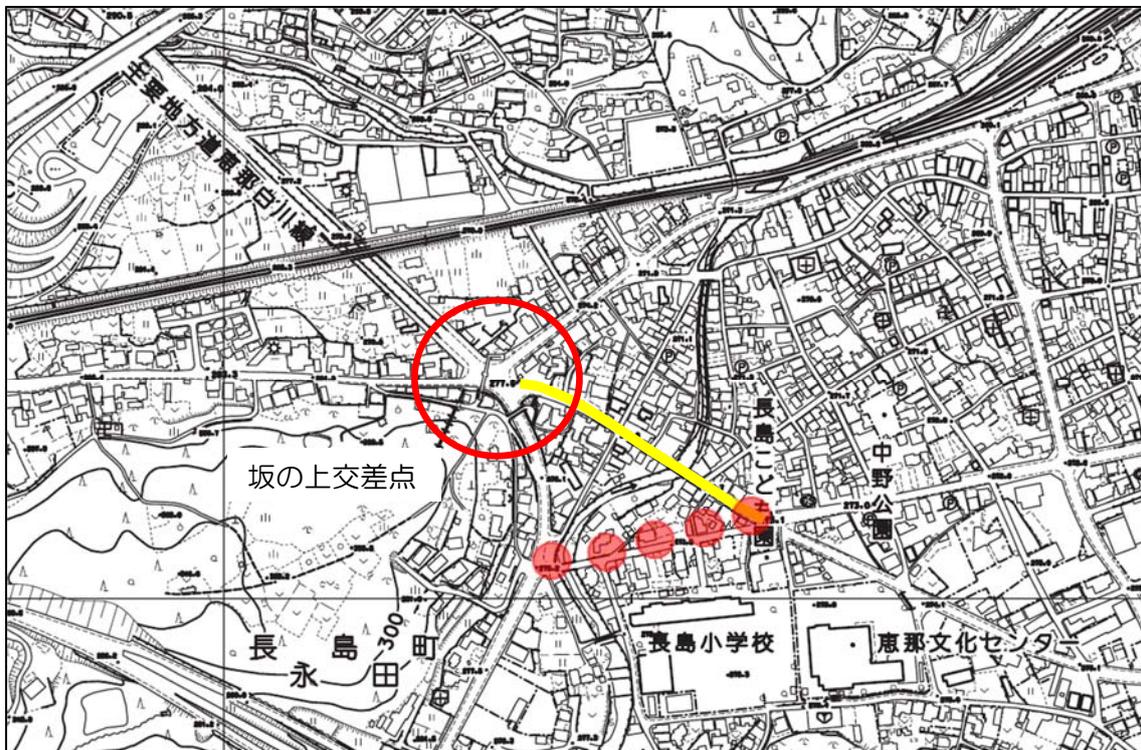
1) 恵那インターチェンジ・恵那インターチェンジ北交差点の通行規制等

恵那インターチェンジ・恵那インターチェンジ北交差点の混雑の原因の一つとして、主要地方道恵那白川線から右折で主要地方道恵那蛭川東白川線に入る際に、右折帯が短く、直進車も通行できなくなることが挙げられます。この交差点は、中央道の高架になっていることや、隣に川があることなどで、交差点改良が難しい状況にあります。そのため、両交差点の信号制御や主要地方道恵那蛭川東白川線の通行規制等について調整を図ります。



2) 坂の上交差点の混雑の解消

坂の上交差点は変則の五差路となっており、恵那市の交差点の中でも特に渋滞の度合いが高い交差点となっています。この交差点への流入量を減らすため、都市計画道路神明前一丁田線の一部について通行規制を行うことが一つの方法と考えます。また、通行規制を行う際には、その代替路線として都市計画道路羽根平学頭線の一部を改良します。



整備期間（予定） 令和3年～令和9年

通行規制を検討する道路  

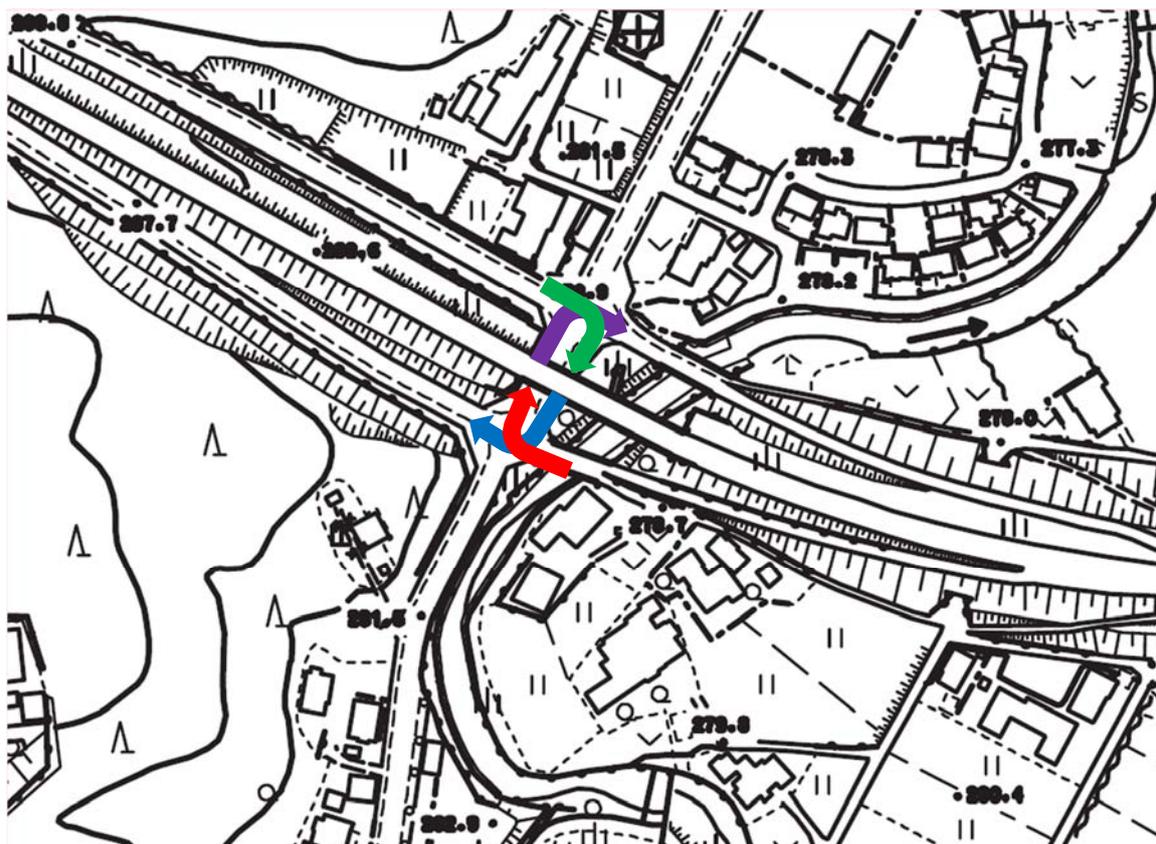


 前期計画整備道路

## (3) 永田ランプの混雑の解消

現在、永田ランプはそれぞれの方向に右折する車で混雑をしています。特に下記図面の赤の矢印での右折車が多く、国道19号本線の交通に影響が出ることもあります。また、永田ランプは小中学校の通学路に指定されていますが、交通量が多い交差点でありながら信号が設置されていない状況です。加えて、永田ランプはリニア軌道の工事の際に建設発生土を運搬するルートに指定される可能性が高く、早期の対策が必要となります。

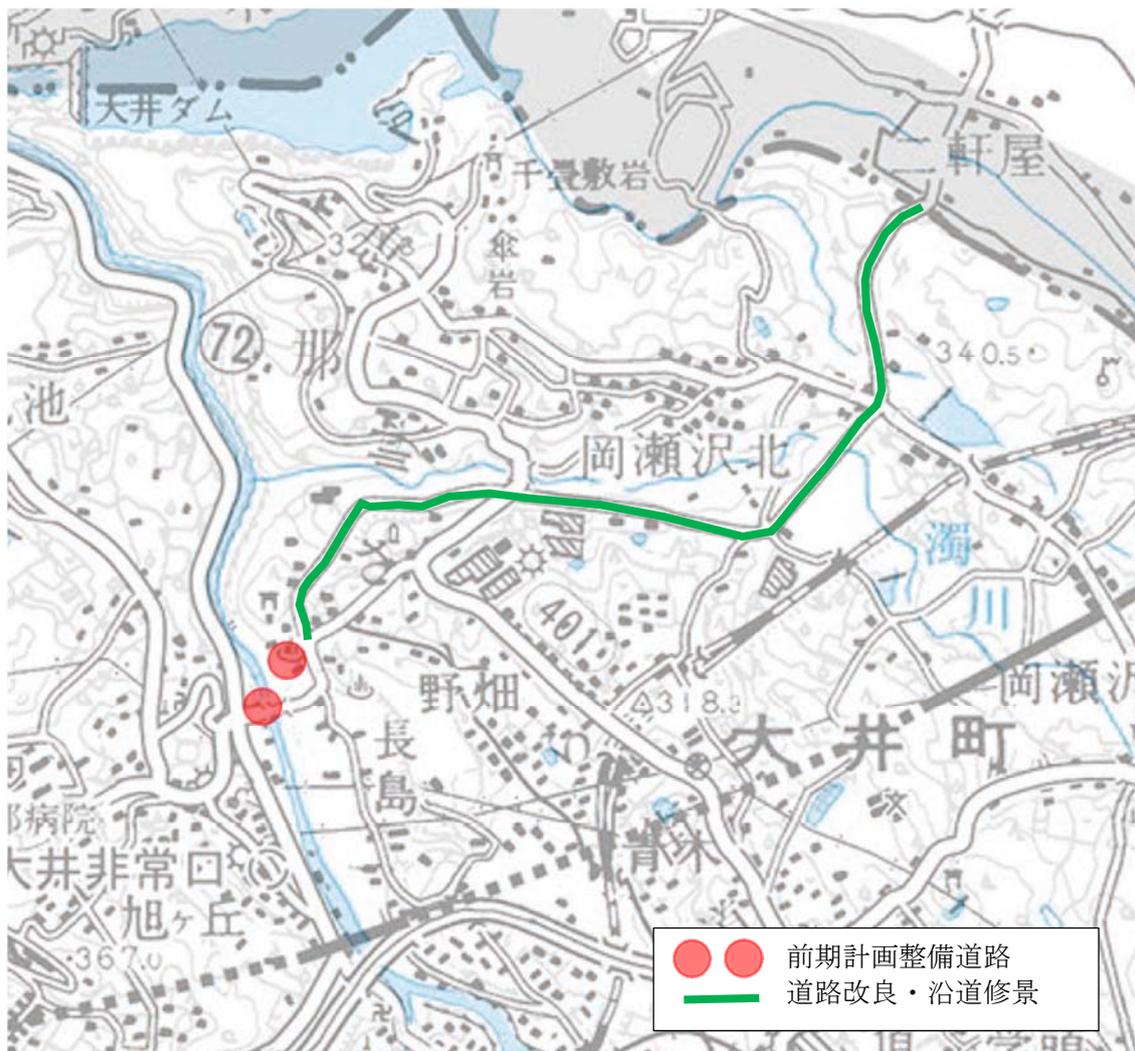
これらの問題の解消のためには、それぞれの道路に右折帯を設けると共に、信号を設置して交通を制御するなどの対策が必要と認識しています。現在の利用状況などの調査、課題の整理を行い、国や岐阜県、警察など関係機関と調整を行います。



(4) 市道土々ヶ根観音寺線・市道長島奥戸線の改良

市道土々ヶ根観音寺線、市道長島奥戸線は、市街地環状道路及び北ルートとなり、重要な道路となるため、道路改良や沿道の修景を行います。

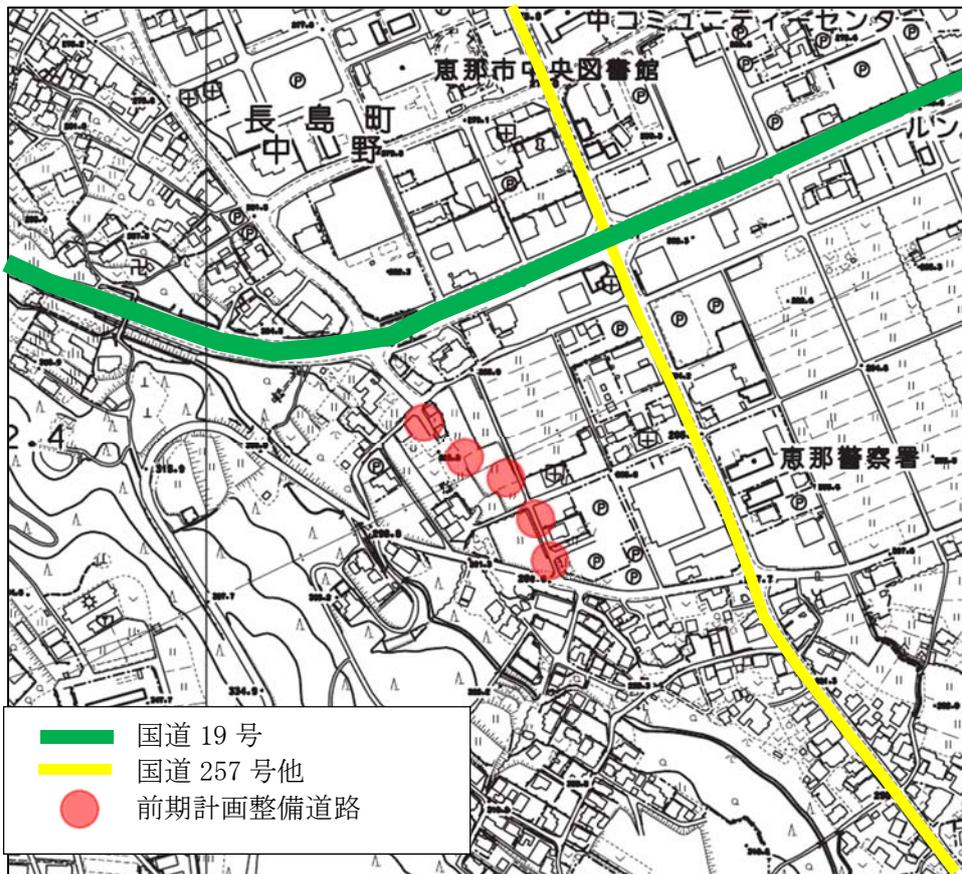
また、市道長島奥戸線には14tの荷重制限がかかっている河鹿橋があるため、安全面を考慮し、架け替え若しくは橋梁の補強を行います。



整備期間（予定） 令和3年～9年

(5) 市街地南側から入る道路軸の強化

現在は、南部地域や中津川市阿木方面からの自動車が市街地に入る際には、国道 257 号に集中し、混雑する原因となっています。都市計画道路葛沢桑下線の整備を進めることにより、南部地域・中津川市阿木方面からの自動車の通行を分散化させ、国道 19 号や市街地にスムーズに流入することができるため、混雑の解消を図ることができます。

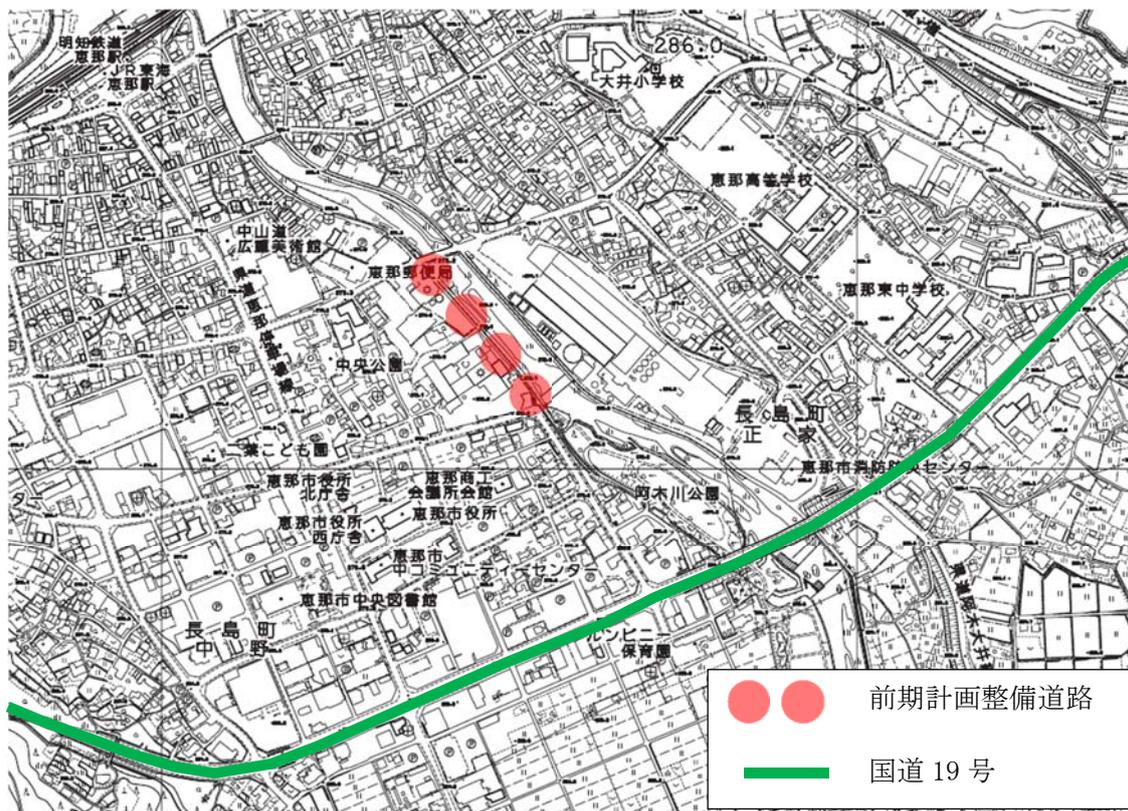


整備期間（予定） 令和 2 年～ 6 年

### 3 市街地縦断道路の整備

#### 南北を結ぶ幹線道路の整備

恵那市街地を利用する車の多くが県道恵那停車場線に集中しているため、南北を結ぶ道路軸を強化し、交通を分散化するため、都市計画道路寺平のヶ屋敷線の整備を進めます。この路線の整備を進めることにより、恵那市南部地域・中津川市阿木方面からの自動車の通行を分散化させ、スムーズに国道19号や市街地に接続することができるため、県道恵那停車場線の混雑の解消を図ることができます。



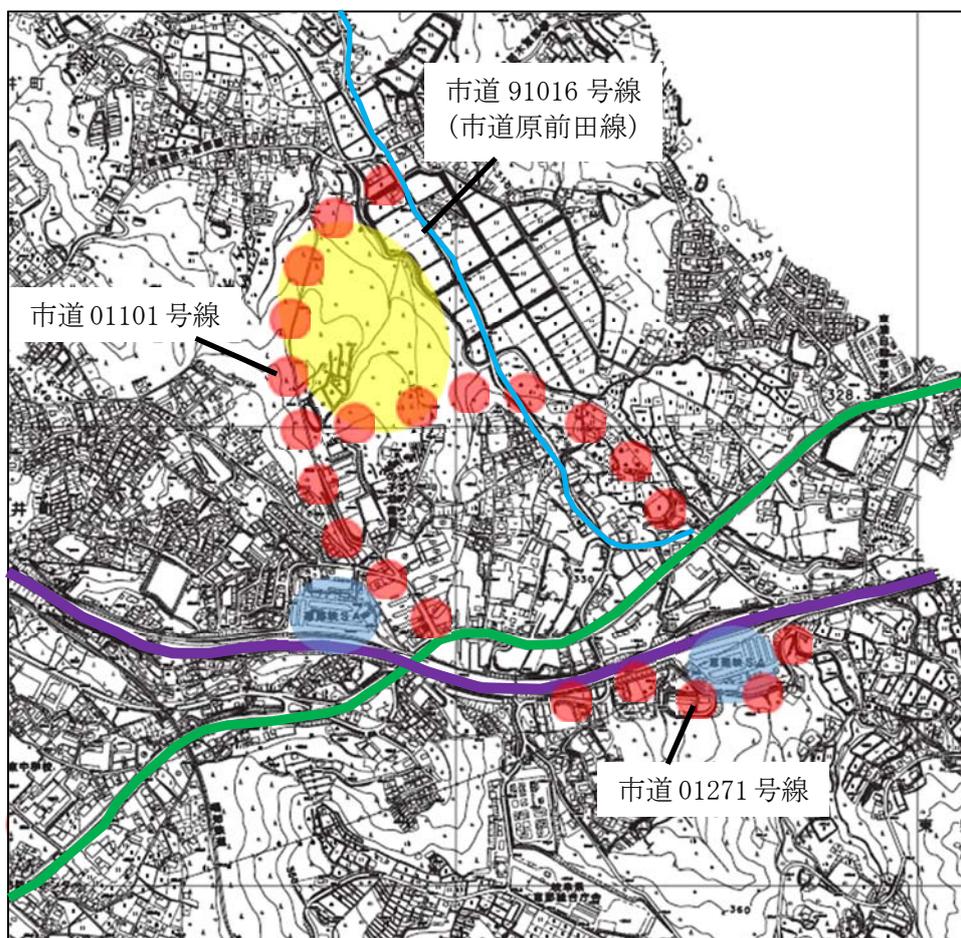
整備期間（予定） 令和3年～令和8年

#### 4 スマートインターチェンジ及びアクセス道路整備

恵那インターチェンジ交差点、恵那インターチェンジ北交差点、坂の上交差点の混雑の解消を行うには、恵那インターチェンジの利用者を分散させることが肝要です。その方策の一つとして、恵那峡サービスエリアにスマートインターチェンジの設置に向けて調整を図ります。また、スマートインターチェンジへのアクセス道路として、市道01101号線、市道91016号線の改良を行います。

スマートインターチェンジの設置及び市道01101号線、市道91016号線（市道原前田線）、市道01271号線の改良を行うことにより、恵那峡方面からの観光客等をスマートインターチェンジに誘導することができます。また、市道91016号線（市道原前田線）の改良は、国道19号原西交差点の交差点部の利便性を向上させ、スマートインターチェンジ間のアクセス能力を高めます。これにより、沿道の商業地利用の可能性が高まり、沿道地域の活性化に繋がります。

さらに、スマートインターチェンジができることの効果을最大限に発揮するため、市道01101号線沿いに企業用地を設け、産業の振興を図ります。



スマートIC・整備道路  
整備期間（予定） 令和2年～9年

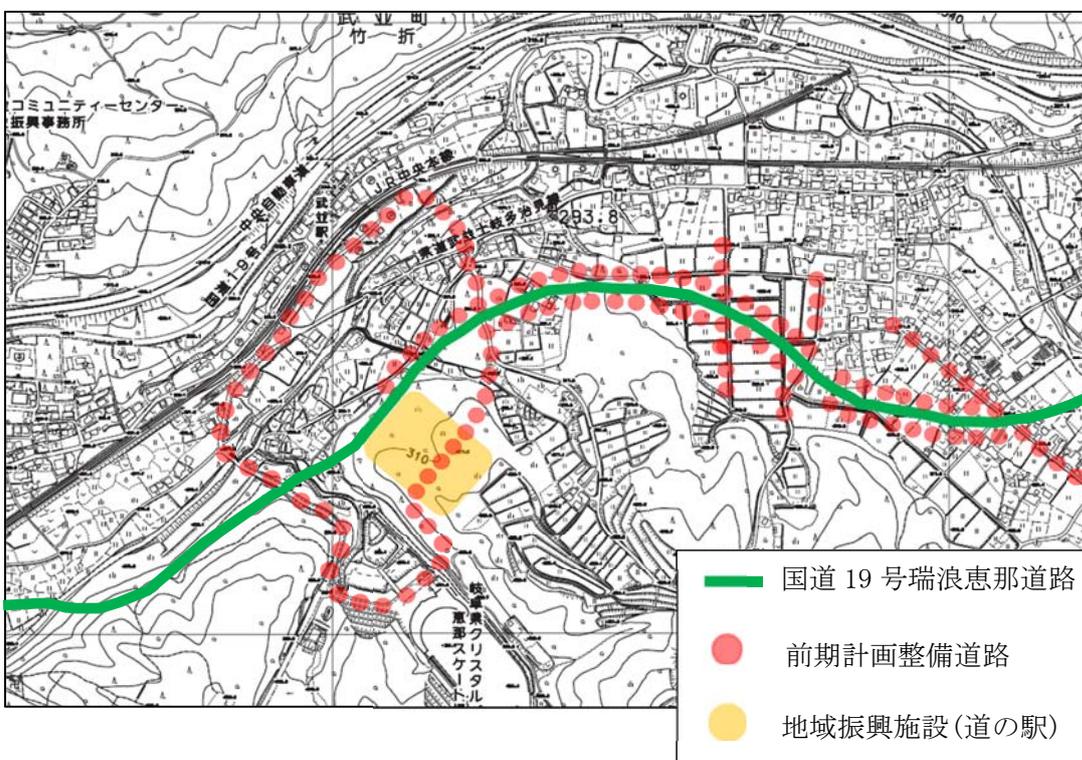
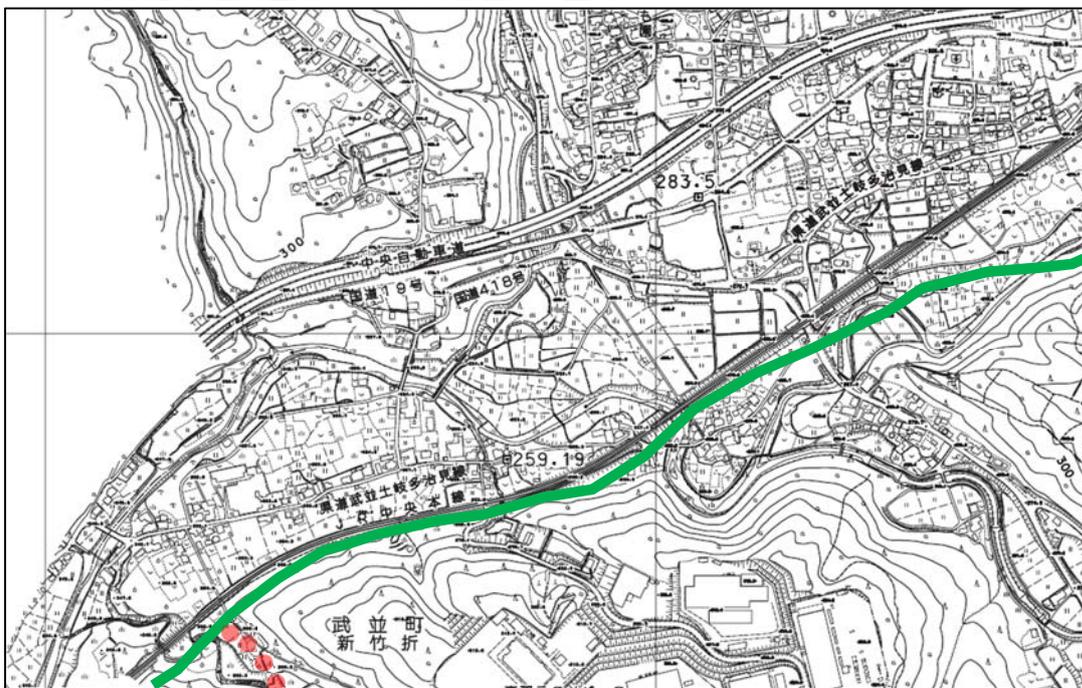
企業用地  
整備期間（予定） 令和2年～9年

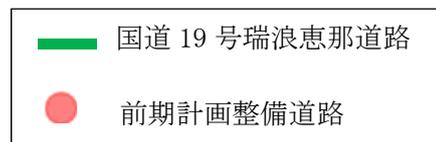
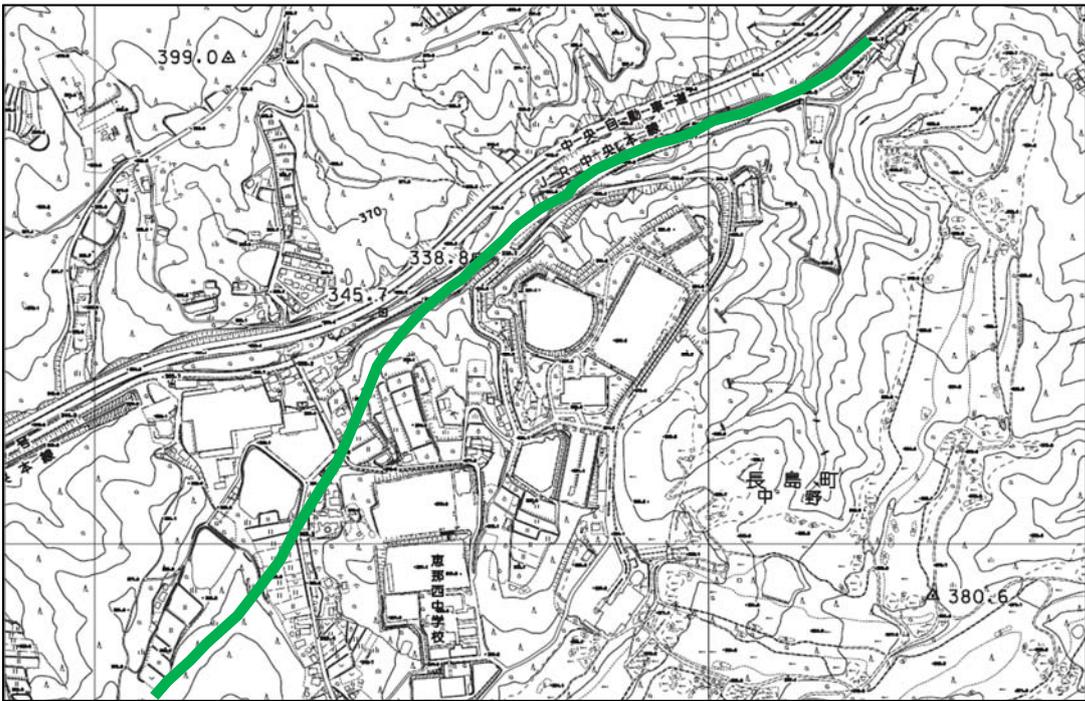
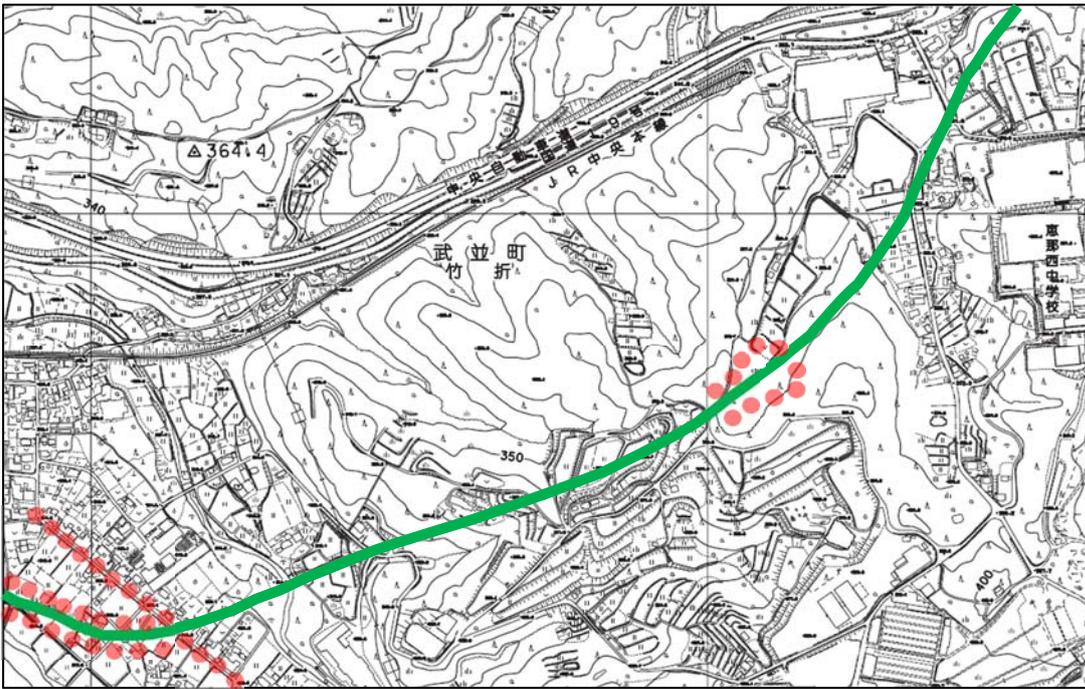
- 企業用地
- スマートIC
- 前期計画整備道路
- 中央自動車道
- 国道19号

## 5 瑞浪恵那道路整備に伴う周辺道路整備と武並駅周辺の基盤整備

現在、渋滞、事故等の交通課題の解消や、リニア中央新幹線の開業時の地域貢献に寄与するため、国道19号瑞浪恵那道路の整備が進んでいます。これに合わせ、瑞浪恵那道路沿線の取付け道路等の調整を図りながら進めます。

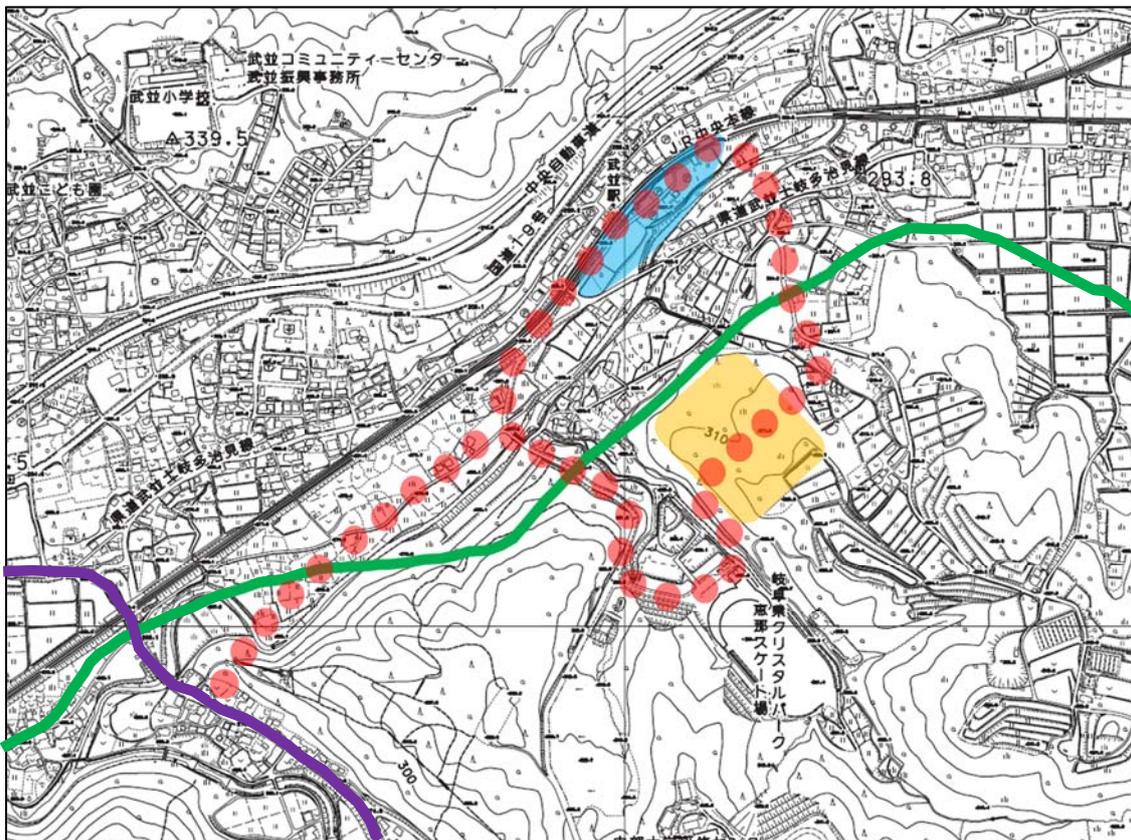
### (1) 瑞浪恵那道路整備に伴う周辺道路の整備





(2) 武並駅周辺の基盤整備

前期計画では、武並駅周辺から岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場（以下「クリスタルパーク」という。）までのエリアについて整備を行います。武並駅周辺は、パーク&ライド駐車場等の整備を、クリスタルパーク北側に道の駅等の地域振興施設（道の駅）の整備を行うよう計画を策定し、調整を図ります。また、このエリアを囲うような道路の整備を行います。



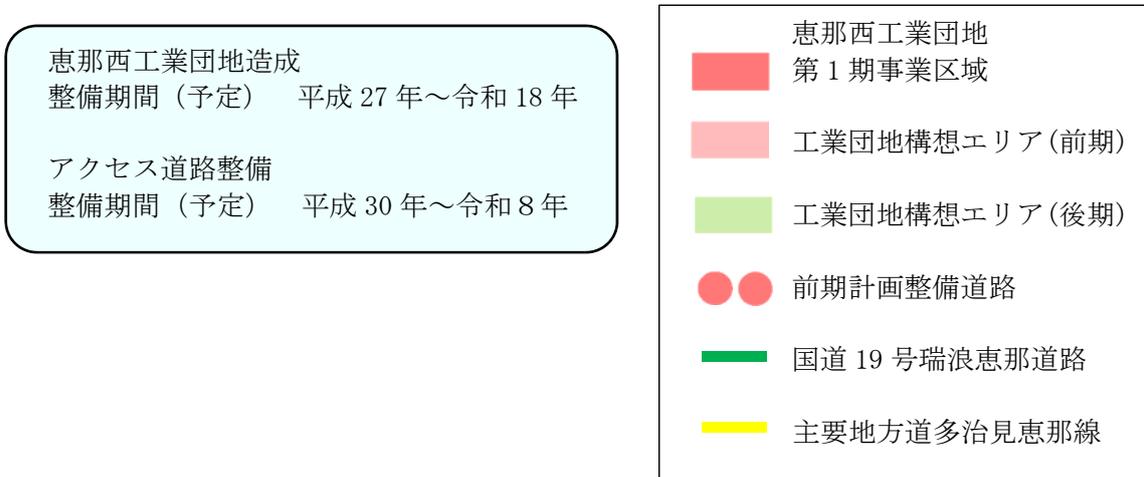
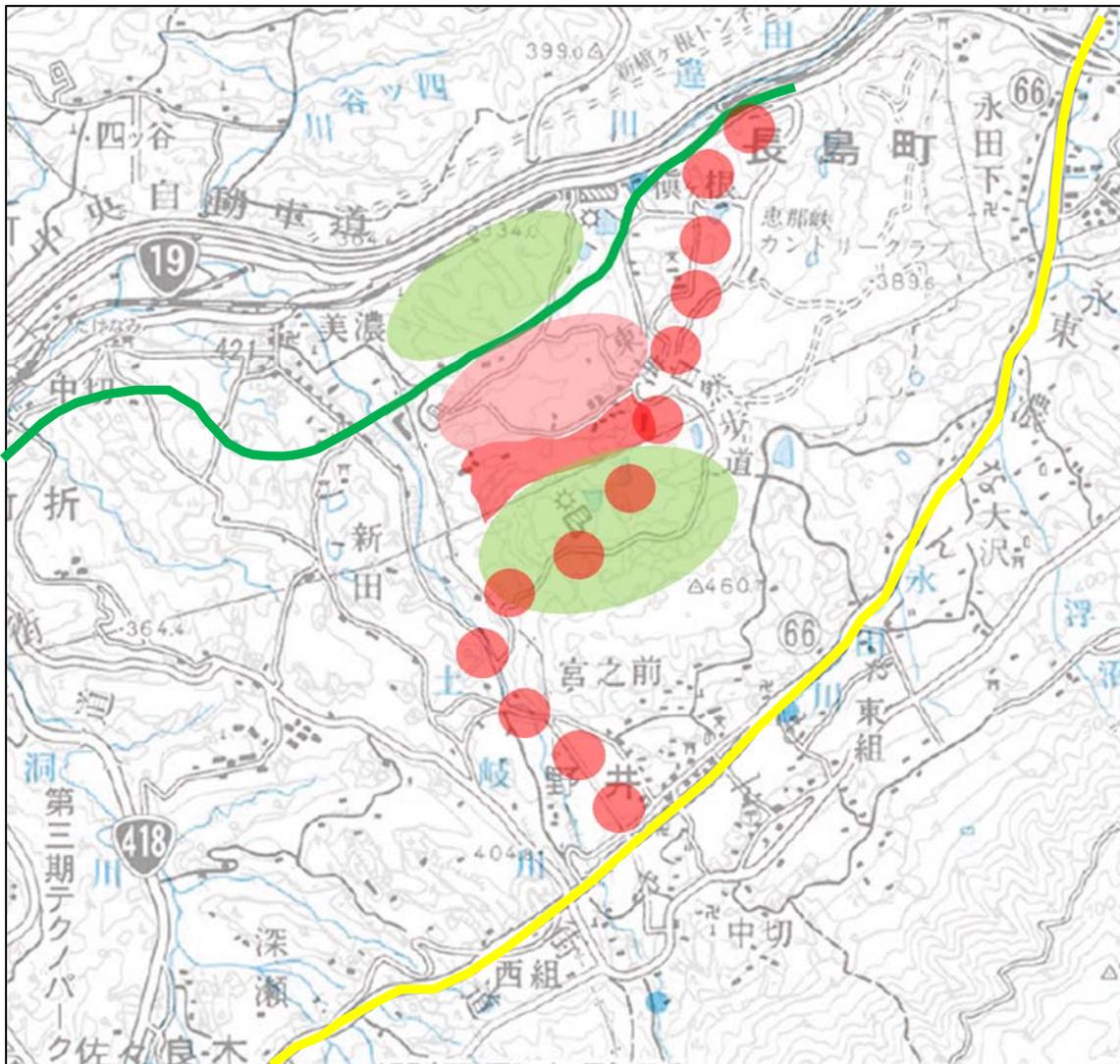
地域振興施設・パーク&ライド駐車場整備  
整備期間（予定） 令和3年～9年

パーク&ライドとは  
出発地からは自動車を利用し、途中で電車やバスなどに乗り換えて目的地まで移動する方式のこと。

- 地域振興施設（道の駅）
- パーク&ライド駐車場
- 前期計画整備道路
- 国道 19 号瑞浪恵那道路
- 国道 418 号

## 6 恵那西工業団地及びアクセス道路の整備

既存の工業団地である恵那テクノパークは、平成26年に完売しており、進出意向のある企業にこたえる事が出来ない状況にあります。そこで恵那市では、新たな働く場の創出による定住人口の拡大を目指して、恵那西工業団地及びアクセス道路の建設を進めます。



## 7 リニア軌道により分断される道路・水路等の機能回復

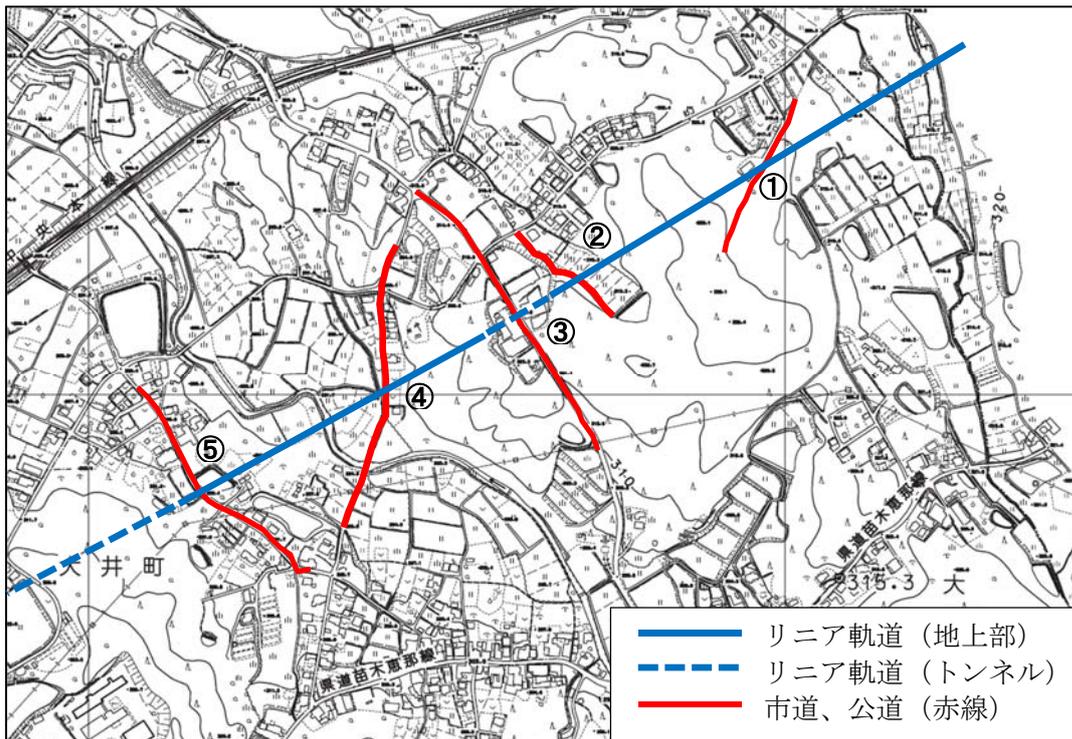
リニア軌道により分断される道路・水路等は、その機能を早期に回復させる必要があります。道路の幅員を確保するだけでなく、安全性や利便性についても担保できる機能回復を図ります。現在の機能についてはJR東海にて回復することとなりますが、機能を向上させる部分については、恵那市にて行います。機能回復については、機能回復にかかる費用をJR東海が負担し、市で施工することを基本に考えています。

リニアの地上部区間で公道と交差する箇所は以下のとおりです。（幅員単位:m）

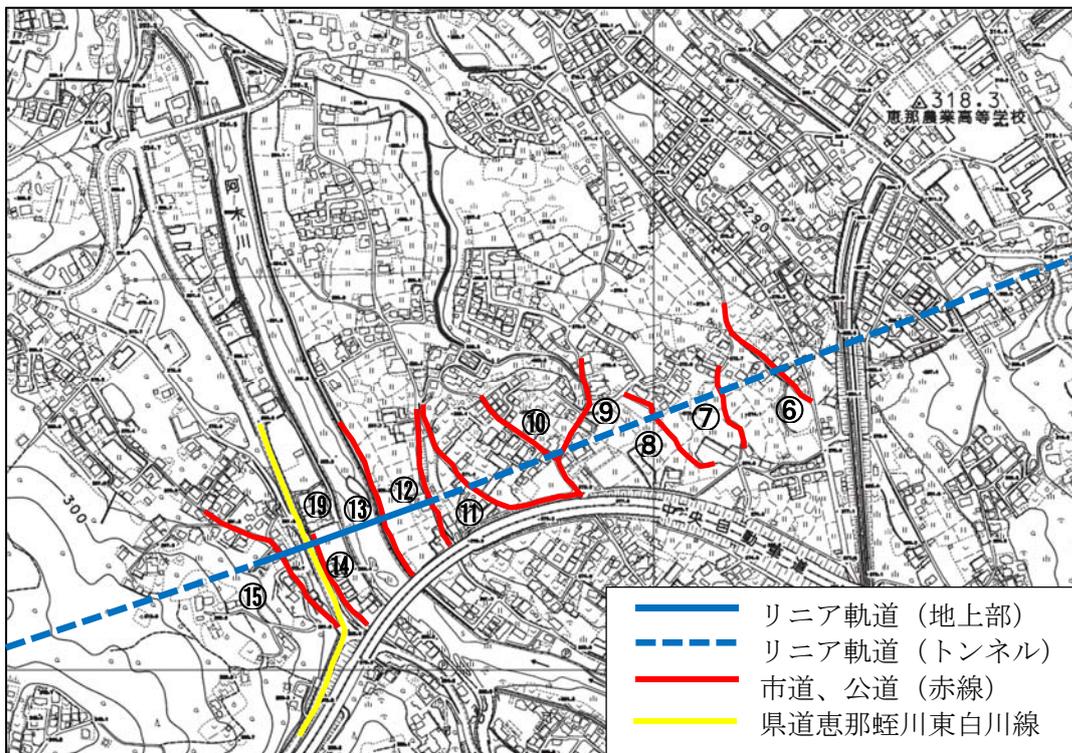
番号	地区	道路名	現況道路幅員	交差形状
①	大井町2区	公道(赤線)	2.2	掘り割り (3.5m防音壁)
②		市道 01079 号	2.2	掘り割り (緩衝工)
③		市道 91008 号	7.8	大井第1トンネル
④		市道 92015 号	3.6	濁川右岸 橋梁区間 空頭 H=4.5m
⑤		市道 01083 号	4.2	トンネル入口 掘り割り(防音防災フード)
⑥	大井町7区	市道 01117 号	3.0	半地下構造 (土被り)
⑦		公道(赤線)	2.4	半地下構造 (土被り)
⑧		公道(赤線)	1.5	半地下構造 (土被り)
⑨		市道 92018 号	5.0	半地下構造 (土被り)
⑩		市道 01131 号	6.0	半地下構造 (土被り)
⑪		市道 01118 号	3.7	半地下構造 (土被り)
⑫		市道 91018 号	4.3	大井長島線 空頭 H=4.0m
⑬		市道 01080 号	4.0	阿木川右岸 空頭 H=4.3m
⑭		市道 01163 号	3.7	阿木川左岸 空頭 H=4.7m
⑮	大井町8区	市道 01171 号	4.5	トンネル入口 掘り割り(防音防災フード)
⑯	武並町藤	公道(赤線)	2.0	トンネル入口 掘り割り(防音防災フード)
⑰		市道 05085 号	3.6	橋梁区間 空頭 H=5.0m
⑱		市道 05071 号	3.0	平面 (緩衝工)
⑲	大井町7区8区	県道 72 号	9.5	
⑳	武並町藤	国道 418 号	10.5	橋梁区間 空頭 H=6.0m

リニア軌道と道路の交差箇所図

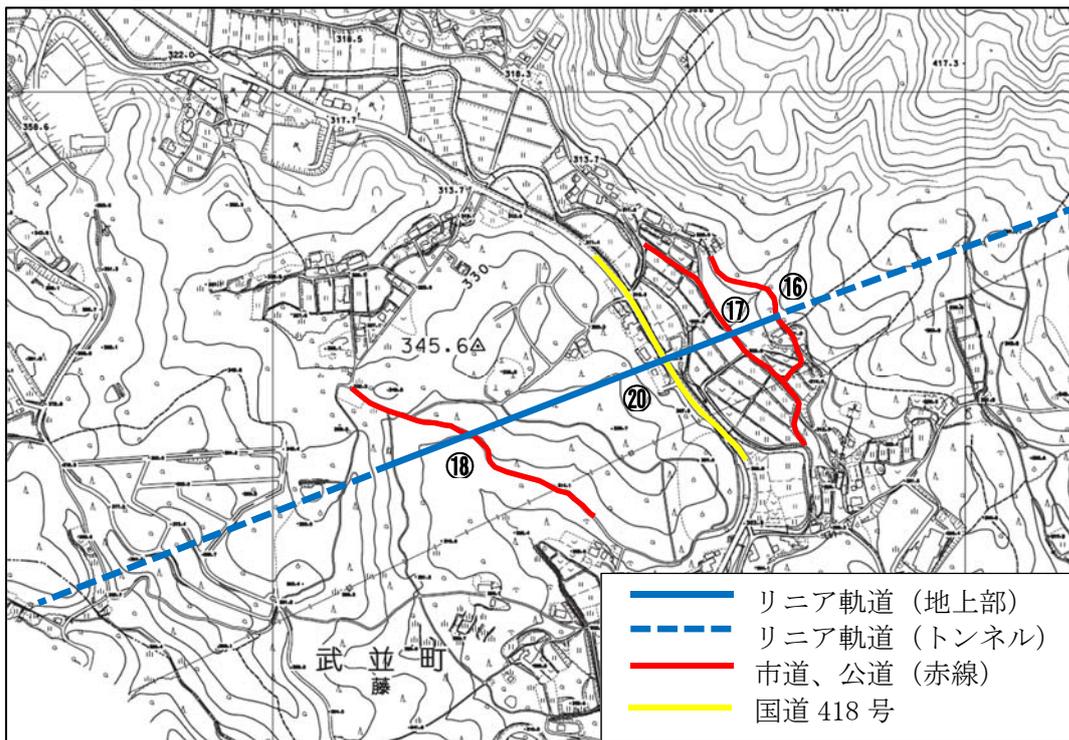
大井町東地区



大井町7・8区



武並町藤地区



リニアが開通後は、リニアと交差する市道については改良が難しくなると予想されます。現在の利用状況や将来の利用の予測から、以下の交差箇所については、現在より幅員を広くした形で機能回復を行い、将来の市道改良に備えます。

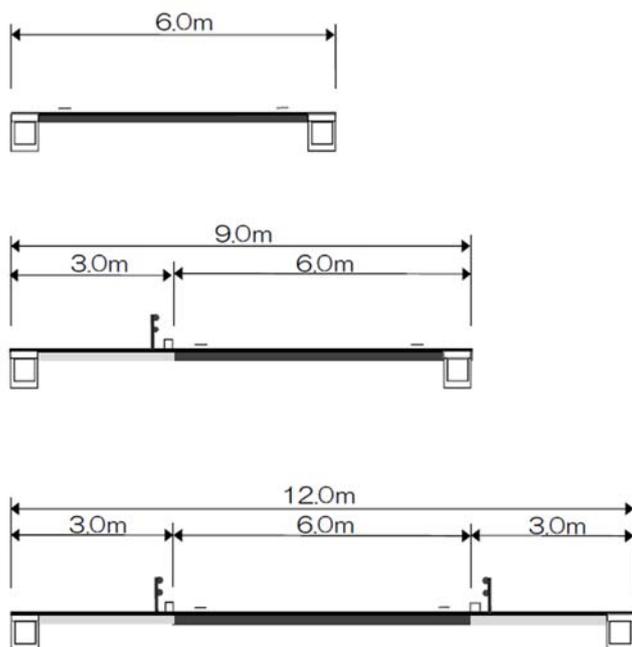
## ○機能を上げる道路

(幅員単位:m)

番号	地区	道路名	現況道路幅員	計画道路幅員	交差形状
②	大井町2区	市道 01079号	2.2	6.0	掘り割り (緩衝工)
③		市道 91008号	7.8	12.0	大井第1トンネル
④		市道 92015号	3.6	9.0	濁川右岸 橋梁区間 空頭 H=4.5m
⑤		市道 01083号	4.2	9.0	トンネル入口 掘り割り(防音防災フード)
⑥	大井町7区	市道 01117号	3.0	6.0	半地下構造 (土被り)
⑨		市道 92018号	5.0	9.0	半地下構造 (土被り)
⑩		市道 01131号	6.0	9.0	半地下構造 (土被り)
⑪		市道 01118号	3.7	6.0	半地下構造 (土被り)
⑫		市道 91018号	4.3	9.0	大井長島線 空頭 H=4.0m
⑬		市道 01080号	4.0	6.0	阿木川右岸 空頭 H=4.3m
⑭		市道 01163号	3.7	6.0	阿木川左岸 空頭 H=4.7m
⑮	大井町8区	市道 01171号	4.5	6.0	トンネル入口 掘り割り(防音防災フード)
⑰	武並町藤	市道 05085号	3.6	6.0	橋梁区間 空頭 H=5.0m
⑱		市道 05071号	3.0	6.0	平面 (緩衝工)

※計画道路幅員には側溝部分も含まれています。

## 標準横断図 (参考)



機能を上げる道路について、それぞれの路線の機能回復の考え方を以下に示します。

#### ②市道 01079 号線

市道 01079 号線は、掘割構造のリニア軌道と交差するため、どのような形で機能回復を行うか、地元及び JR 東海と協議を進めます。リニア開業後は改修が困難になることが予想されるため、リニアの工事に合わせて道路幅員を 6.0m として改修を行います。

整備期間（予定） 令和 5 年～ 7 年

#### ③市道 91008 号線（市道奥戸前田線）

市道 91008 号線は、トンネル構造のリニア軌道と浅い深さで交差します。リニア開業後は改修が困難になることが予想されるため、リニアの工事に合わせて道路幅員を 12.0m として改修を行います。

整備期間（予定） 令和 5 年～ 7 年

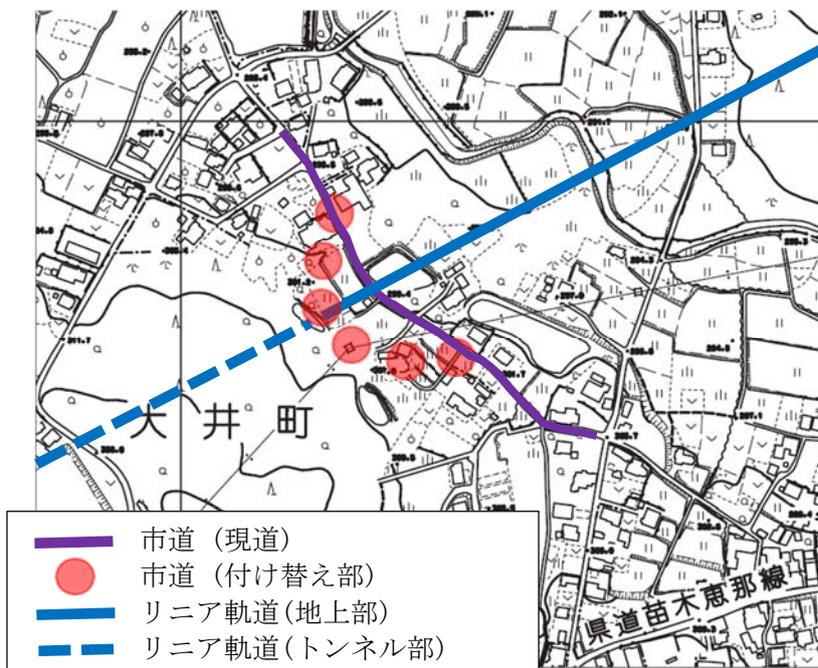
#### ④市道 92015 号線（市道牛馬場吉丁田線）

市道 92015 号線は、リニア軌道が橋梁構造で頭上を通ることとなります。リニア開業後は改修が困難になることが予想されるため、リニアの工事に合わせて道路幅員を 9.0m として改修を行います。また、道路面から橋梁までの高さが 4.5m となり、必要な離隔が確保できないため、どのような施工とするかを地元や JR 東海と調整を図り、機能回復を行います。

整備期間（予定） 令和 2 年～ 4 年

### ⑤市道 01083 号線

市道 01083 号線は、リニア軌道により分断されることとなります。付け替えについては、現道の西側にてリニア軌道の上を越す形で行います。リニア開業後は改修が困難になることが予想されるため、リニアの工事に合わせて道路幅員を 9.0m として改修を行います。



整備期間 (予定) 令和 5 年～ 7 年

### ⑥市道 01117 号線

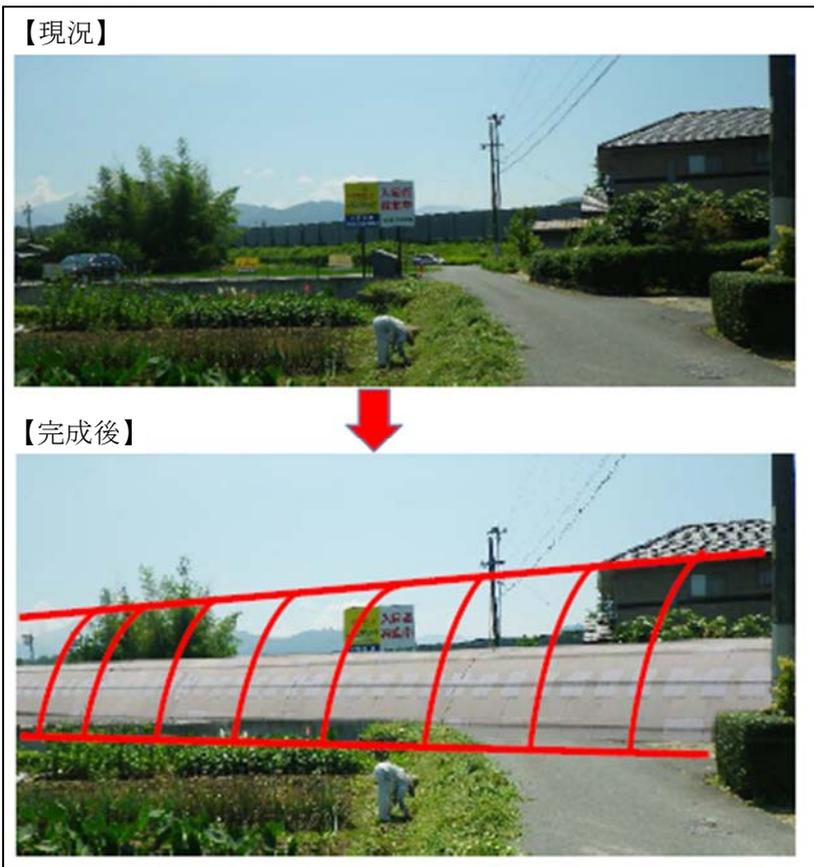
市道 01117 号線は、トンネル構造のリニア軌道と浅い深さで交差します。リニア開業後は改修が困難になることが予想されるため、リニアの工事に合わせて道路幅員を 6.0m として改修を行います。

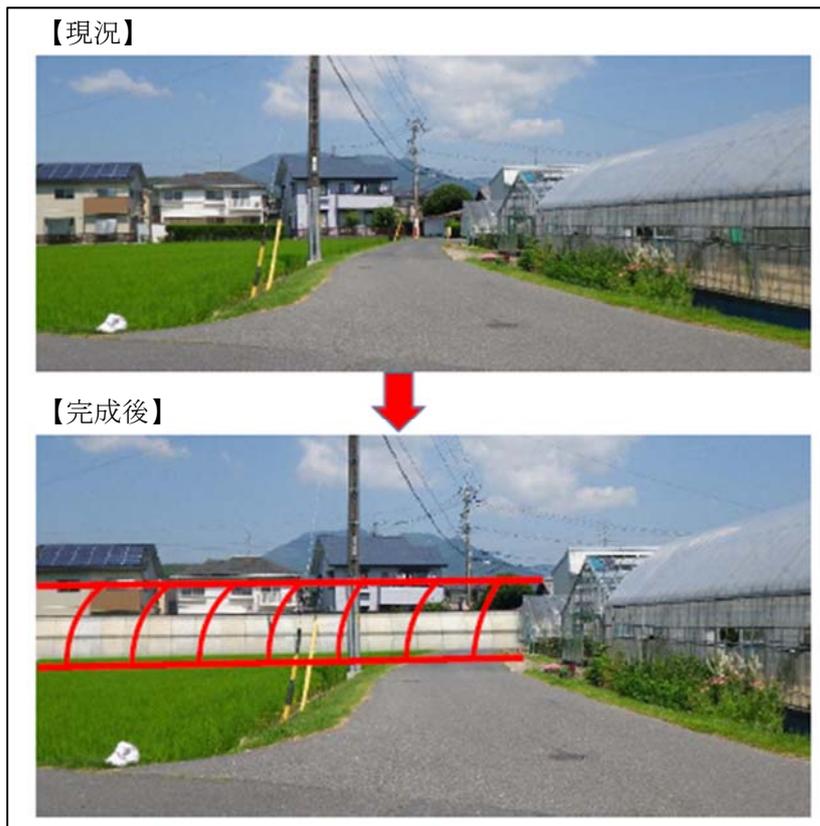
整備期間 (予定) 令和 2 年～ 4 年

◎市道 92018 号線（市道野畑野尻線）⑩市道 01131 号線⑪市道 01118 号線  
 ⑫市道 91018 号線（市道大井長島線）⑬市道 01080 号線

野尻野畑地区のリニアの工事では、現在の地盤に改良土を盛った後にトンネルを掘る工法をとり、約 500mにわたり地域が分断され、影響の大きな地域となります。道路では、市道 92018 号線、市道 01118 号線が分断されます。市道 92018 号線については、リニア軌道の上を越す形で道路を付け替えますが、歩行者や自転車での利用者が不便になることもあり、リニア軌道の両脇に側道を設けて影響が最小限になるよう道路を建設します。

完成後のイメージ

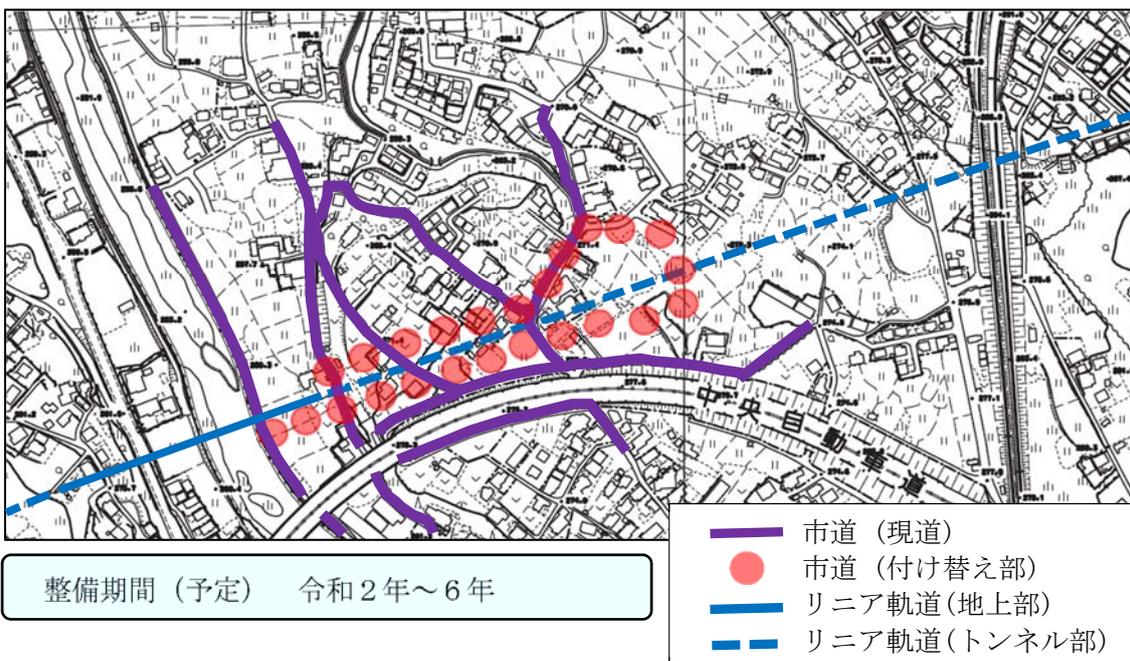




- ※ 恵那市作成資料に岐阜県リニア推進事務所が一部加工
- ※ 赤のハッチング部分が土盛りとなる予定



北陸新幹線 類似工法箇所（富山市北代地区）



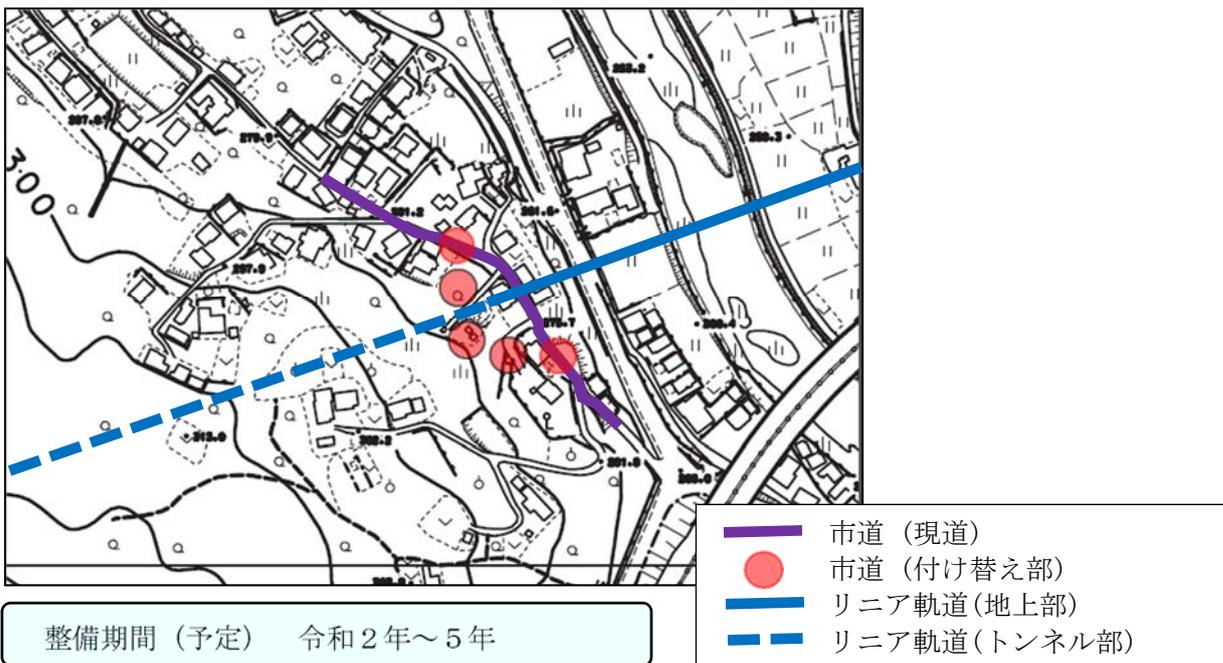
⑭市道01163号線

市道01163号線は、リニア軌道が橋梁構造で頭上を通ることとなります。リニア開業後は改修が困難になることが予想されるため、リニアの工事に合わせて道路幅員を6.0mとして改修を行います。また、道路面から橋梁までの高さは4.7mとなります。

整備期間 (予定) 令和2年～4年

⑮市道01171号線

市道01171号線は、リニア軌道により分断されることとなります。付け替えについては、現道の西側にてリニア軌道の上を越す形で行います。リニア開業後は改修が困難になることが予想されるため、リニアの工事に合わせて道路幅員を6.0mとして改修を行います。



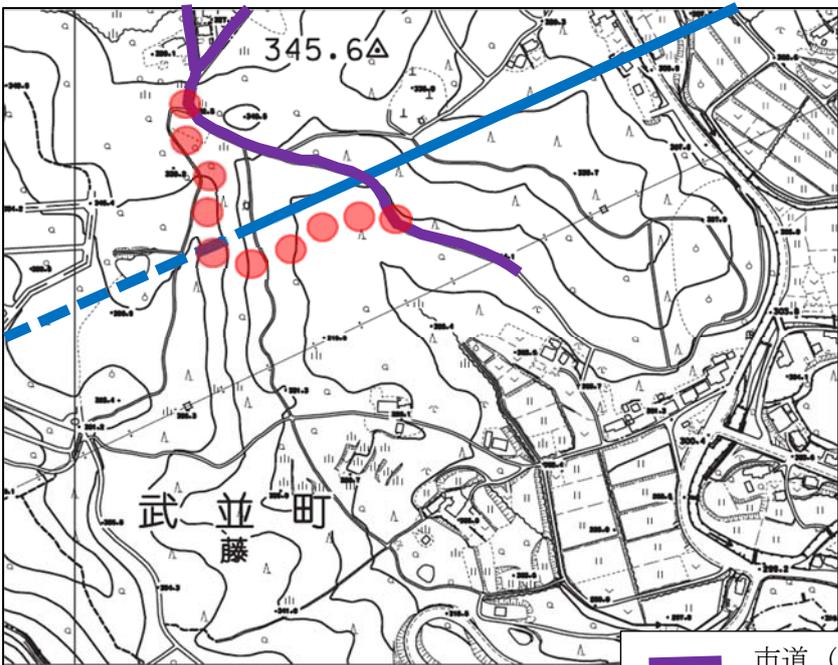
⑰市道 05085 号線

市道 05085 号線は、リニア軌道が橋梁構造で頭上を通ることとなります。リニア開業後は改修が困難になることが予想されるため、リニアの工事に合わせて道路幅員を6.0mとして改修を行います。また、道路面から橋梁までの高さは5.0mとなります。

整備期間（予定） 令和2年～4年

⑱市道 05071 号線

市道 05071 号線は、リニア軌道により分断されることとなります。付け替えについては、現道の西側にてリニア軌道の上を越す形で行います。リニア開業後は改修が困難になることが予想されるため、リニアの工事に合わせて道路幅員を6.0mとして改修を行います。



整備期間（予定） 令和4年～6年

- 市道（現道）
- 市道（付け替え部）
- リニア軌道（地上部）
- リニア軌道（トンネル部）

・阿木川右岸第6雨水排水幹線、黒岩川

野尻野畑地区の雨水排水は、山本用水を流れていますが、リニア軌道により分断されるため、リニア軌道の南側に新たな幹線を設けます。これまで、大雨の際に黒岩川が溢水することが問題となっていました。新たな幹線に水を流すことで黒岩川への流入量が減ることとなります。より詳細な調査を行い、必要であれば黒岩川の改修を行います。



整備期間 (予定) 令和3年～7年

以下の道路については、現在の機能の回復を行います。

○現道並みの機能回復を行う路線

番号	地区	道路名	現況道路幅員	交差形状
①	大井町2区	公道(赤線)	2.2	掘り割り (3.5m防音壁)
⑦	大井町7区8区	公道(赤線)	2.4	半地下構造 (土被り)
⑧		公道(赤線)	1.5	半地下構造 (土被り)
⑯	武並町藤	公道(赤線)	2.0	トンネル入口 掘り割り(防音防災フード)

## 8 リニアの工事用道路の計画的利用

大井町東地域や大井町7区では、リニア軌道の工事のための資材等の搬出入を行うための道路が必要となります。

現道を利用する場合は、地域住民の交通に与える影響を最小限にするよう JR 東海と協議を行います。

また、工事用道路は工事終了後も恒久的に利用できる道路として改良を行うこととし、費用負担について JR 東海と協議を進めます。

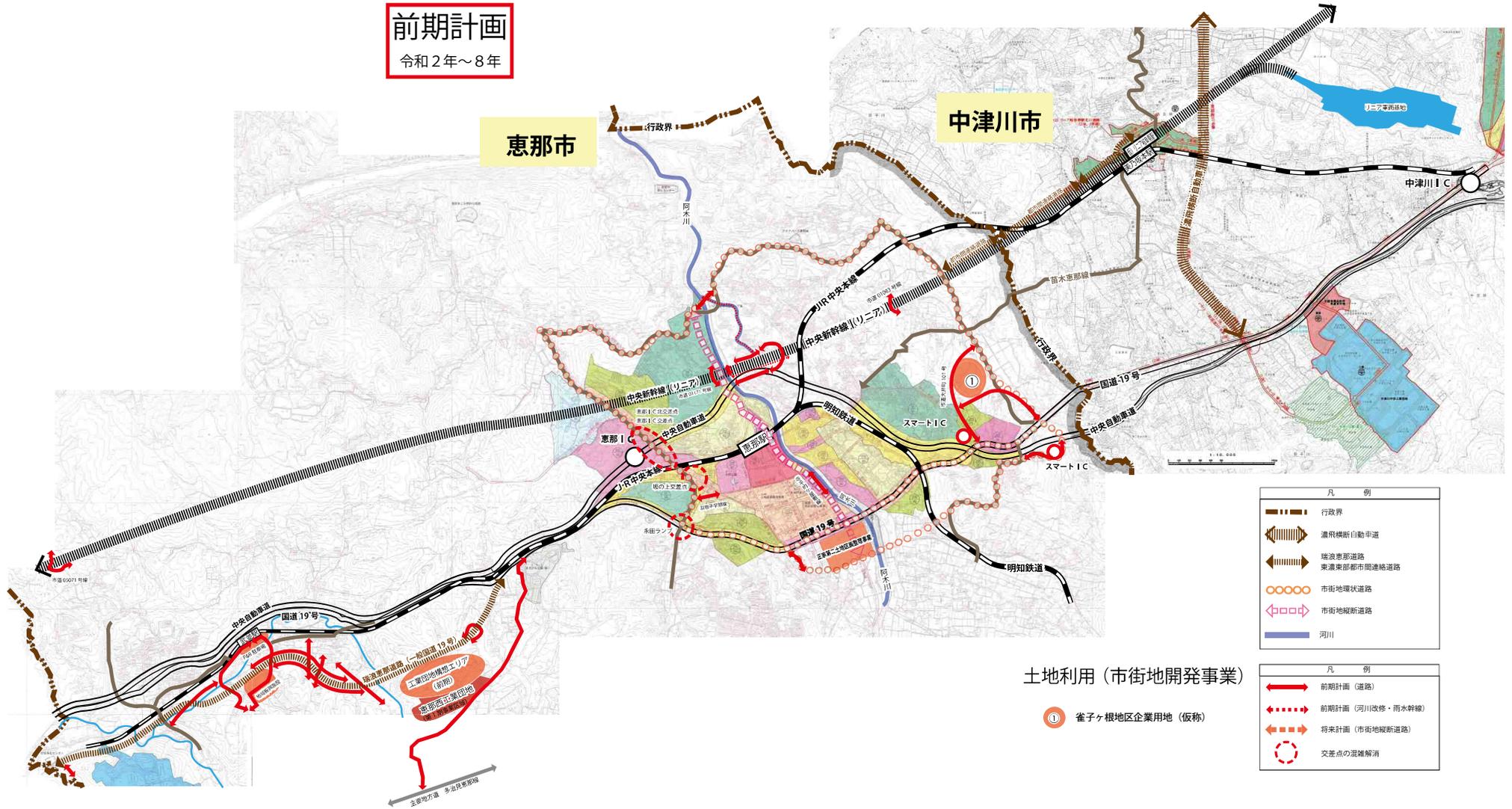
## 9 良好な住環境の保持

リニアの建設に当たっては、工事期間中及び開業後も良好な住環境が保持されることが必要です。工事期間中は、工事箇所及び工事車両の通過ルート周辺において、騒音、振動、粉塵等の影響が最小限となるような措置を講じると共に、地域に対して丁寧な説明を行なうよう JR 東海へ申し入れを行ないます。また、地盤の崩落や水の枯渇・減少等が起こらないよう、安全や環境に配慮した施工について要請します。

また、建設後も良好な住環境を保つために、リニアによる影響が最小限になるよう JR 東海と協議を行います。

# 恵那市リニアまちづくり基盤整備計画 対象図

**前期計画**  
令和2年～8年



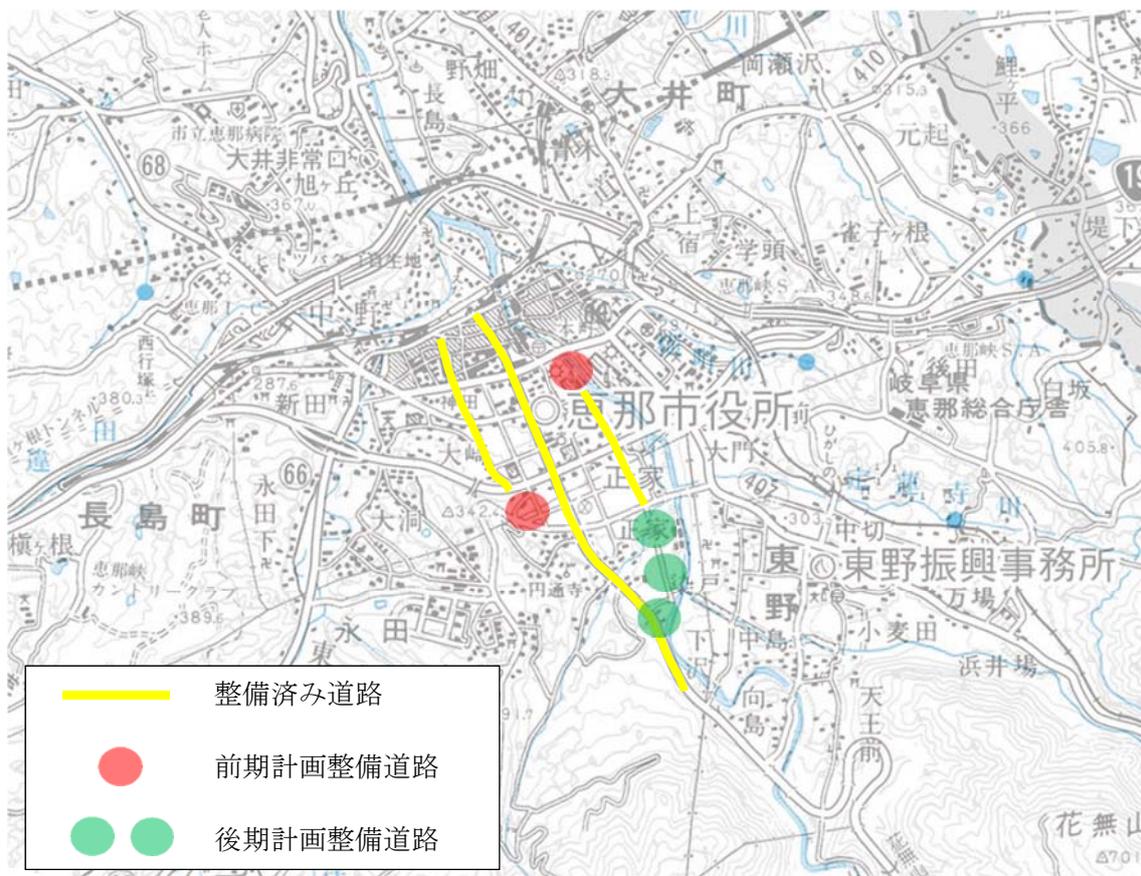


## 第3章 後期計画（ステップ2）

### 1 市街地縦断道路の整備

#### （1）南北を結ぶ幹線道路の整備

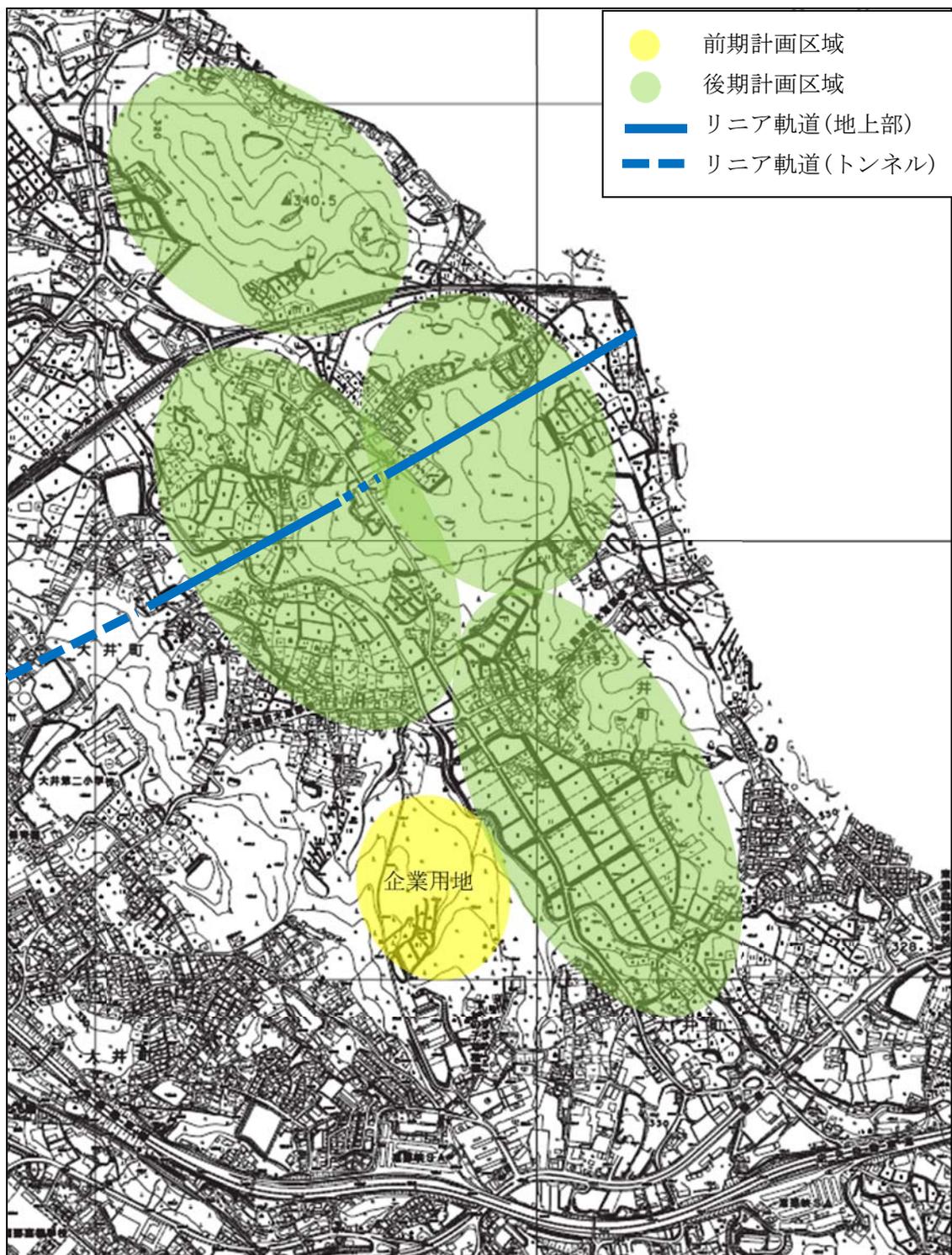
恵那市街地を利用する車の多くが県道恵那停車場線に集中しているため、南北を結ぶ道路軸を強化する必要があるため、都市計画道路寺平的ヶ屋敷線の整備を進めます。この路線の整備を進めることにより、恵那市南部地域・中津川市阿木方面からの自動車の通行を分散化させ、スムーズに国道19号や市街地に流入させることができるため、国道257号や県道恵那停車場線の混雑の解消を図ることができます。



## 2 リニア及び瑞浪恵那道路沿線地域のまちづくり

### (1) 大井町東地域

大井町東地域については、恵那市の中でもリニア岐阜県駅に近く、幹線道路に接しています。こうした戦略的な土地利用を図ることができるポテンシャルを活かすために、地元と協議を行い、良質な住宅地を確保するなどの賑わいを創出できるまちづくりを地元と共に進めます。



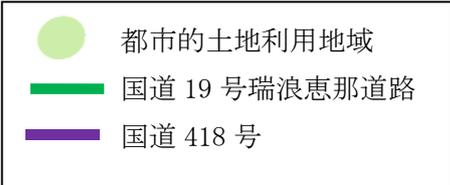
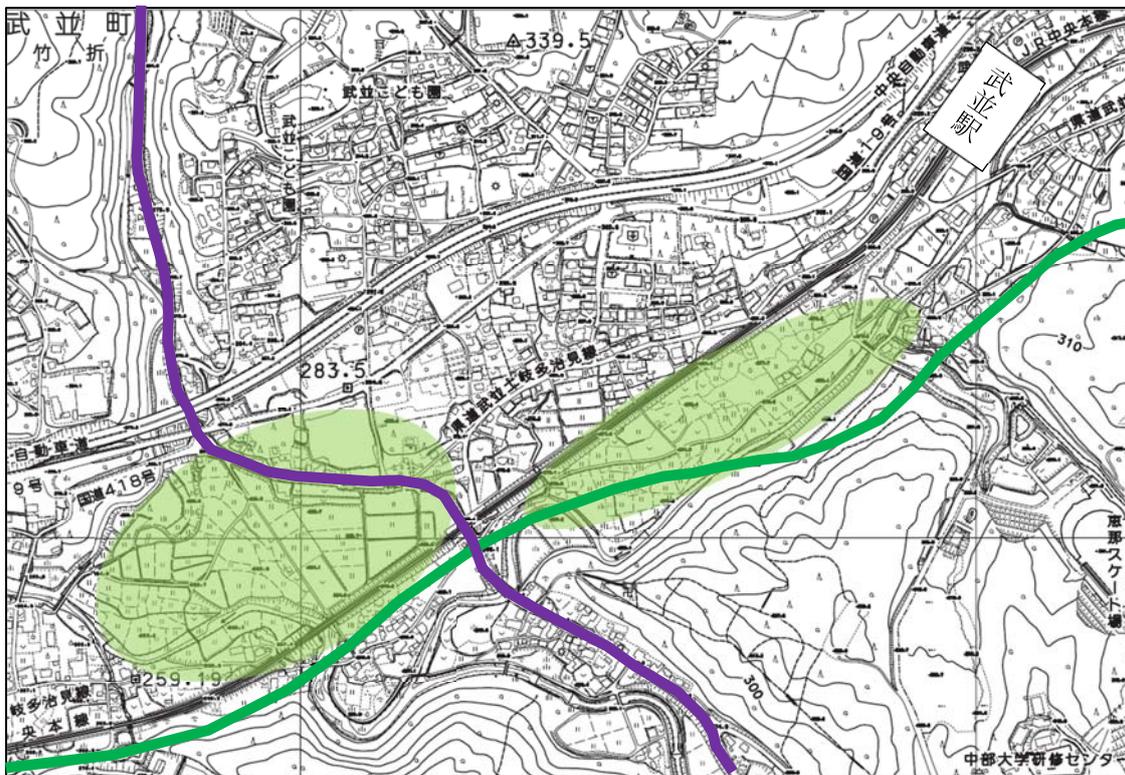
(2) 大井町7区

大井町7区の野尻・野畑・大井長島地区は、恵那駅・恵那インターチェンジ・市立恵那病院に近く戦略的な土地利用を図ることができるポテンシャルを帯びています。このポテンシャルを最大限活かすために、地元と協議を行い、良質な住宅地を確保するなどの都市的土地利用を促進するまちづくりを進めます。また、地域の生活道路や地域外へのアクセス道路が狭隘なため、阿木川への架橋も含め、道路の改良について地元と共に取り組みます。

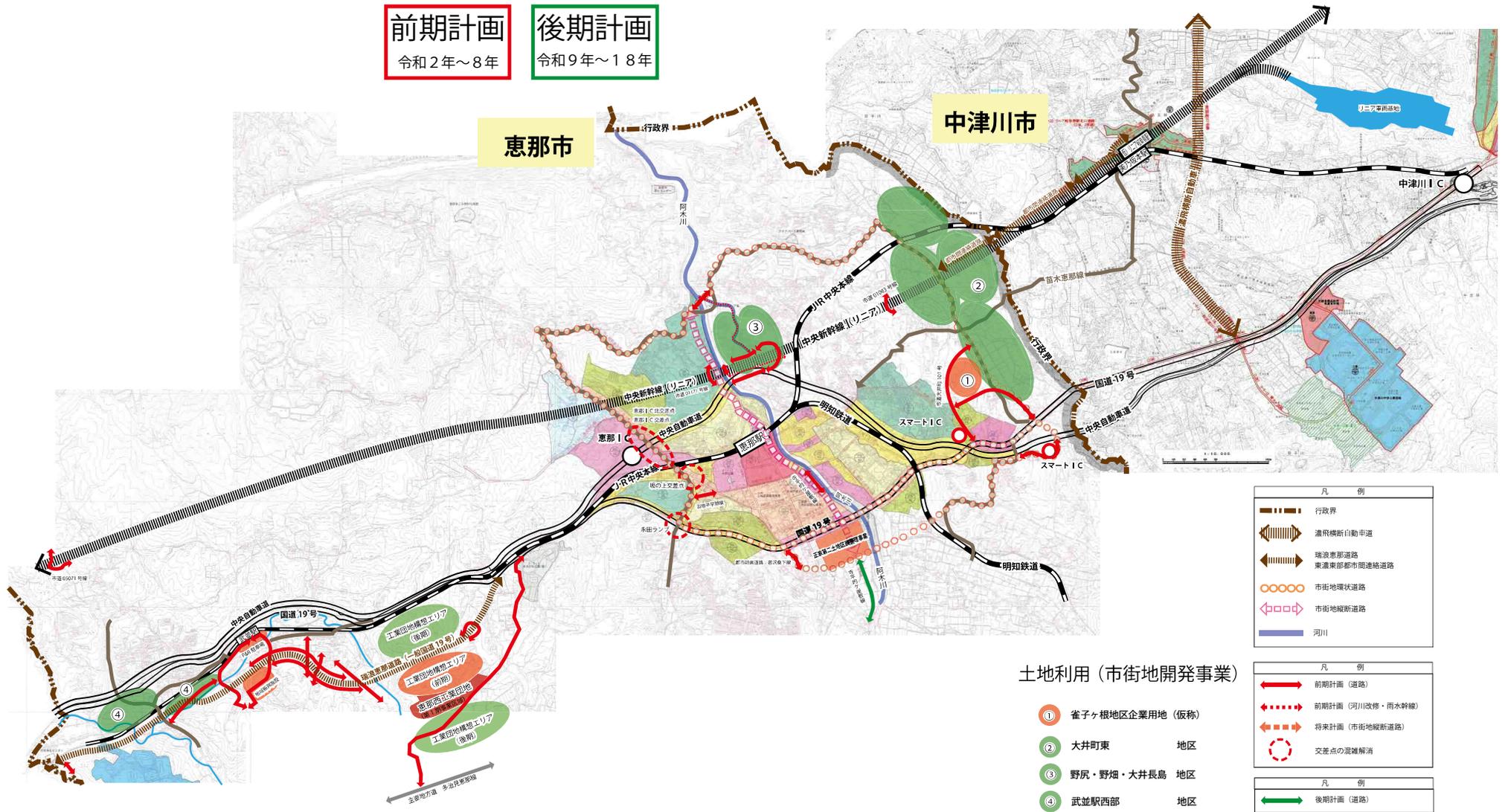


(3) 武並駅西部地区

現在、渋滞、事故等の交通課題の解消や、リニア中央新幹線の開業時の地域貢献に寄与するため、国道19号瑞浪恵那道路の整備が進んでいます。また、リニア岐阜県駅に隣接する美乃坂本駅からJR中央本線にて2駅で結ぶ武並駅周辺は、ポテンシャルの高い地域となります。武並駅の西側の地区について、良質な住宅地を確保するなどの都市的土地利用を促進するための基盤整備を地元と共に進めます。



# 恵那市リニアまちづくり基盤整備計画 対象図





## 第4章 将来計画（ステップ3）

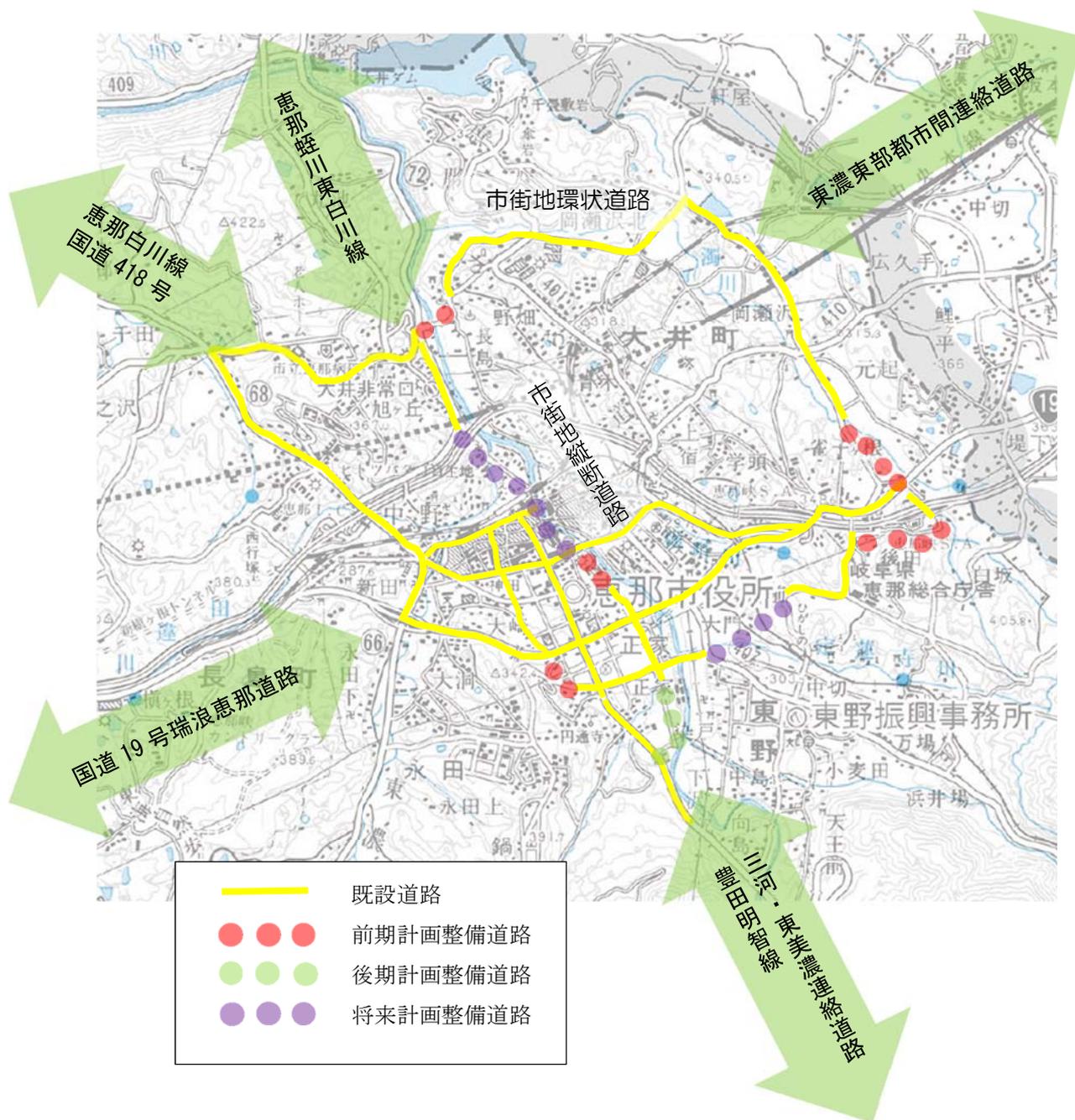
### 1 市街地環状道路の整備

(1) 市街地環状道路の後期計画における整備方針

市街地環状道路の整備にあたっては、既存道路を有効に活用しながら、必要な区間について順次整備を行います。

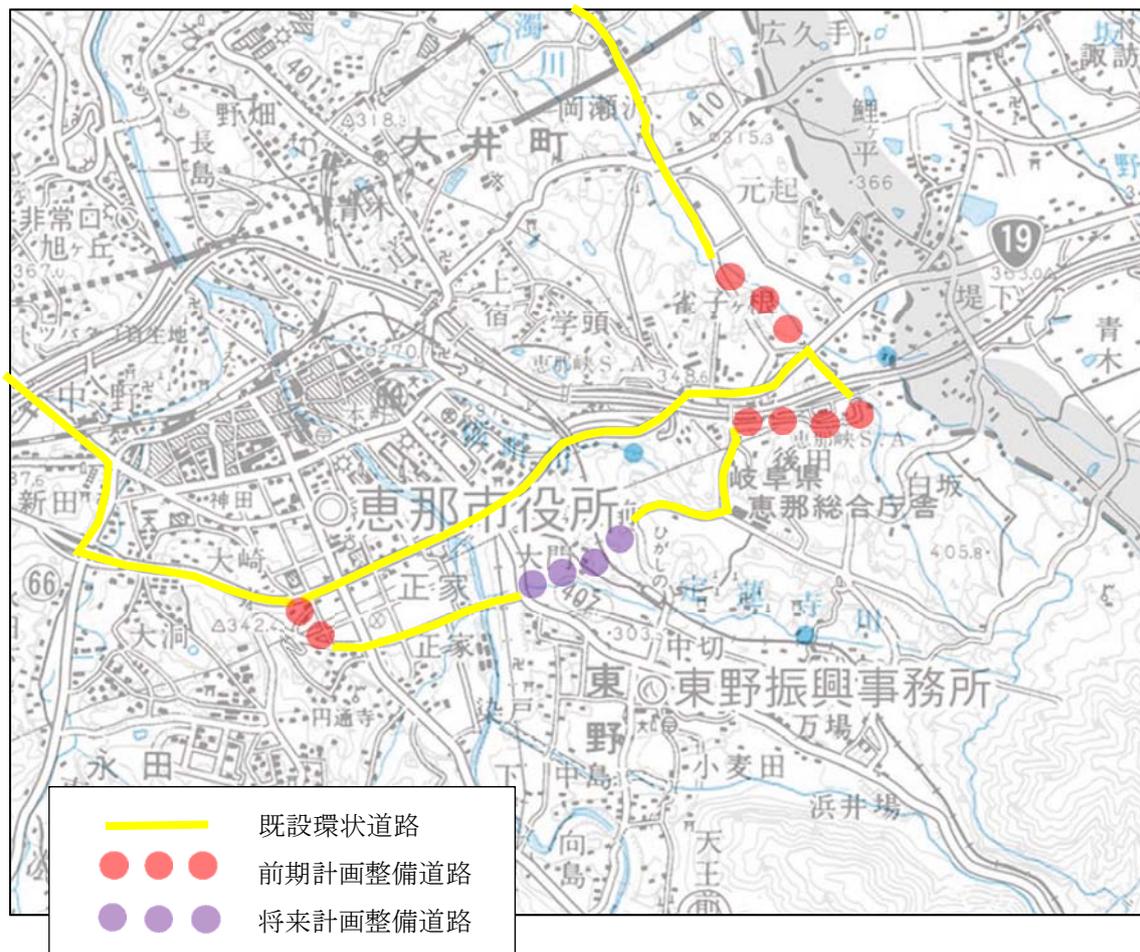
将来計画においては、市道赤田干橋線から市道清水白坂線へ抜ける道路の新設に取り組みます。

市街地環状道路（再掲）



(2) 整備する環状道路

市街地環状道路として整備を行う道路のうち、市道赤田干橋線から市道清水白坂線へ抜ける道路の新設に取り組みます。



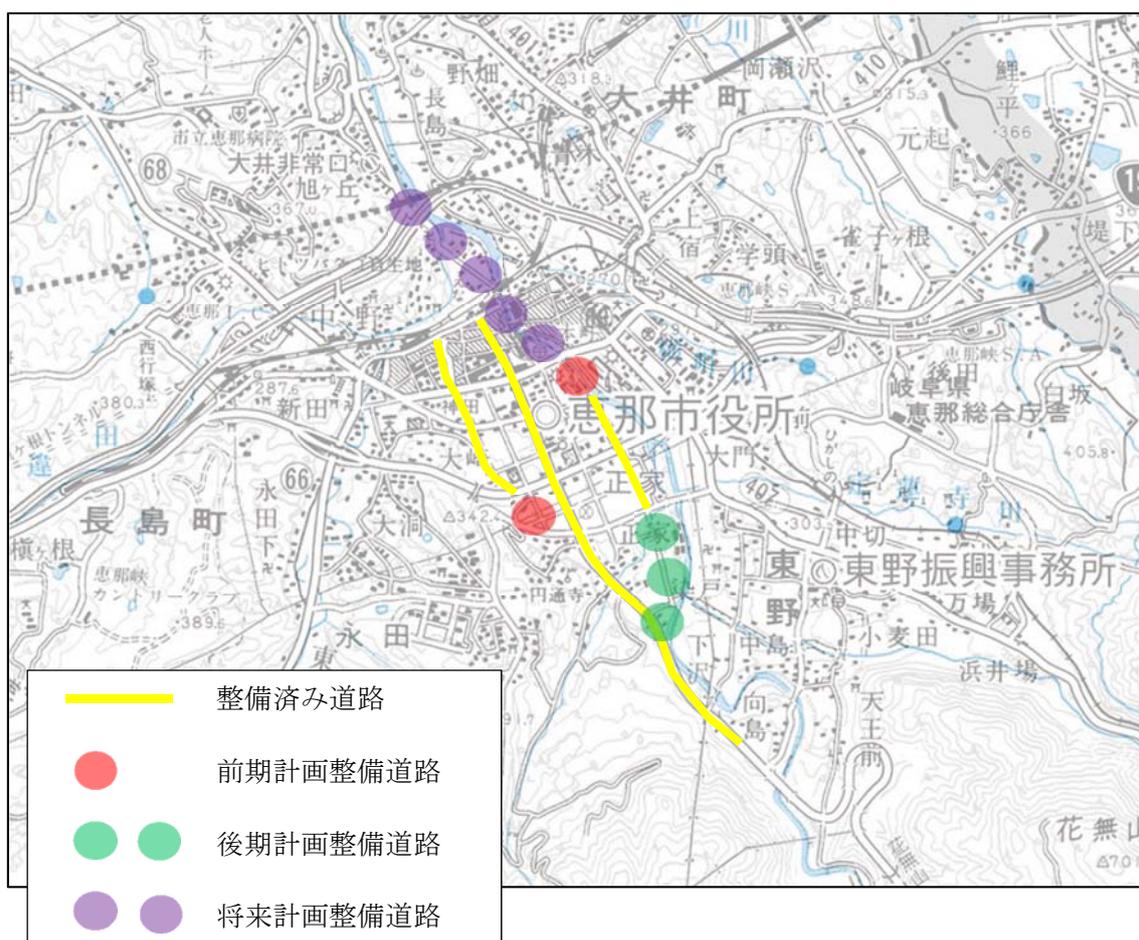
## 2 市街地縦断道路の整備

### (1) 南北を結ぶ幹線道路の整備

恵那市街地を南北方向へ移動する車の多くが県道恵那停車場線に集中しているため、南北を結ぶ道路について道路軸を強化する必要があります。将来計画においては、下記路線の整備を進めます。

#### 1) 都市計画道路寺平的ヶ屋敷線

都市計画道路寺平的ヶ屋敷線の整備を進めることにより、市街地南側から市街地を通り、駅の北まで抜ける幹線道路が完成します。在来線の中央本線より北エリアの自動車の通行を分散させることができるため、主要地方道恵那白川線の混雑の解消を図り、恵那インターチェンジ交差点や坂の上交差点の混雑を緩和することができます。



### 3 恵那駅北地区の基盤整備

#### (1) 恵那駅北地区

在来線の中央本線より北エリアでは駅を利用するためには、県道恵那白川線か南北踏切のある都市計画道路寺平的ヶ屋敷線がメインの道路となり、どちらも混雑する路線となっています。恵那駅北側の地区を整備し、恵那駅の北側から恵那駅を利用できるようにすることにより、どちらの路線も混雑の低減を図ることができると考えます。このような理由により、恵那駅北地区の基盤整備について調整を図ります。

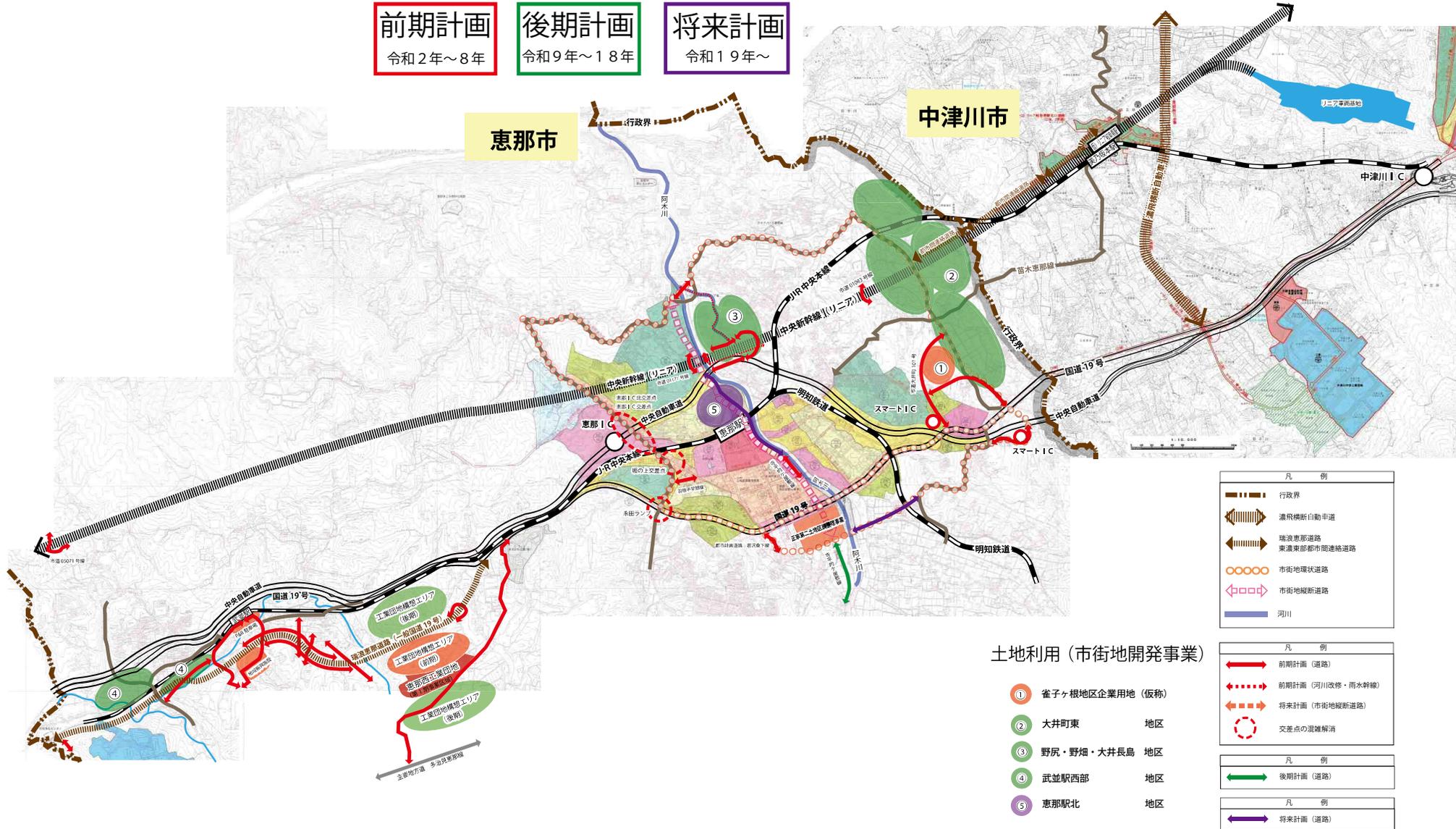


# 恵那市リニアまちづくり基盤整備計画 対象図

**前期計画**  
令和2年～8年

**後期計画**  
令和9年～18年

**将来計画**  
令和19年～



## 土地利用（市街地開発事業）

- ① 雀子ヶ根地区企業用地（仮称）
- ② 大井町東 地区
- ③ 野尻・野畑・大井長島 地区
- ④ 武並駅西部 地区
- ⑤ 恵那駅北 地区

凡 例	
	行政界
	濃飛横断自動車道
	瑞浪恵那道路
	東濃東部市間連絡道路
	市街地環状道路
	市街地縦断道路
	河川

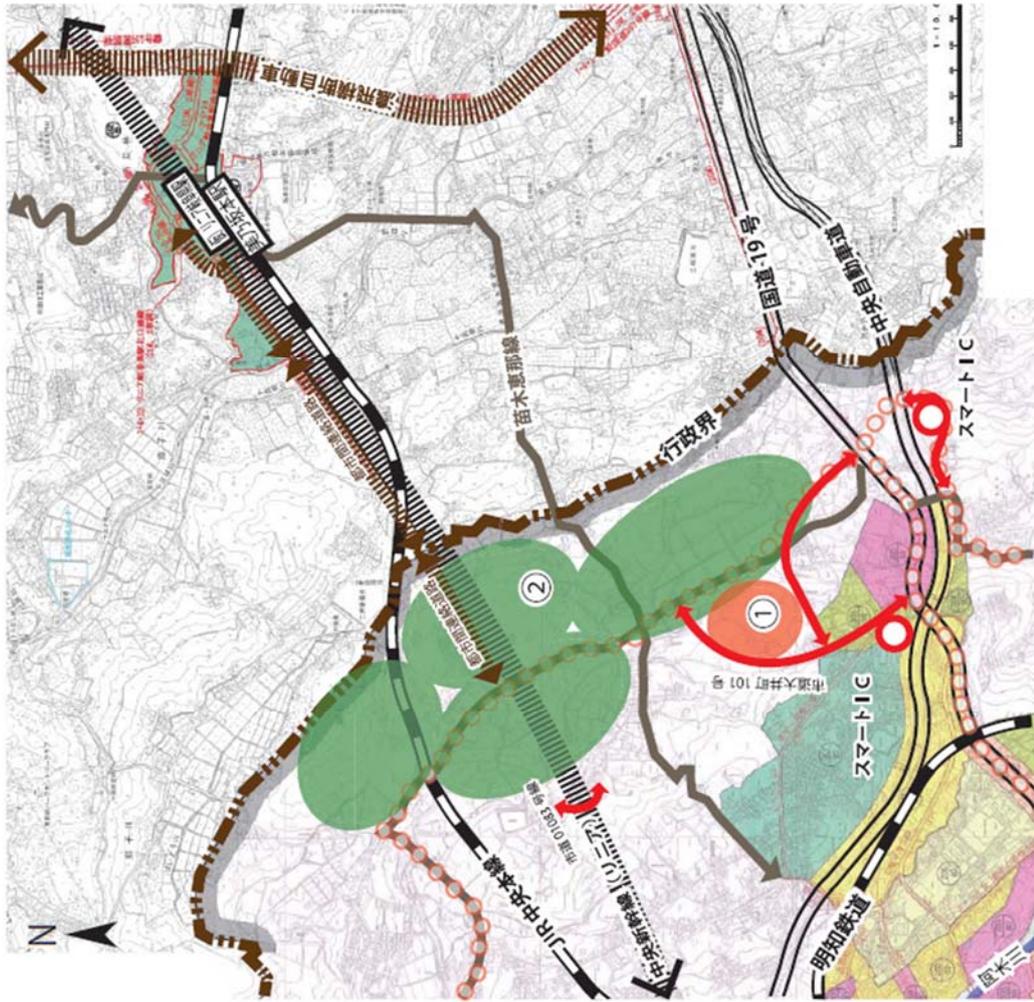
凡 例	
	前期計画（道路）
	前期計画（河川改修・雨水幹線）
	将来計画（市街地縦断道路）
	交差点の混雑解消

凡 例	
	後期計画（道路）

凡 例	
	将来計画（道路）



# 大井町東地区



凡 例	
	行政界
	濃飛横断自動車道
	市街地環状道路
	河川

凡 例	
	前期計画（道路）

● 基盤整備

① 雀子ヶ根地区企業用地（仮称）

② 大井町東 地区

整備時期	事業
前期計画	スマートインターチェンジ及びアクセス道路整備
前期計画	リニア軌道により分断される道路・水路等の機能回復
前期計画	リニア及び瑞浪恵那道路沿線地域のまちづくり

# 市街地周辺地区



凡 例	
	行政界
	濃飛横断自動車道
	瑞浪恵那道路
	東濃東部市間連絡道路
	市街地環状道路
	市街地縦断道路
	河川
	前期計画 (道路)
	前期計画 (河川改修・雨水幹線)
	交差点の混雑解消
	後期計画 (道路)
	将来計画 (道路)

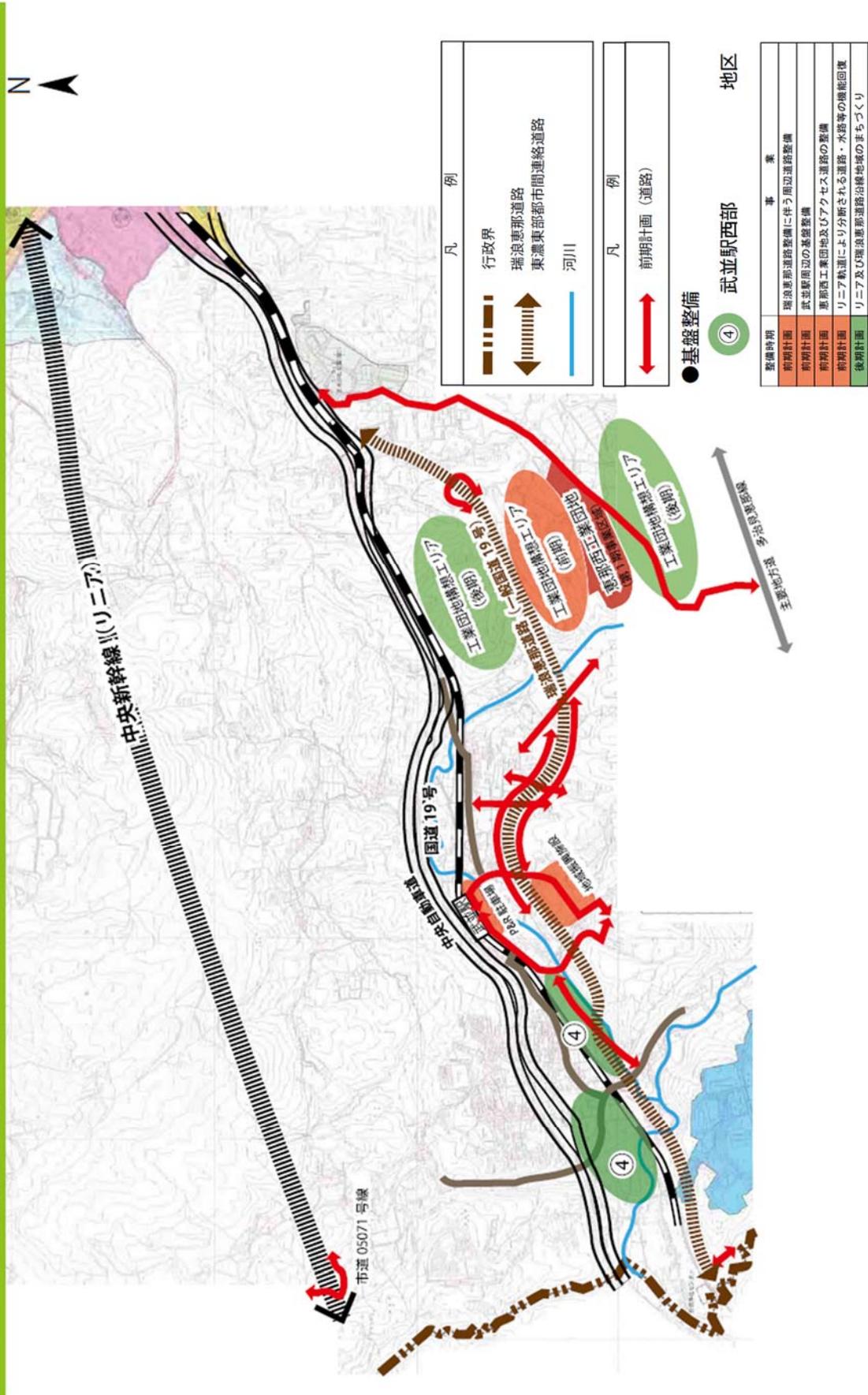
● 基盤整備

③ 野尻・野畑・大井長島 地区

⑤ 恵那駅北 地区

整備時期	事業
前期計画	県道恵那白川線の混雑の解消
前期計画	恵那IC・恵那IC北交差点の通行規制等
前期計画	坂の上交差点の混雑の解消
前期計画	水田ランプの混雑の解消
前期計画	市道土々ヶ根観音寺線・市道長島奥戸線の改良
前期計画	市街地南側から入る道路線の強化
前期計画	南北を結ぶ幹線道路の整備
後期計画	リニア軌道により分断される道路・水路等の機能回復
後期計画	リニア及び周辺恵那郡道沿線地域のまちづくり
将来計画	市街地縦断道路・環状道路の整備
将来計画	恵那駅北地区の基盤整備

# 武並町周辺地区



## 第5章 計画の推進にあたって

### 1 計画推進のための取り組み方法

#### (1) 関係機関との連携

計画を着実に実行して効果を出すためには、国や県、関係他市との連携が不可欠です。道路政策の動向など、積極的に情報収集に努め、調整し連携を図っていきます。また、関連予算の確保のため、補助金や交付金についての動向についても情報収集すると共に、効果的な要望活動を行います。

#### (2) 地域と一体となった取り組みの推進

各種の基盤整備を進めるためには、地域の理解と協力が不可欠となります。基盤整備に関する市民への周知を図ることで、地域の基盤整備に対する機運の高まりを醸成します。また、目的を持った基盤整備を進めるため、地域はもとより、経済団体や観光協会等の関係団体と連絡調整を図りながら計画を推進します。

#### (3) 計画の見直し

本計画は、リニアの東京－大阪間開業予定である2037年※以降までを見据えた、長期間にわたる計画となっています。時間経過や社会情勢の変化に伴い、計画の変更が必要となります。毎年、本計画の進行管理を行うとともに、リニアの東京－名古屋間開業となる2027年度には見直しを行い、時代に即した計画とします。

※ JR東海は、東京－大阪間の開業を当初は2045年としていましたが、政府の3兆円の財政投融资により最大8年間前倒しできるとしたため、東京－大阪間の開業を2037年で想定しています。

## 恵那市リニアまちづくり基盤整備計画策定委員会 委員

(敬称略)

選 定 項 目	氏 名
恵那市地域自治区会長会議を代表する者	
大井町代表	前川 登
長島町代表	山内 達雄
武並町代表	瀨瀬 鍊一
学識経験者	
学識経験者 (中部大学工学部教授)	磯部 友彦
商工業関連団体の構成員	
恵那商工会議所からの推薦	山本 好作
恵南商工会からの推薦	堀 鑛
観光関連団体の構成員	
恵那市観光協会からの推薦	阿部 伸一郎

## 恵那市リニアまちづくり基盤整備計画策定委員会 オブザーバー

(敬称略)

選 定 項 目	氏 名
道路管理者	
国土交通省中部地方整備局 多治見砂防国道事務所	武田 正昭
岐阜県恵那土木事務所	八田 雅昭

恵那市リニアまちづくり基盤整備計画策定委員会設置要綱

(設置)

**第1条** リニアまちづくり構想に掲げた施策を基に基盤整備計画を策定するに当たって、実施事業を明確化し、事業を具体的に示してリニア効果を生かしたまちづくりに取り組むため、恵那市リニアまちづくり基盤整備計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

**第2条** 委員会は、リニアまちづくり構想に基づく恵那市リニアまちづくり基盤整備計画の策定に関する事項その他市長が必要と認める事項を所掌する。

(委員)

**第3条** 委員会は、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 地域自治区を代表する者
- (2) 学識経験を有する者
- (3) 商工機関関係者
- (4) 観光機関関係者
- (5) その他市長が必要と認める者

3 委員会は、前項の委員のほか、必要に応じてオブザーバーを置くことができる。

4 オブザーバーは、市長が委嘱する。

5 オブザーバーは、委員会の求めに応じて委員会の会議に出席し、専門的見地から助言又は協力を行うものとする。

(任期)

**第4条** 委員の任期は、委嘱の日から恵那市リニアまちづくり基盤整備計画の策定が終了するまでとする。

(委員長及び副委員長)

**第5条** 委員会に委員長及び副委員長を各1人置く。

2 委員長は、委員の互選により選出し、副委員長は、委員長の指名する者とする。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

**第6条** 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、委員長が議長となる。ただし、委員委嘱後最初の会議は、市長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。

3 委員長は、必要に応じて関係者の出席を求めてその意見を聴き、又は関係者から資料の提出を求めることができる。

(庶務)

**第7条** 委員会の庶務は、建設部リニアまちづくり課において処理する。

(委任)

**第8条** この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員会が会議に諮って定める。

#### 附 則

この告示は、告示の日から施行する。



# 資料編



# 現状分析

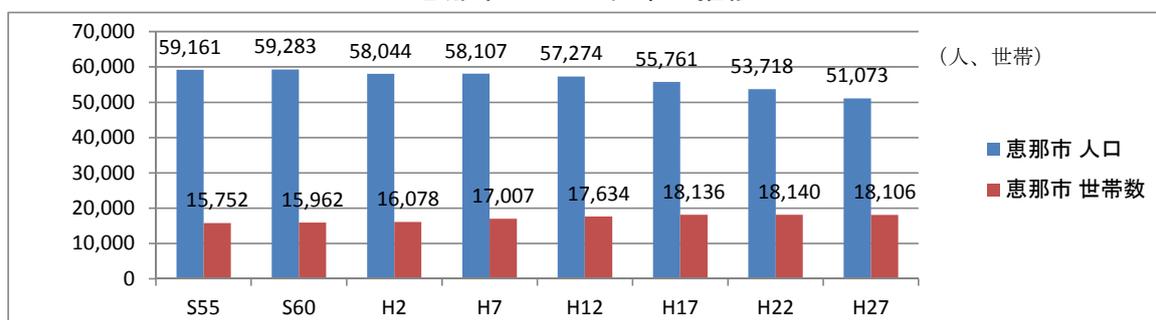
## 1-1 恵那市の概況

### (1) 人口動向

#### ① 恵那市の人口・世帯数の推移

- ・ 恵那市の人口は平成 27 年で 51,073 人であり、減少傾向となっています。減少幅としては、昭和 55 年からの 35 年で約 8,000 人減少しています。
- ・ 世帯数は、平成 17 年からほぼ横ばいとなっています。

＜恵那市の人口・世帯の推移＞

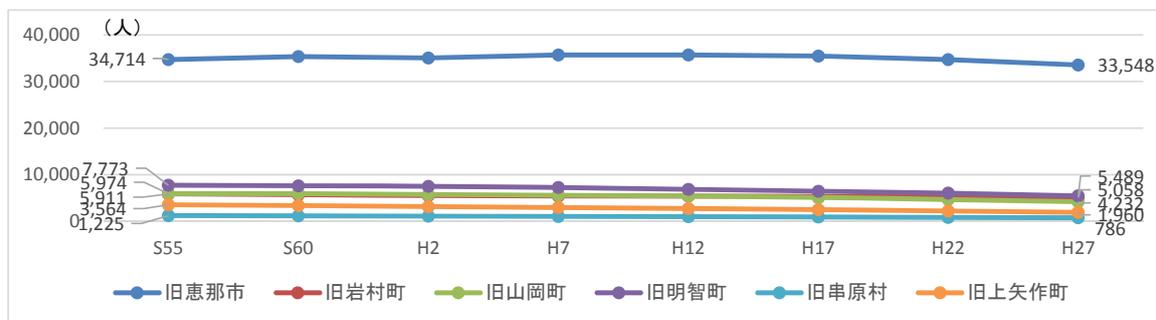


資料：国勢調査

#### ② 恵那市域の人口の推移

- ・ 地域別の人口は、恵那市内の各地域ともに近年は減少傾向となっています。

＜恵那市域の人口の推移＞

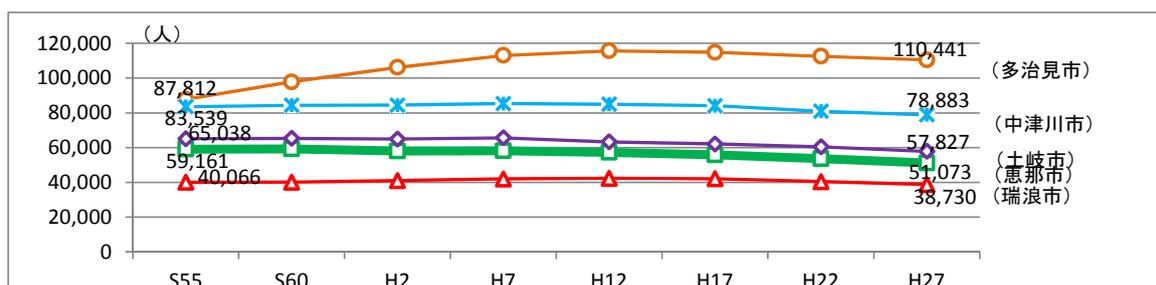


資料：国勢調査

#### ③ 東濃圏域の人口の推移

- ・ 東濃圏域の人口は、圏域各市とも近年は減少傾向となっています。

＜東濃圏域の人口の推移＞



資料：国勢調査



## (3) 人口動態

- ・人口動態について、自然動態は近年 400 人以上の減少、社会動態は転出超過が続いています。

## &lt;人口動態&gt;

(単位:人) 各年10月1日～翌年9月31日

区分	自然動態			社会動態								
	出生	死亡	増減 (出生-死亡)	転入				転出				増減 (転入-転出)
				県内	県外	その他	総数	県内	県外	その他	総数	
平成18～19年	419	607	△ 188	745	900	12	1,657	801	995	14	1,810	△ 153
19～20年	430	594	△ 164	668	869	13	1,550	802	1033	8	1,843	△ 293
20～21年	404	620	△ 216	693	692	14	1,399	725	955	11	1,691	△ 292
21～22年	420	680	△ 260	644	722	1	1,367	684	858	-	1,542	△ 175
22～23年	409	743	△ 334	675	766	4	1,445	637	858	1	1,496	△ 51
23～24年	365	690	△ 325	573	768	2	1,343	693	801	-	1,494	△ 151
24～25年	381	672	△ 291	646	696	-	1,342	722	930	-	1,652	△ 310
25～26年	378	707	△ 329	560	743	-	1,303	679	909	-	1,588	△ 285
26～27年	319	717	△ 398	596	667	-	1,263	669	924	-	1,593	△ 330
27～28年	290	732	△ 442	593	658	6	1,257	640	749	65	1,454	△ 197
28～29年	297	780	△ 483	564	717	8	1,289	657	840	40	1,537	△ 248

資料：人口動態調査

## (4) 移住の状況

- ・移住の状況については、平成 28 年度が 116 世帯 (342 人)、平成 29 年度が 77 世帯 (211 人)、平成 30 年度が 93 世帯 (232 人) となっています。

## &lt;移住・定住の実績調査&gt;

平成28年度				平成29年度				平成30年度			
世帯数		世帯人数		世帯数		世帯人数		世帯数		世帯人数	
県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
73	43	216	126	51	26	146	65	58	35	153	79
116		342		77		211		93		232	

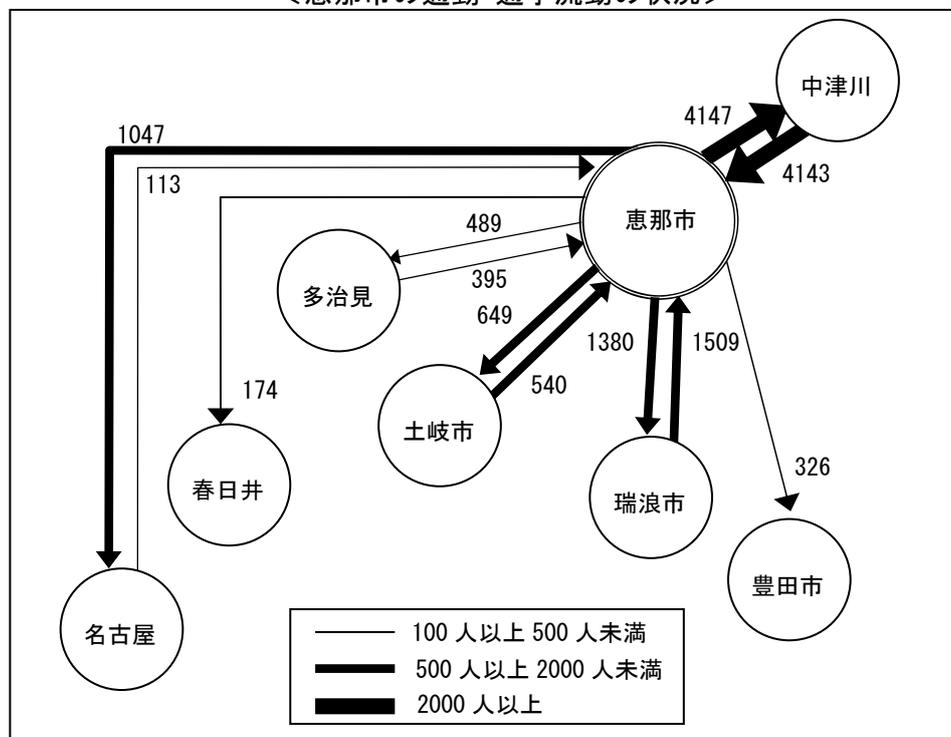
(世帯、人)

資料：移住・定住に関する実績調査 (H28～H30)

### (5) 通勤・通学流動の状況

・恵那市の通勤・通学の状況をみると東濃圏域各市への流動が多くなっています。特に、中津川市への流動が最も多く、約4,000人の通勤・通学がみられます。また、名古屋市への流動も約1,000人と多くなっています。

＜恵那市の通勤・通学流動の状況＞



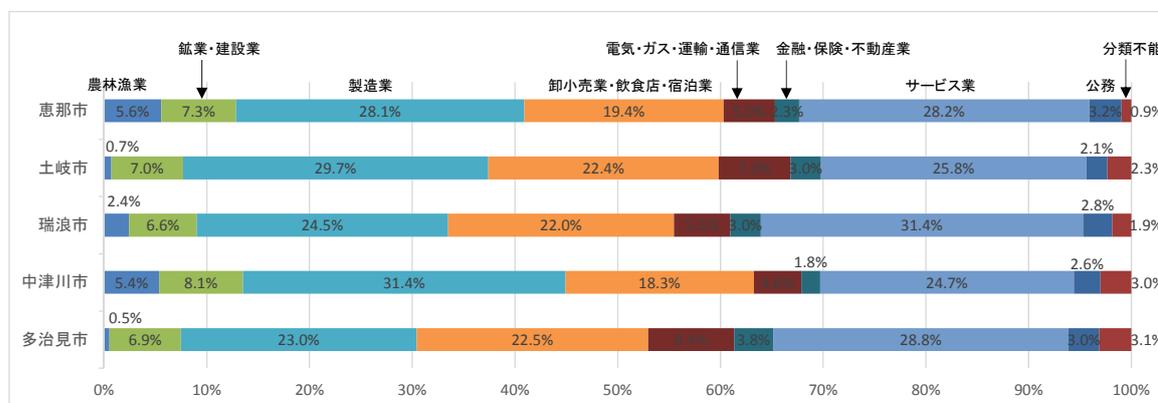
資料：H27 国勢調査

### (6) 就業事情

#### ①15歳以上就業者の産業別比率(東濃圏域)

・恵那市の就業者の産業別比率はサービス業が最も高く、次いで製造業が多くなっています。

＜15歳以上就業者の産業別比率(東濃圏域)＞



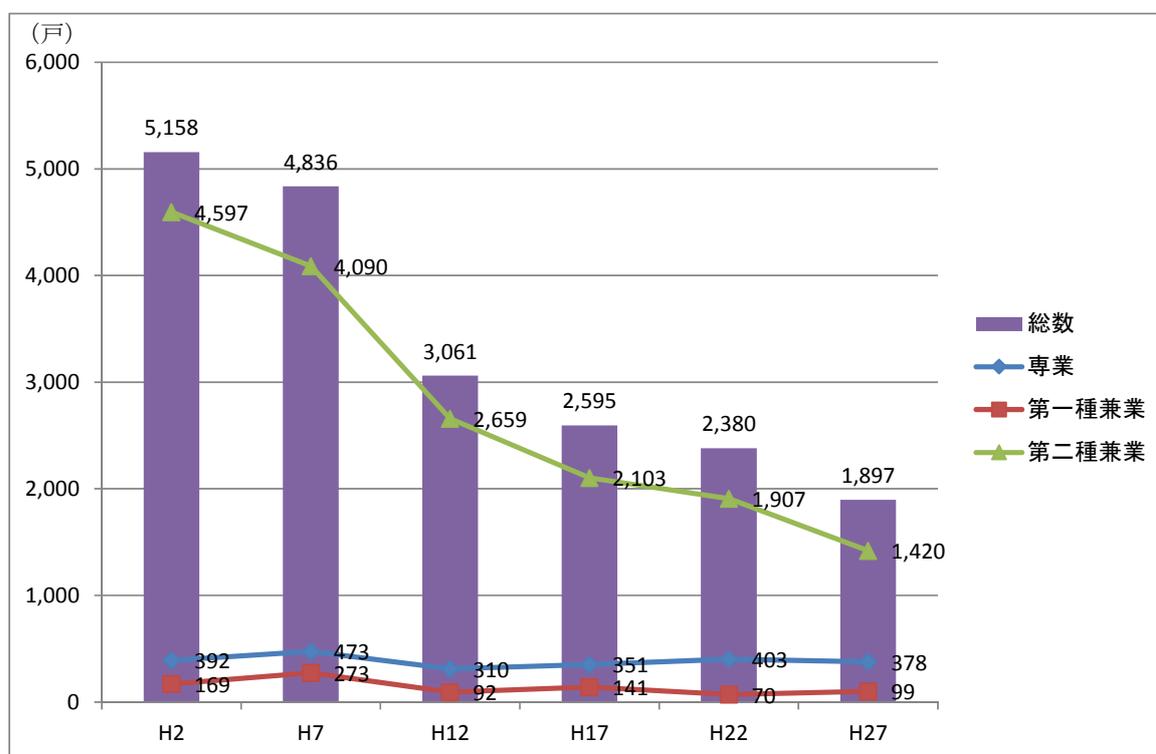
資料：H27 国勢調査

## (7) 農業の状況

## ① 農家数の推移

- ・ 恵那市の販売農家数は平成 27 年で 1,897 戸となっており、うち専業農家が 378 戸 (19.9%)、第一種兼業農家が 99 戸 (5.2%)、第二種兼業農家が 1,420 戸 (74.9%) となっています。
- ・ 販売農家は、第二種兼業農家を中心に減少傾向となっています。
- ・ 恵那市の総農家数は 3,618 戸、農家率は 20.0% となっています。農家率は全国平均、岐阜県平均を大きく上回っており、東濃圏域では 1 位となっています。専業農家率も 10.4% となっており、東濃圏域において 1 位となっています。

## &lt;販売農家数の推移&gt;



資料：農林業センサス

## &lt;農家の状況&gt;

主な指標		全国	岐阜県	恵那市	県内順位 (42市町中)	東濃圏域 順位	備考
農家の状況	総世帯数	53,448,685	753,212	18,106	13位	4位	H27国勢調査
	総農家数(戸)	2,155,082	60,790	3,618	5位	2位	2015農林業センサス(自給的農家+販売農家)
	農家率(%)	4.0	8.1	20.0	9位	1位	農家数÷世帯数
	販売農家数(戸)	1,329,591	28,511	1,897	4位	2位	2015農林業センサス(販売農家)
	専業農家(戸)	442,805	5,770	378	4位	2位	2015農林業センサス(販売農家)
	専業農家率(%)	20.5	9.5	10.4	11位	1位	専業農家数÷農家数

【販売農家】経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家

【自給的農家】経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家

## ②農地の状況

- ・恵那市の耕地面積は3,340haで、田の面積は2,610haと耕地面積の78.1%を占めています。この水田率78.1%は全国平均、岐阜県平均より高くなっています。
- ・恵那市の耕作放棄地面積は、耕作面積の約16%となっています。

## ＜農地の状況＞

＜農地の状況＞							
主な指標		全国	岐阜県	恵那市	県内順位 (42市町村中)	東濃圏域 順位	備考
農地 の 状 況	総面積(ha)	377,974.17	10,621.29	50,424	7位	1位	全国都道府県市区町別面積調 (国土地理院)
	耕地面積(ha)	4,420,000	56,000	3,340	5位	2位	農林水産統計平成30年耕地面積
	耕地率(%)	11.7	5.3	6.6	22位	1位	耕地面積÷総面積
	田の面積(ha)	2,405,000	42,900	2,610	6位	2位	農林水産統計平成30年耕地面積
	水田率(%)	54.4	76.6	78.1	20位	5位	田の面積÷耕地面積

## ＜耕作放棄地面積＞

	H12	H17	H22	H27
恵那市(ha)	281.09	446.20	418.00	525.00
増減量	-	165.11	-28.2	107.00

資料：農林業センサス

## ③生産の状況

- ・岐阜県の農業産出額は1,173億円であり、品目別の割合では畜産が38.7%、野菜が29.8%、米が19.5%となっています。
- ・岐阜県の主要農畜産物は花木類、かき、ほうれんそう、かぶ、トマト、えだまめ、いちご、くり、米(水稻)が挙げられます。

## ＜生産の状況＞

主な指標		全国	岐阜県	恵那市	県内順位 (42市町村中)	東濃圏域 順位	備考
生産 の 状 況	農業産出額(億円)	93,787	1,173	-	-	-	農林水産統計平成29年農業産出額 ※農業産出額は、県単位での集計結果のため、岐阜県としての動向を整理
	うち米の割合(%)	18.6	19.5	-	-	-	
	野菜の割合(%)	26.1	29.8	-	-	-	
	果実の割合(%)	9.0	4.3	-	-	-	
	花きの割合(%)	3.7	5.5	-	-	-	
	畜産の割合(%)	35.4	38.7	-	-	-	

## ＜主要農畜産物の生産量(平成29)＞

	生産量	全国シェア	全国順位
花木類(鉢もの類)(千鉢)	4,380	10.1%	3位
かき(t)	14,600	6.5%	4位
ほうれんそう(t)	11,100	4.9%	6位
かぶ(t)	3,410	2.9%	9位
トマト(t)	23,700	3.2%	9位
えだまめ(t)	1,590	2.3%	10位
いちご(t)	2,600	1.6%	14位
くり(t)	810	4.3%	4位
米(水稻)(t)	106,900	1.4%	26位

(資料：花き生産出荷統計、果樹生産出荷統計、野菜生産出荷統計、作物統計)

<特色ある農産物>

- 主要な農産物  
米／いも類
- 野菜  
トマト／チョロギ／山ごぼう／白ナス／里芋／辛味大根／黒豆／そら豆／大豆／小豆
- 洋野菜  
アーティチョーク（あざみ）／チコリ（焼酎用）
- 果実等  
栗／桃／ゆず／筆柿／キウイ／梅／イチゴ／ラズベリー／ブルーベリー／ナツメ／くるみ／ぎんなん／薬草
- 山の幸  
沢わさび／山菜／へぼ／しいたけ／じねんじょ／ハチミツ／ハーブ／たけのこ／わらび／ふき／キノコ／ほう葉／紅うど
- 花き  
シクラメン／蘭



米（稲穂）



栗（恵那栗）



栽培自然薯

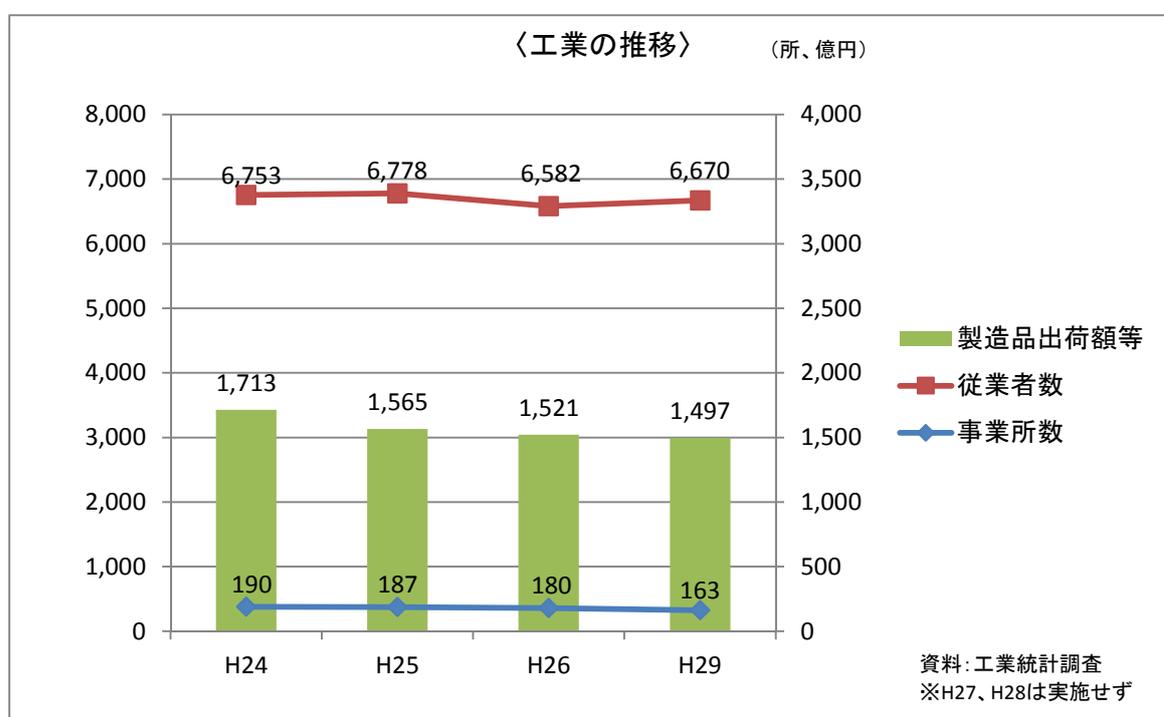
（恵那地域振興計画 平成19年3月 財団法人 中部産業活性化センター）

## (8) 工業の状況

## ① 工業の推移

- ・窯業関連と紙関連の比較的古くから立地した産業と、工業団地等に立地したプラスチックや機械等の業種が、恵那市の主要な製造業です。
- ・工業団地として恵那テクノパーク、岩村工業団地、明智工業団地が整備されています。
- ・事業所数は減少傾向です。従業者数は平成26年で減少しているものの平成29年で増加傾向に転じています。
- ・平成29年において、従業者数・製造品出荷額等はいずれも岐阜県内9位となっています。(東濃圏域では3位)

## 〈工業の推移〉



## ②産業別事業所数、従業者数、製造品出荷額等

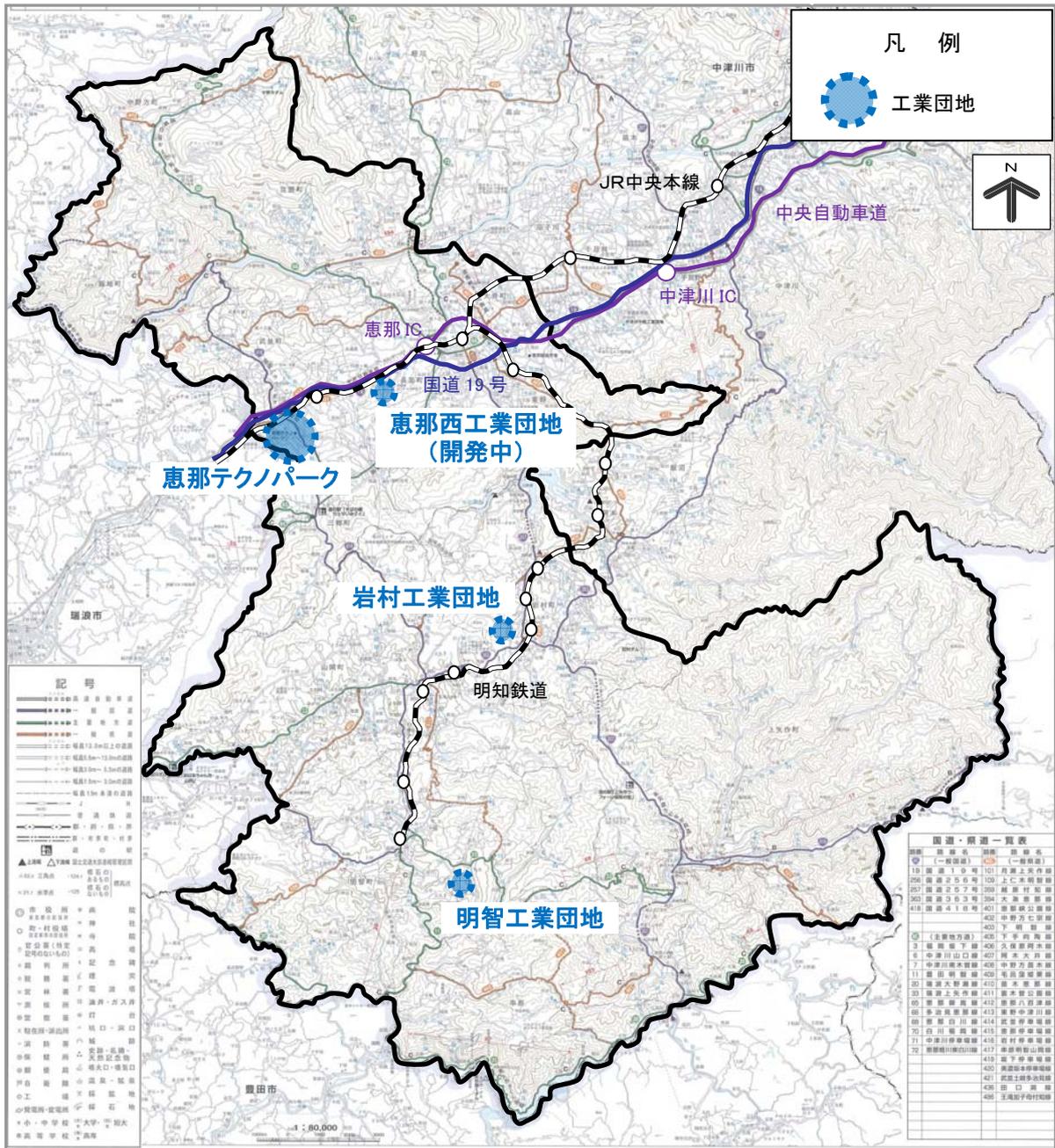
- ・事業所数では、「窯業・土石製品製造業」（26 事業所）と「食料品製造業」（17 事業所）、  
「パルプ・紙・紙加工品製造業」（17 事業所）、「プラスチック製品製造業」（16 事業所）が目立ちます。
- ・従業者数では、「プラスチック製品製造業」（1,428 人）、「窯業・土石製品製造業」（945 人）が目立ちます。
- ・製造品出荷額等では、「プラスチック製品製造業」（約 295 億円）、「パルプ・紙・紙加工品製造業」（約 246 億円）が目立ちます。恵那市は「プラスチック製品製造業」が岐阜県内で第4位、東濃圏域で第1位となっています。

## ＜産業別事業所数、従業者数、製造品出荷額等（平成 29 年）＞

区分	事業所数		従業者数		製造品出荷額等			
	所	人	万円	岐阜県順位 (42市町村中)	東濃地域順位			
恵那市	163	100.0%	6,670	100.0%	14,971,666		9位	3位
09食品製造業	17	10.4%	436	6.5%	581,342	3.9%	12位	3位
10飲料・たばこ・飼料製造業	1	0.6%	18	0.3%	X	X	-	-
11繊維工業	5	3.1%	84	1.3%	97,154	0.6%	13位	2位
12木材・木製品製造業(家具を除く)	3	1.8%	49	0.7%	103,422	0.7%	13位	2位
13家具・装備品製造業	3	1.8%	23	0.3%	40,131	0.3%	18位	2位
14パルプ・紙・紙加工品製造業	17	10.4%	571	8.6%	2,461,035	16.4%	3位	2位
15印刷・同関連業	4	2.5%	87	1.3%	59,307	0.4%	14位	5位
16化学工業	2	1.2%	15	0.2%	X	X	-	-
17石油製品・石炭製品製造業	1	0.6%	12	0.2%	X	X	-	-
18プラスチック製品製造業	16	9.8%	1,428	21.4%	2,958,320	19.8%	4位	1位
19ゴム製品製造業	1	0.6%	10	0.1%	X	X	-	-
20なめし革・銅製品・毛皮製造業	-	-	-	-	-	-	-	-
21窯業・土石製品製造業	26	16.0%	945	14.2%	1,530,388	10.2%	5位	3位
22鉄鋼業	4	2.5%	146	2.2%	737,348	4.9%	8位	1位
23非鉄金属製造業	5	3.1%	401	6.0%	1,214,544	8.1%	1位	1位
24金属製品製造業	13	8.0%	375	5.6%	1,361,847	9.1%	9位	2位
25はん用機械器具製造業	4	2.5%	69	1.0%	142,607	1.0%	18位	5位
26生産用機械器具製造業	7	4.3%	84	1.3%	144,658	1.0%	16位	4位
27業務用機械器具製造業	2	1.2%	358	5.4%	X	X	-	-
28電子部品・デバイス・電子回路製造業	5	3.1%	360	5.4%	709,675	4.7%	4位	2位
29電気機械器具製造業	8	4.9%	253	3.8%	239,417	1.6%	9位	2位
30情報通信機械器具製造業	1	0.6%	22	0.3%	X	X	-	-
31輸送用機械器具製造業	14	8.6%	869	13.0%	1,912,615	12.8%	6位	2位
32その他の製造業	4	2.5%	55	0.8%	25,218	0.2%	15位	3位

資料：工業統計調査

<工業団地位置図>

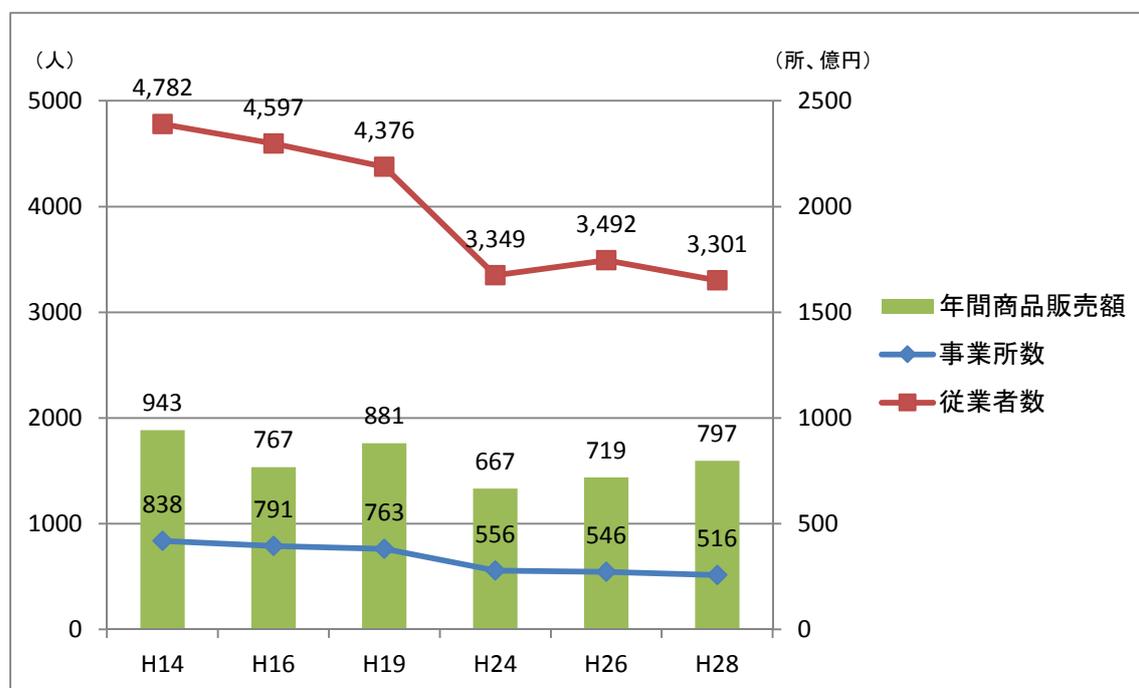


## (9) 商業の状況

## ① 商業の推移

・事業所数、従業者数とも減少傾向です。年間商品販売額は近年増加しています。

## &lt; 商業の推移 &gt;



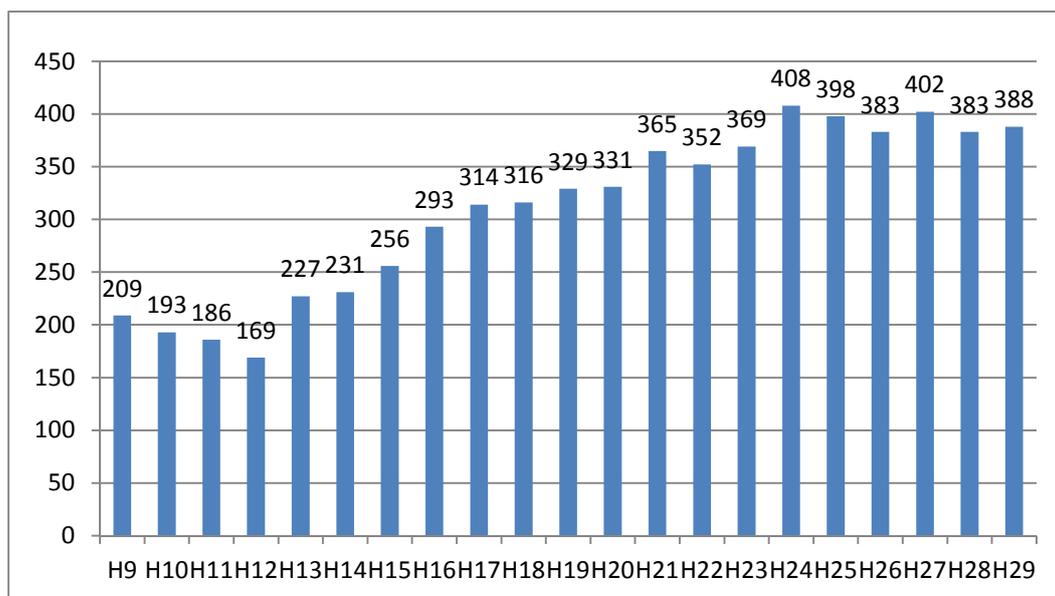
資料：商業統計調査、経済センサスー活動調査

## (10) 観光

・中津川市と共有する観光資源である恵那峡・阿木川ダム・保古の湖などの水辺空間、中山道・岩村城址・日本大正村といった歴史資産、坂折棚田や農村景観日本一の富田地区、集客力のある道の駅等があります。これら様々な観光資源は、市内全域に広く点在しています。

＜観光入込み客数の推移＜年間＞＞

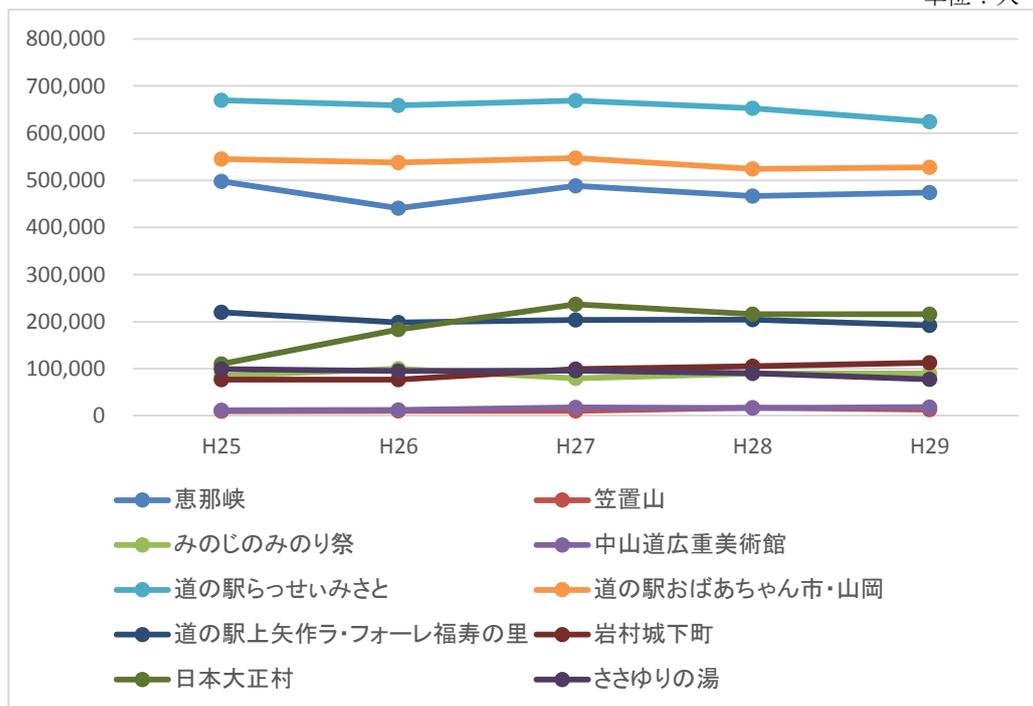
単位：万人



資料：恵那市統計書

＜施設別の観光入込み客数の推移＜年間＞＞

単位：人



資料：恵那市統計書



## ■地域別の主な観光資源

### <旧恵那市域>

(歴史・文化施設) 中山道大井宿、中山道広重美術館、中山道ひし屋資料館、武並神社、鍋山のメンヒル

(自然資源) 坂折棚田、不動滝、笠置山(クライミングエリア)、恵那峡、笠置峡、保古の湖、寿老の滝、ヒトツバタゴ自生地(笠置山)

(スポーツ・レクリエーション施設) 望郷の森キャンプ場、飯地高原テント村、保古の湖キャンプグラウンド、東濃牧場、岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場、恵那峡温泉、道の駅「らっせいみさと」

(産業資源) 大井ダム、阿木川ダム



中山道大井宿



恵那峡

笠置山  
(クライミングエリア)

坂折棚田

### <岩村町域>

(歴史・文化施設) 岩村町本通り(重要伝統的建造物群保存地区)、岩村城跡、岩村歴史資料館

(自然資源) 農村景観日本一

(スポーツ・レクリエーション施設) 阿木川ダムこぶし公園



岩村城跡



岩村町本通りの町並



農村景観日本一

### <山岡町域>

(歴史・文化施設) 飯高観音

(自然資源) ササユリ自生地

(スポーツ・レクリエーション施設) イワクラ公園、花白温泉、山岡駅かてんかん道の駅「おばあちゃん市・山岡」

(産業資源) 小里川ダム



飯高観音



山岡駅かてんかん



道の駅「おばあちゃん市・山岡」

<明智町域>

(歴史・文化施設) 日本大正村、旧三宅家

(自然資源) 団子杉

(スポーツ・レクリエーション施設) 大正村コテージこもれび



日本大正村



旧三宅家



大正村コテージ  
こもれび

<串原村域>

(歴史・文化施設) 中山神社

(自然資源) 奥矢作湖、お軽の滝、ひよもの枝垂れ桜

(スポーツ・レクリエーション施設) 奥矢作勤労青少年レクリエーションセンター、ささゆりの湯

(産業資源) 矢作ダム



ささゆりの湯



奥矢作勤労青少年  
レクリエーションセンター



ひよもの枝垂れ桜



矢作ダム

<上矢作町域>

(歴史・文化施設) 大船神社、八方にらみの龍

(自然資源) 達原溪谷、喉の滝、福寿草自生地、アライダシ自然観察教育林

(スポーツ・レクリエーション施設) 福寿の里モンゴル村、越沢コテージ、コテージかわせみ、道の駅「ラ・フォーレ福寿の里」



八方にらみの龍



喉の滝



福寿の里モンゴル村



アライダシ  
自然観察教育林

資料：恵那市観光まちづくり指針  
写真出典：恵那市観光協会、恵那市

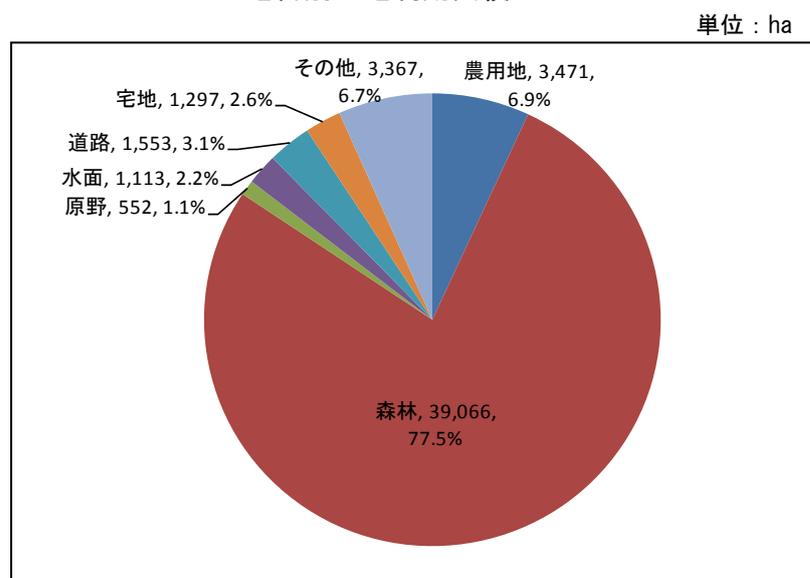
## 1-2 土地利用の状況

### (2) 土地利用現況

#### ① 土地利用現況

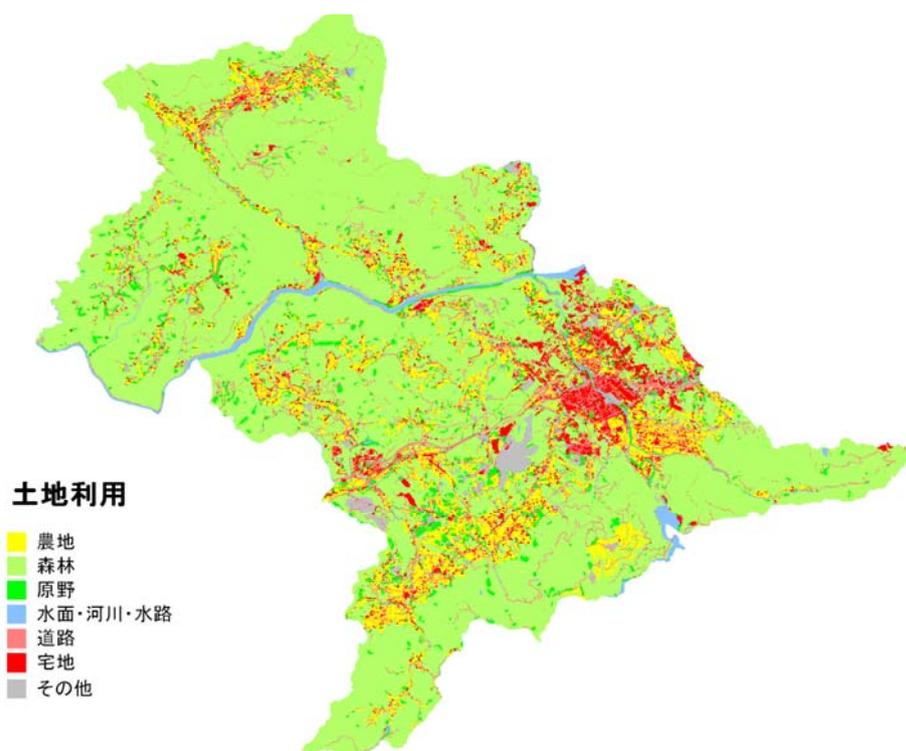
- ・恵那市全域の地目別面積は、市域面積 50,419ha のうち森林が 77.5%、農用地が 6.9%、宅地は 2.6%となっています。

<地目別土地利用面積>



資料：国土利用計画(H18)

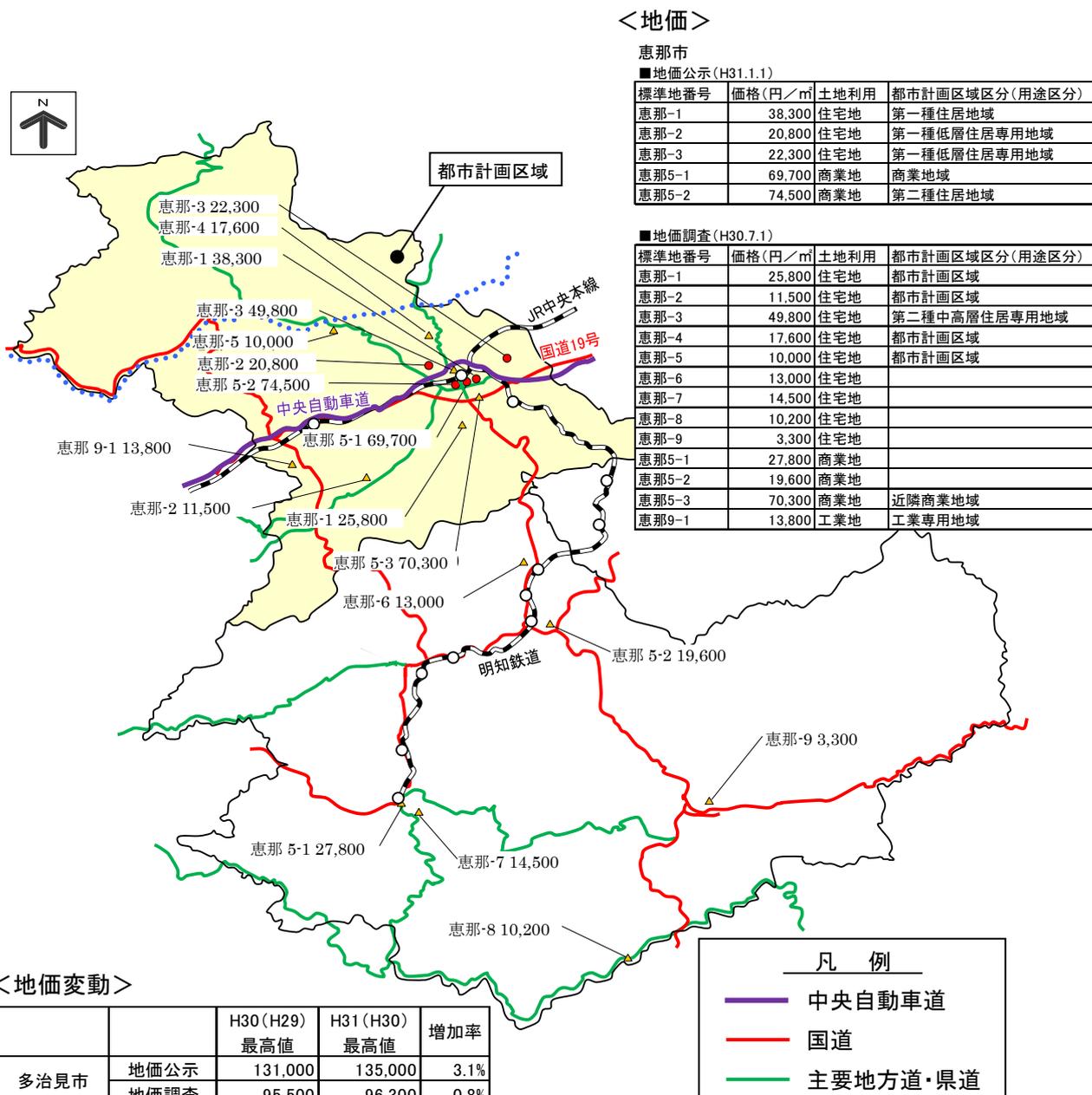
<都市計画区域内土地利用>



③地価

- ・地価は、恵那駅周辺の商業地で69,000～75,000円/㎡、住宅地で20,000～40,000円/㎡となっています。用途地域周辺の住宅地は10,000円/㎡台となっています。
- ・H29→H30の最高値の地価変動をみると東濃圏域の中では中津川市と恵那市（地価調査）が横ばい傾向を示しています。

<地価 位置図(恵那市)>



<地価>

恵那市

■地価公示(H31.1.1)

標準地番号	価格(円/㎡)	土地利用	都市計画区域区分(用途区分)
恵那-1	38,300	住宅地	第一種住居地域
恵那-2	20,800	住宅地	第一種低層住居専用地域
恵那-3	22,300	住宅地	第一種低層住居専用地域
恵那5-1	69,700	商業地	商業地域
恵那5-2	74,500	商業地	第二種住居地域

■地価調査(H30.7.1)

標準地番号	価格(円/㎡)	土地利用	都市計画区域区分(用途区分)
恵那-1	25,800	住宅地	都市計画区域
恵那-2	11,500	住宅地	都市計画区域
恵那-3	49,800	住宅地	第二種中高層住居専用地域
恵那-4	17,600	住宅地	都市計画区域
恵那-5	10,000	住宅地	都市計画区域
恵那-6	13,000	住宅地	
恵那-7	14,500	住宅地	
恵那-8	10,200	住宅地	
恵那-9	3,300	住宅地	
恵那5-1	27,800	商業地	
恵那5-2	19,600	商業地	
恵那5-3	70,300	商業地	近隣商業地域
恵那9-1	13,800	工業地	工業専用地域

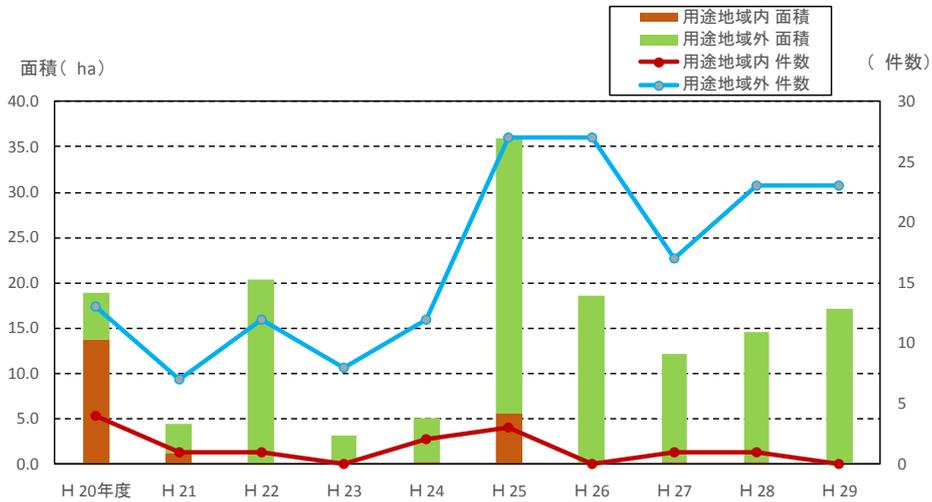
<地価変動>

		H30(H29) 最高値	H31(H30) 最高値	増加率
多治見市	地価公示	131,000	135,000	3.1%
	地価調査	95,500	96,300	0.8%
中津川市	地価公示	70,200	70,200	0.0%
	地価調査	53,500	53,300	-0.4%
瑞浪市	地価公示	62,000	61,200	-1.3%
	地価調査	56,800	56,600	-0.4%
恵那市	地価公示	74,500	74,500	0.0%
	地価調査	70,300	70,300	0.0%
土岐市	地価公示	63,600	63,900	0.5%
	地価調査	47,300	58,400	23.5%

④開発動向

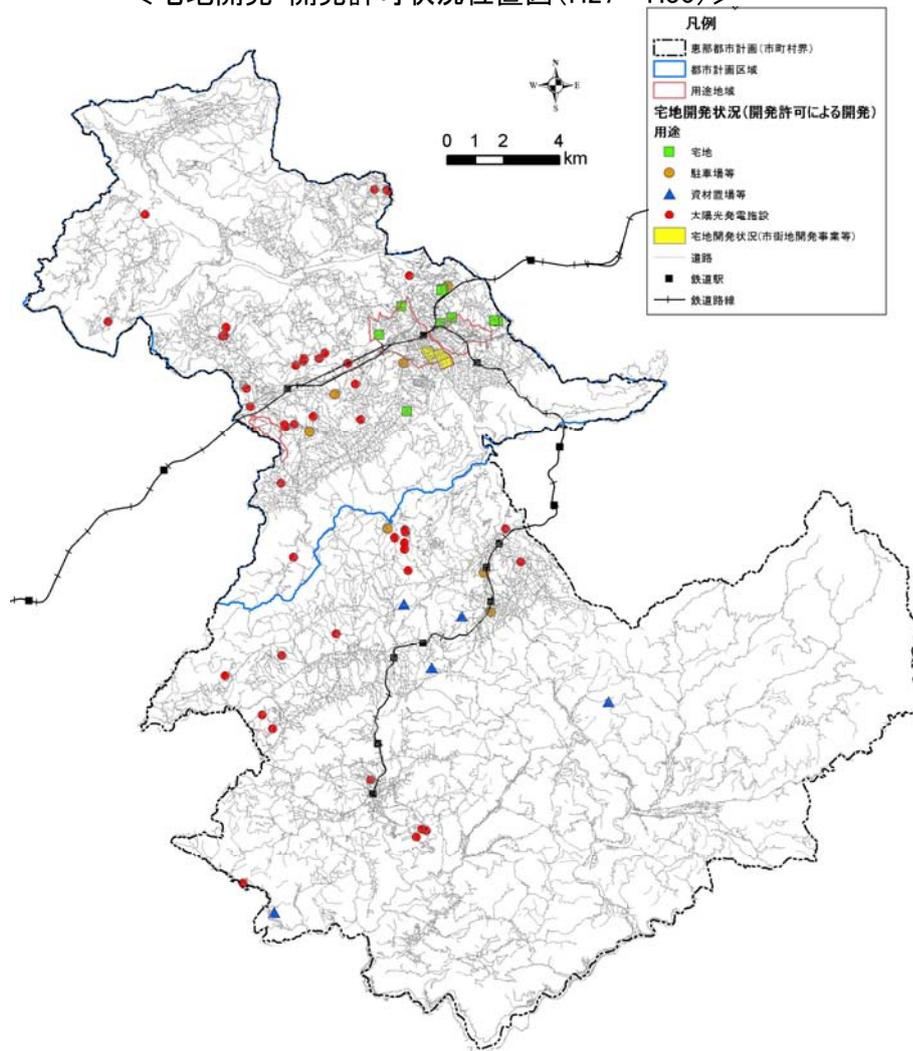
・開発許可を伴う事業は、平成20～29年度までの10年間で182件あります。このうち83件が太陽光発電施設であり、平成25年度から急激な増加がみられます。

＜開発許可の推移＞



資料：都市計画基礎調査

＜宅地開発・開発許可状況位置図(H27～H30)＞



資料：都市計画基礎調査

## 1-3 公共交通機関の現状

### (1) 公共交通機関

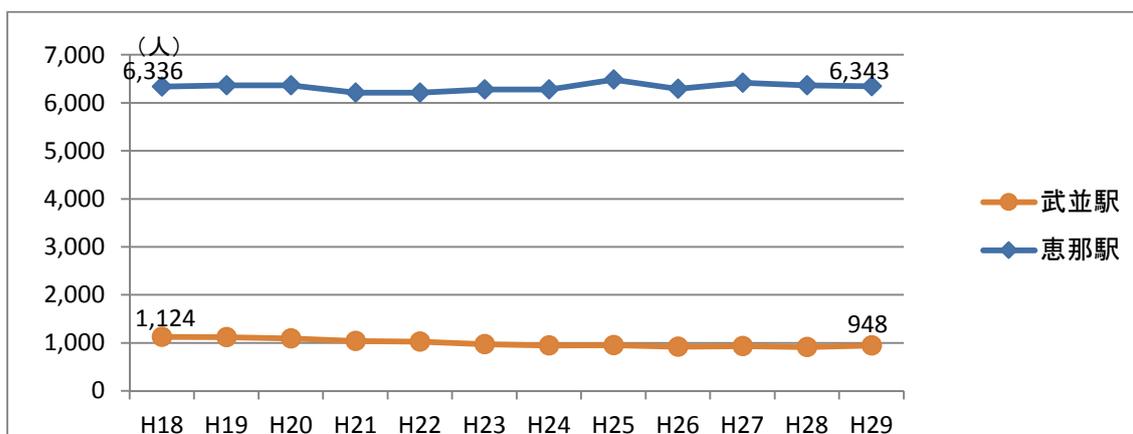
#### ① 鉄道

・鉄道はJR中央本線、明知鉄道（第三セクター）の2路線が運行されています。

#### 1 JR中央本線

・平成29年度の恵那駅の1日平均乗降客数は6,343人で横ばい、武並駅は948人で横ばいです。

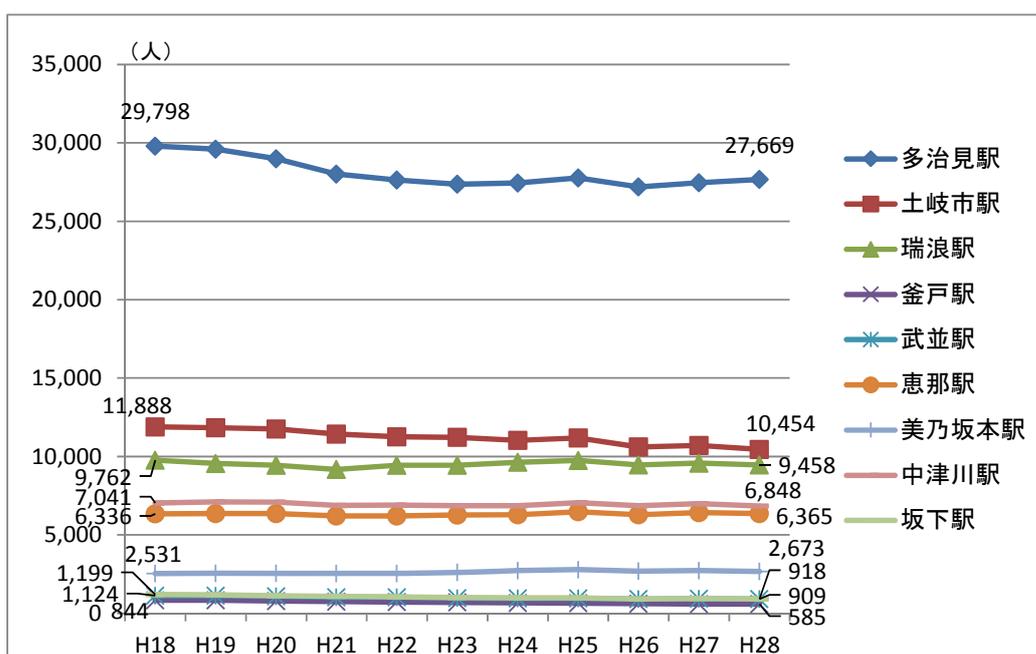
＜恵那駅・武並駅乗降客数の推移＞



資料：恵那市統計書

・東濃圏域の各駅の1日平均乗降客数は多治見駅が最も多くなっています。各駅とも減少または横ばい傾向です。

＜東濃圏域各駅の乗降客数の推移＞

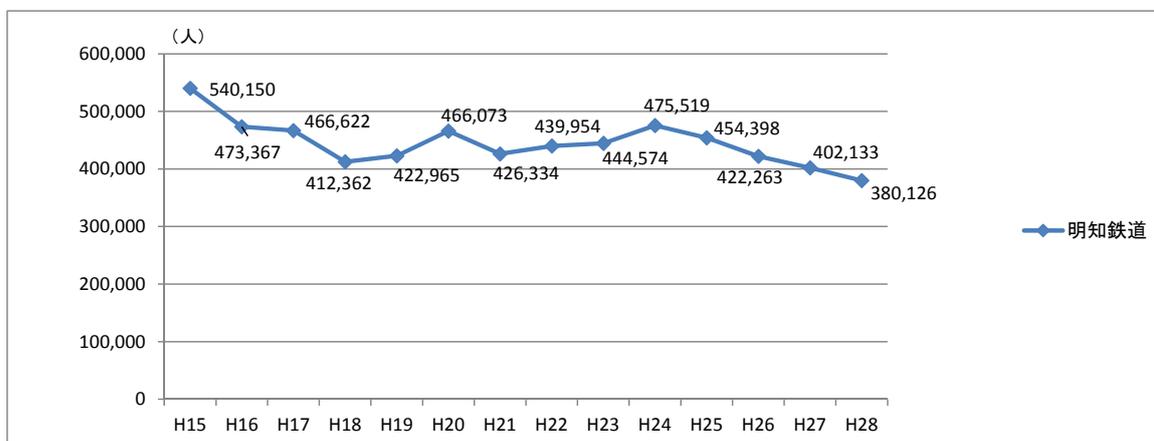


資料：岐阜県統計書

## 2 明知鉄道

- ・ 恵那市内に9駅、中津川市内に2駅の計11駅あります。
- ・ 明知鉄道の年間乗車人員は減少傾向にあります。

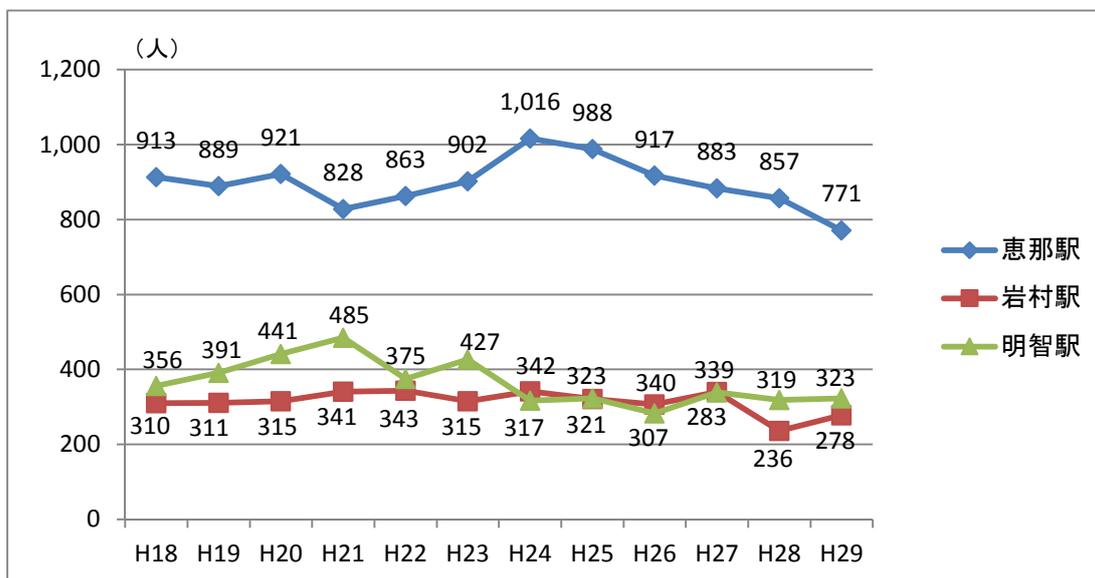
### <明知鉄道年間乗車人員>



資料：岐阜県統計書

- ・ 主要な駅の1日平均乗降客数は、近年は減少または横ばい傾向となっています。

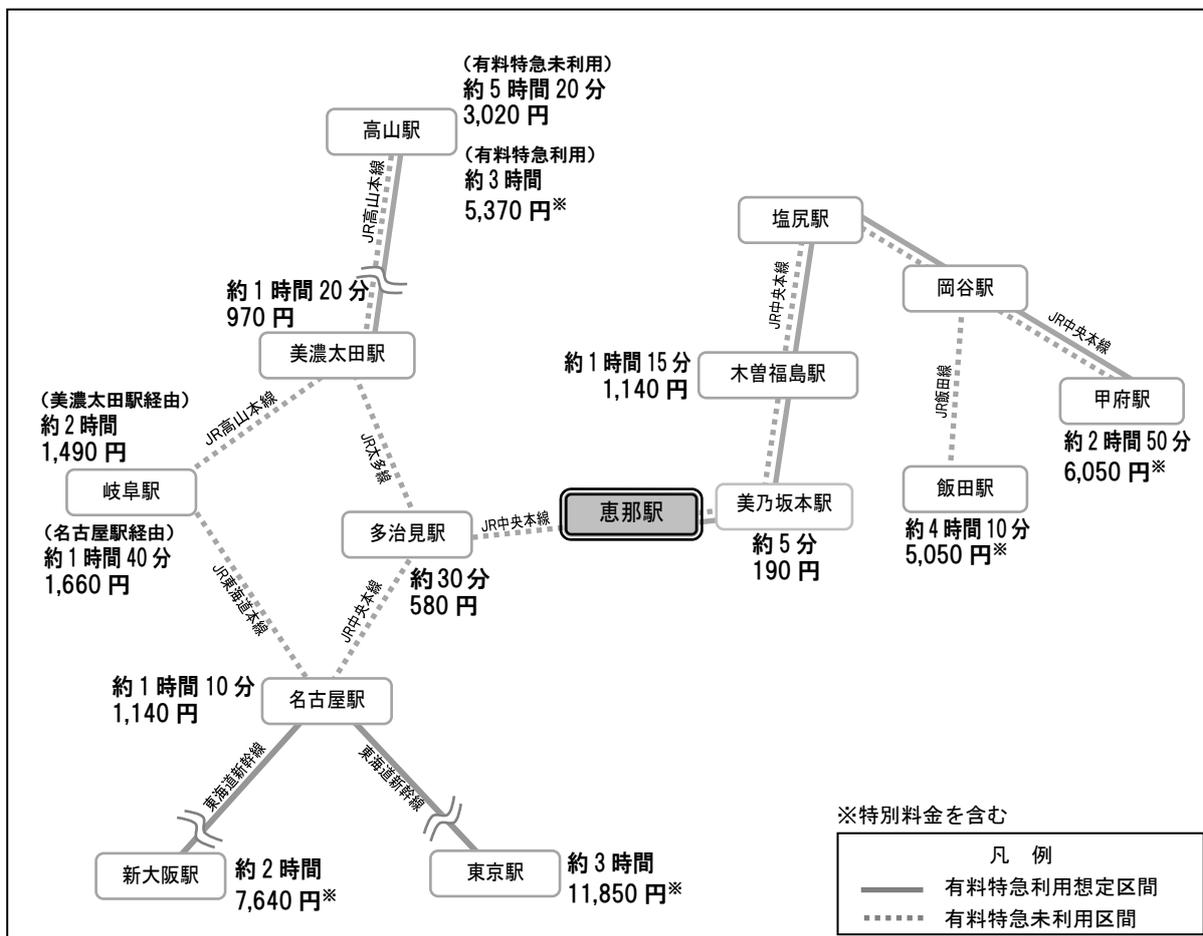
### <主要駅の乗降客数の推移>



資料：恵那市統計書

③ 広域的な鉄道時間の状況

- ・ 恵那市へのアクセスは、名古屋駅からJR中央本線で恵那駅まで約1時間10分となっています。また、東京駅からは、東海道新幹線を利用し、約3時間となっています。

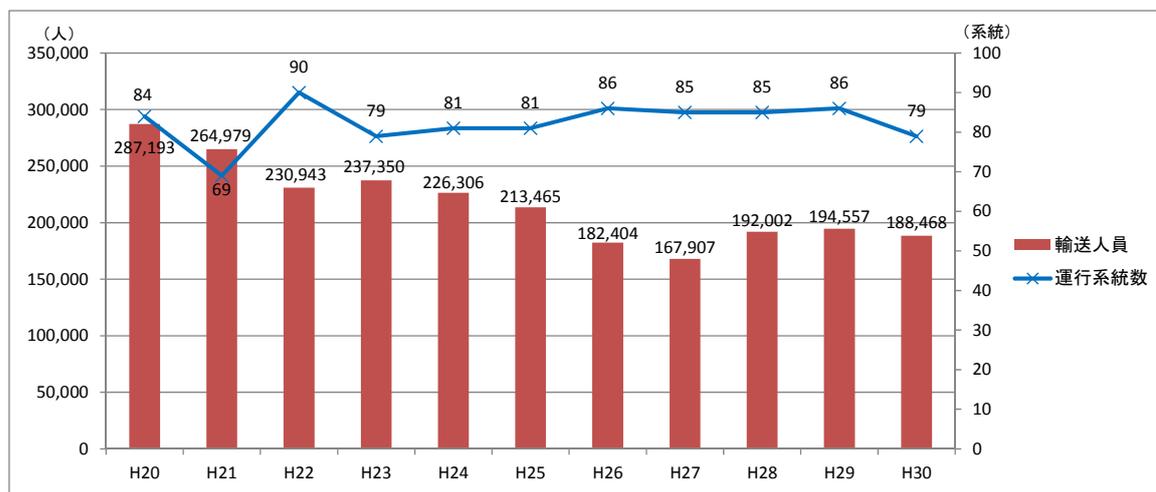


※所要時間、料金（新幹線は通常料金）は全て恵那駅（平日10時発）を基準 [2019年7月時点]

## ②コミュニティバス(自主運行バス)

- ・バスは、JR及び明知鉄道駅を起点とする路線を中心に東鉄バス、恵那市自主運行バスにより運行されています。
- ・輸送人員は平成30年度188,468人で、減少傾向です。

＜自主運行バスの輸送人員の推移＞



資料：恵那市観光交流課資料



## 渋滞・混雑箇所

### (1) 渋滞・混雑箇所

#### 1) 交差点の渋滞箇所

市内で慢性的に渋滞が発生する箇所は下表の交差点です。

表 市内の渋滞発生箇所

No.	交差点名	交差点写真
交①	恵那 IC 交差点	
交②	坂の上交差点	
交③	大井町交差点	
交④	恵那高北交差点	
⑤	正家交差点 ※岐阜県事故危険区間に指定	

No.	交差点名	交差点写真
交⑥	長島西交差点 ※土日休日の観光客による 渋滞	
交⑦	恵那峡口交差点 ※土日休日の観光客による 渋滞	

(参考：平成27年3月リニア岐阜県駅設置に伴うアクセス道路検討業務)

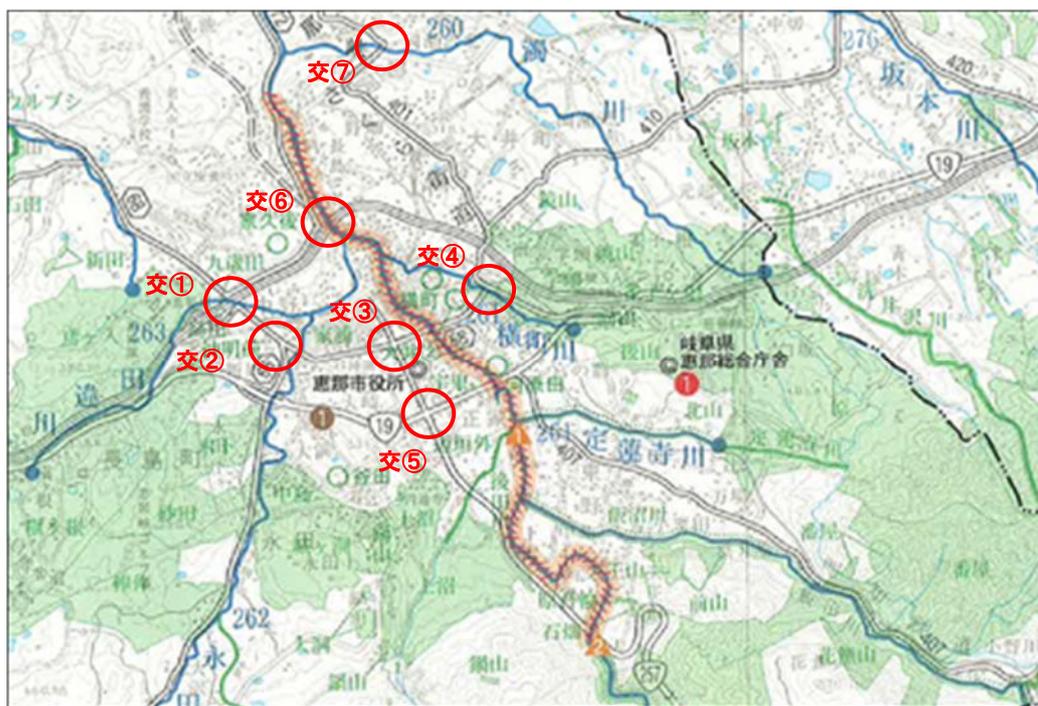


図 交差点箇所図 (参考：平成30年度仮称リニアまちづくり計画基盤整備調査)

2) 恵那市道路網の混雑箇所

平成22年度道路交通センサスでは、下図の道路で混雑しており、特に国道19号、恵那白川線、苗木恵那線にて混雑度が1.0以上の数値を示しています。

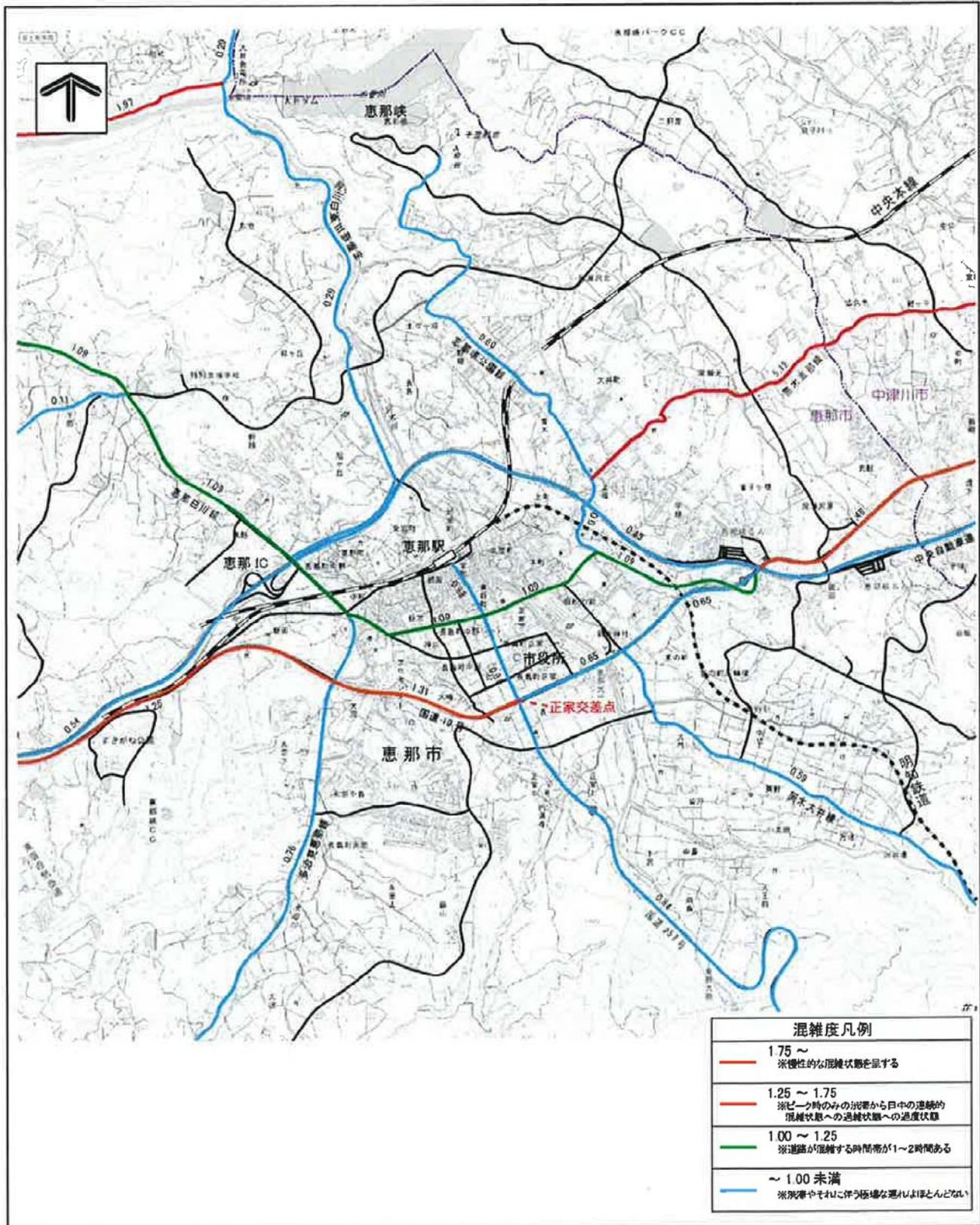


図 混雑度調査結果図（平成22年度道路交通センサス）

3) リニア開業による道路の交通量推計

リニアが開業することにより、遠方からの観光客が増えることが想定されるだけでなく、東京や名古屋が通勤圏となること、働く場所が増えることなどから住宅地としての需要が増えることも想定されます。こうした状況の中、現状混雑している路線がさらに混雑することが予想されます。以下に、リニア開業による交通量、混雑度の変化を示します。

①現況の交通量と混雑度

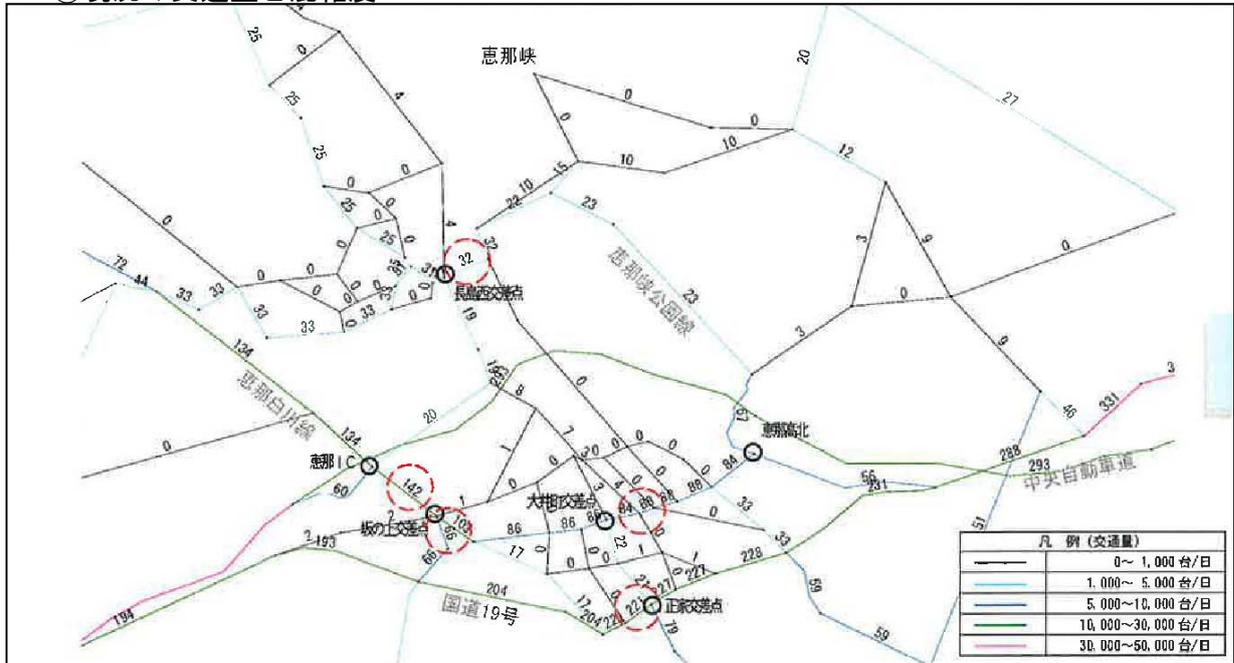


図 現況交通量 (参考：平成 30 年度仮称リニアまちづくり計画基盤整備調査)

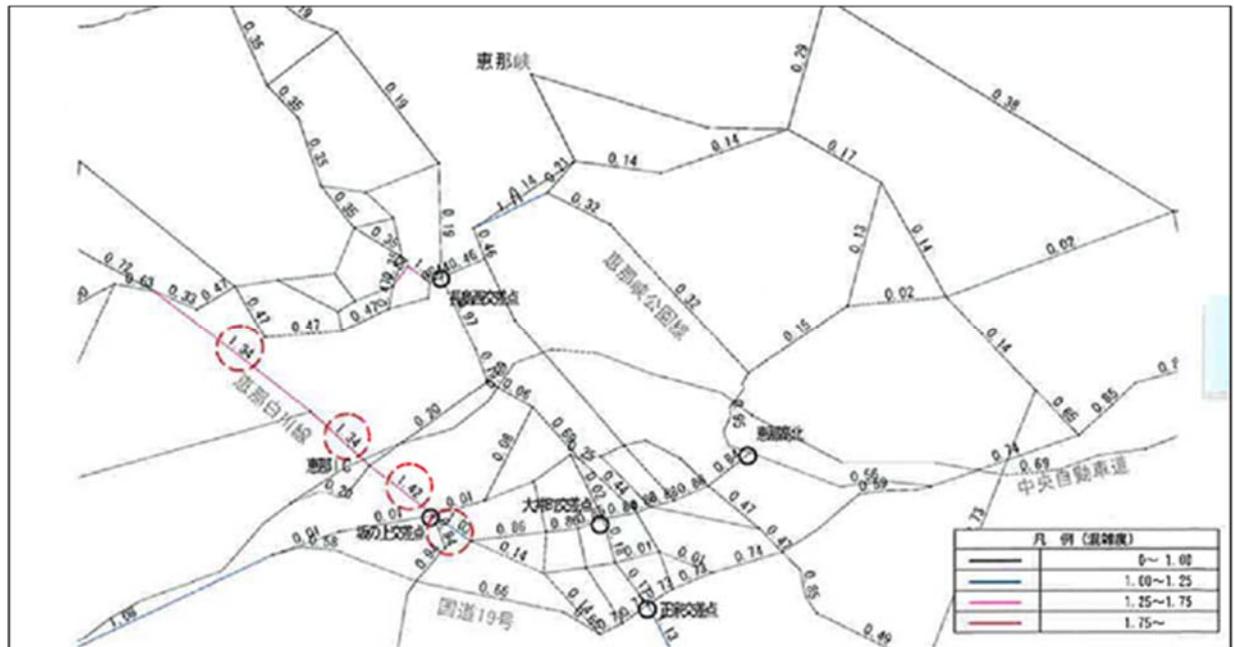


図 現況混雑度 (参考：平成 30 年度仮称リニアまちづくり計画基盤整備調査)

②現況の交通量と混雑度

リニアが開業により、1日あたりの将来交通量は、恵那白川線で500台増加、国道19号で1,000台増加、長島西交差点で1,000台増加が見込まれます。混雑度はいずれの箇所も悪化する見込みです。

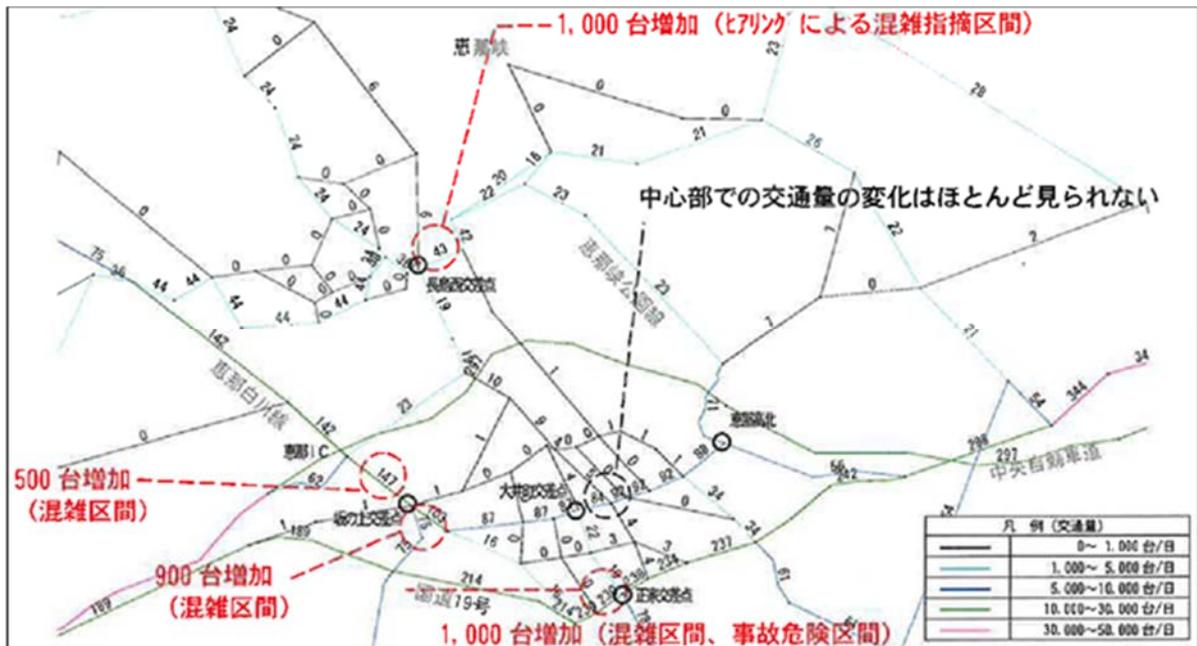


図 リニア開業後の将来交通量推計  
(参考：平成30年度仮称リニアまちづくり計画基盤整備調査)

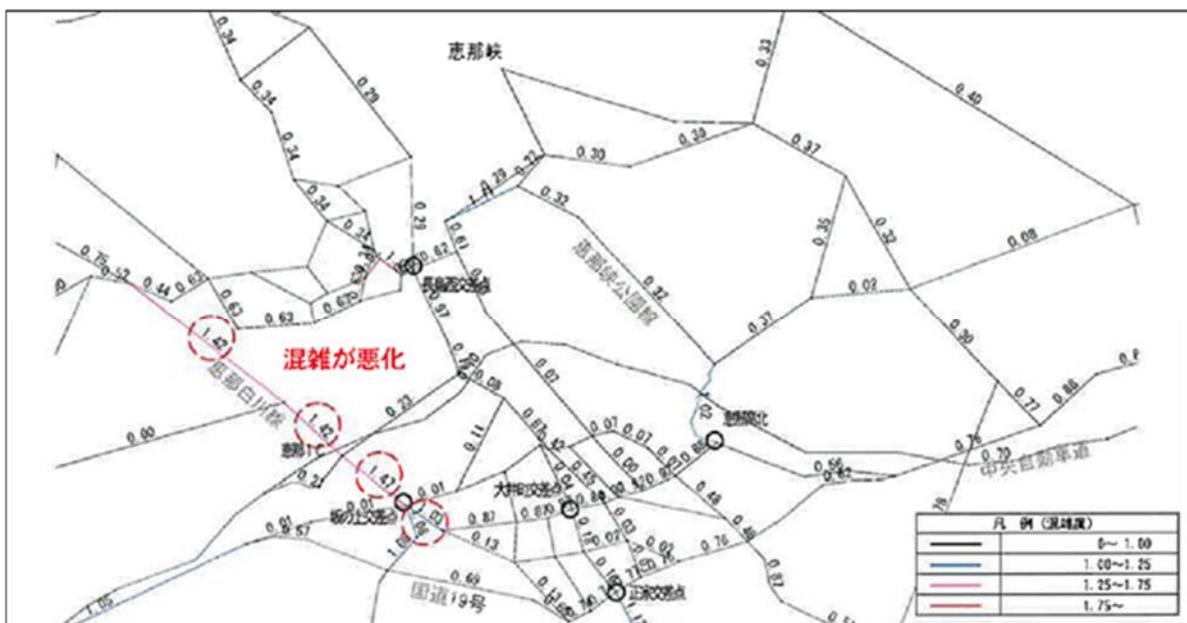


図 リニア開業後の混雑度推計 (参考：平成30年度仮称リニアまちづくり計画基盤整備調査)

## **恵那市リニアまちづくり基盤整備計画**

**令和元年12月**

発行者：恵那市役所 建設部 リニアまちづくり課  
〒509-7292  
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1  
TEL 0573-26-2111

